



Attorney Docket No.: 01407/LH

**IN THE UNITED STATES PATENT  
AND TRADEMARK OFFICE**

Applicant : Ryusuke YAMAGUCHI et al  
Serial Number : 09/901,528  
Filed : 9 Jul 2001  
Art Unit : 2614

**CERTIFICATE OF MAILING**

I hereby certify that this correspondence is being deposited with the United States Postal Service as First Class mail in an envelope addressed to: Assistant Commissioner for Trademarks, Arlington, Va. 22202-3513, on the date noted below.

Attorney: Leonard Holtz  
Dated: August 28, 2001

**SUBMISSION OF PRIORITY DOCUMENT(S)**

Assistant Commissioner for Patents  
Washington, D.C. 20231

Sir:

Enclosed are Certified Copy(ies); priority is claimed under 35 USC 119:

<u>Country</u>	<u>Application No.</u>	<u>Filing Date</u>
JAPAN	2000-212986	July 13, 2000
JAPAN	2001-177022	June 12, 2001

Respectfully submitted,

Frishauf, Holtz, Goodman  
Langer & Chick, P.C.  
767 Third Avenue - 25th Fl.  
New York, N.Y. 10017-2023  
TEL: (212) 319-4900  
FAX: (212) 319-5101  
LH/pob

Leonard Holtz  
Reg.No. 22,974

113 SURREG 5/23/02  
RECEIVED 2614  
SEP 04 2001  
Technology Center 2600  
RECEIVE  
SEP 04 2001  
Technology Center 2



日 本 国 特 許 庁  
JAPAN PATENT OFFICE

RECEIVED  
SEP 04 2001  
Technology Center 2600

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 7月13日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-212986

出 願 人

Applicant(s):

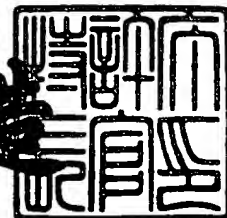
カシオ計算機株式会社

CERTIFIED COPY OF  
PRIORITY DOCUMENT

2001年 6月20日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3054455

【書類名】 特許願

【整理番号】 00-1063-00

【提出日】 平成12年 7月13日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G03B 11/00

【発明者】

    【住所又は居所】 東京都羽村市栄町3丁目2番1号 カシオ計算機株式会社  
                                 社 羽村技術センター内

    【氏名】 山口 竜介

【特許出願人】

    【識別番号】 000001443

    【氏名又は名称】 カシオ計算機株式会社

【代理人】

    【識別番号】 100090033

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 荒船 博司

【代理人】

    【識別番号】 100093045

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 荒船 良男

【手数料の表示】

    【予納台帳番号】 027188

    【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

    【物件名】 明細書 1

    【物件名】 図面 1

    【物件名】 要約書 1

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 携帯型電子機器、および、アタッチメント

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

機器本体にカメラ部を備える携帯型電子機器において、

機器本体に着脱可能で、少なくともカメラ部のレンズを覆う部分を有し、カメラ部で撮影される画像に特殊撮影効果を施すための特殊撮影機能部を具備するアタッチメントを備えることを特徴とする携帯型電子機器。

【請求項 2】

前記アタッチメントは、前記機器本体に備えられる表示部を含む表面を覆うことを特徴とする請求項 1 記載の携帯型電子機器。

【請求項 3】

前記アタッチメントは、前記機器本体の外周部に係合して固定するフック部を有することを特徴とする請求項 1 または 2 記載の携帯型電子機器。

【請求項 4】

前記フック部は、前記アタッチメントと一体的に構成されていることを特徴とする請求項 3 記載の携帯型電子機器。

【請求項 5】

前記フック部と前記アタッチメントとは別体で構成され、

前記フック部には前記機器本体に対し固定状態に付勢するバネ部材が設けられていることを特徴とする請求項 3 記載の携帯型電子機器。

【請求項 6】

前記アタッチメントは、前記機器本体の外周部に係合して固定する引掛け穴を有することを特徴とする請求項 1 または 2 記載の携帯型電子機器。

【請求項 7】

前記引掛け穴は、前記機器本体外周部に形成された凸部に係合することを特徴とする請求項 6 記載の携帯型電子機器。

【請求項 8】

前記引掛け穴は、前記機器本体外周部に設けられた操作ボタンに係合すること

を特徴とする請求項 6 記載の携帯型電子機器。

【請求項 9】

前記機器本体は、その端部にバンド部を備え、

前記アタッチメントは、前記バンドへの固定部を有することを特徴とする請求項 1 または 2 記載の携帯型電子機器。

【請求項 10】

前記バンド部は前記機器本体の両端に備えられ、前記固定部は前記バンド部を挿入する挿入穴を有することを特徴とする請求項 9 記載の携帯型電子機器。

【請求項 11】

前記固定部は、前記バンド部が挿入された際に前記バンド部を固定するバンド固定部を有することを特徴とする請求項 9 記載の携帯型電子機器。

【請求項 12】

前記機器本体には、前記バンド部を前記機器本体に取り付けるためのバネ棒取付部を備え、

前記アタッチメントは、このバネ棒取付部への固定部を有することを特徴とする請求項 1 または 2 記載の携帯型電子機器。

【請求項 13】

前記固定部は、前記バネ棒取付部の取付穴に外側から挿入する一対のピンを有することを特徴とする請求項 12 記載の携帯型電子機器。

【請求項 14】

前記機器本体は、その端部にバンド部を備え、

前記アタッチメントは、前記機器本体と前記バンド部の隙間に挿入して固定する挿入部を有することを特徴とする請求項 1 記載の携帯型電子機器。

【請求項 15】

前記アタッチメントは、前記機器本体を挟む鋸部を更に有することを特徴とする請求項 14 記載の携帯型電子機器。

【請求項 16】

前記アタッチメントは、前記機器本体に吸着して固定する吸盤部を有することを特徴とする請求項 1 記載の携帯型電子機器。

【請求項 17】

前記アタッチメントは、前記機器本体に両面テープを介して接着されることを特徴とする請求項 1 記載の携帯型電子機器。

【請求項 18】

前記アタッチメントは、吸着または接着を剥離するために指先で摘む突片部を有することを特徴とする請求項 16 または 17 記載の携帯型電子機器。

【請求項 19】

前記アタッチメントの特殊撮影機能を有する部分は、前記レンズに対し開閉動作可能に構成されていることを特徴とする請求項 1 または 11 記載の携帯型電子機器。

【請求項 20】

前記アタッチメントの特殊撮影機能を有する部分は切替可能に構成されていることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の携帯型電子機器。

【請求項 21】

前記アタッチメントの特殊撮影機能を有する部分はプレートで構成されていることを特徴とする請求項 20 記載の携帯型電子機器。

【請求項 22】

前記アタッチメントは、前記プレートが複数交換可能に構成されていることを特徴とする請求項 21 記載の携帯型電子機器。

【請求項 23】

二つの異なる特殊撮影機能を備えた単独のプレートが、前記アタッチメント本体に対し反転させて入れ替え可能であることを特徴とする請求項 21 記載の携帯型電子機器。

【請求項 24】

三つ以上の異なる特殊撮影機能を直線状に備えた単独のプレートが、前記アタッチメント本体に対しスライド移動可能であることを特徴とする請求項 21 記載の携帯型電子機器。

【請求項 25】

複数の異なる特殊撮影機能部を円周方向に備えた単独のプレートが、前記アタ

タッチメント本体に対し回転動作可能であることを特徴とする請求項 21 記載の携帯型電子機器。

【請求項 26】

特殊撮影機能を具備する拡張ユニットが、前記アタッチメント本体に外付けされていることを特徴とする請求項 20 記載の携帯型電子機器。

【請求項 27】

前記拡張ユニットは、前記アタッチメント本体に対し圧入して固定されていることを特徴とする請求項 26 記載の携帯型電子機器。

【請求項 28】

前記拡張ユニットは、前記アタッチメント本体に対しねじ込んで固定されていることを特徴とする請求項 26 記載の携帯型電子機器。

【請求項 29】

前記拡張ユニットは、前記アタッチメント本体に対し凹凸係合して固定されていることを特徴とする請求項 26 記載の携帯型電子機器。

【請求項 30】

機器本体はリストバンドを備えるリスト装着型であることを特徴とする請求項 1 から 8、15 から 29 の何れか記載の携帯型電子機器。

【請求項 31】

カメラ部を備える機器本体に着脱可能で、少なくとも当該カメラ部のレンズを覆う部分を有し、前記カメラ部において撮像される画像に特殊撮影効果を施すための特殊撮影機能部を具備することを特徴とするアタッチメント。

【請求項 32】

前記機器本体は表示部を備え、この表示部を覆う部分を更に有することを特徴とする請求項 31 記載のアタッチメント。

【請求項 33】

前記機器本体の外周部に係合して固定するフック部を有することを特徴とする請求項 31 または 32 記載のアタッチメント。

【請求項 34】

前記フック部と一体的に構成されていることを特徴とする請求項 33 記載のア

タッチメント。

【請求項 3 5】

前記フック部は別体に構成され、前記機器本体に対し固定状態に付勢するバネ部材が設けられていることを特徴とする請求項 3 3 記載のアタッチメント。

【請求項 3 6】

前記機器本体の外周部に係合して固定する引掛け穴を有することを特徴とする請求項 3 1 または 3 2 記載のアタッチメント。

【請求項 3 7】

前記引掛け穴は、前記機器本体外周部に形成された凸部に係合することを特徴とする請求項 3 6 記載のアタッチメント。

【請求項 3 8】

前記引掛け穴は、前記機器本体外周部に設けられた操作ボタンに係合することを特徴とする請求項 3 6 記載のアタッチメント。

【請求項 3 9】

前記機器本体に備えられるバンド部への固定部を有することを特徴とする請求項 3 1 または 3 2 記載のアタッチメント。

【請求項 4 0】

前記機器本体に備えられるバンド部を挿入するためのバンド挿入穴を有することを特徴とする請求項 3 9 記載のアタッチメント。

【請求項 4 1】

前記機器本体に備えられるバンド部へ挿入されることにより固定される単独の固定部を有することを特徴とする請求項 3 9 記載のアタッチメント。

【請求項 4 2】

前記機器本体に備えられ、前記バンド部を取り付けるためのバネ棒取付部への固定部を有することを特徴とする請求項 3 1 または 3 2 記載のアタッチメント。

【請求項 4 3】

前記固定部は、前記バネ棒取付部の取付穴に外側から挿入する一対のピンを有することを特徴とする請求項 4 2 記載のアタッチメント。

【請求項 4 4】



前記機器本体に備えられるバンド部と前記機器本体との隙間に挿入して固定する挿入部を有することを特徴とする請求項 3 1 記載の\_ATTACHMENT。

【請求項 4 5】

前記機器本体を挟む鋸部を更に有することを特徴とする請求項 4 4 記載の\_ATTACHMENT。

【請求項 4 6】

前記機器本体に吸着して固定する吸盤部を有することを特徴とする請求項 3 1 記載の\_ATTACHMENT。

【請求項 4 7】

前記機器本体に両面テープを介して接着されることを特徴とする請求項 3 1 記載の\_ATTACHMENT。

【請求項 4 8】

吸着または接着を剥離するために指先で摘む突片部を有することを特徴とする請求項 4 6 または 4 7 記載の\_ATTACHMENT。

【請求項 4 9】

前記特殊撮影機能を有する部分は、前記レンズに対し開閉動作可能となるように構成されていることを特徴とする請求項 3 1 または 4 1 記載の\_ATTACHMENT。

【請求項 5 0】

前記特殊撮影機能を有する部分は、切替可能であることを特徴とする請求項 3 1 または 3 2 記載の\_ATTACHMENT。

【請求項 5 1】

前記特殊撮影機能を有する部分としてプレートが組み込まれていることを特徴とする請求項 5 0 記載の\_ATTACHMENT。

【請求項 5 2】

異なる特殊撮影機能を有する複数のプレートが本体に対し交換可能であることを特徴とする請求項 5 1 記載の\_ATTACHMENT。

【請求項 5 3】

二つの異なる特殊撮影機能を直線状に備えた単独のプレートが、本体に対し反

転させて入れ替え可能であることを特徴とする請求項 51 記載のアタッチメント

【請求項 54】

三つ以上の異なる特殊撮影機能を直線状に備えた単独のプレートが、本体に対しスライド移動可能であることを特徴とする請求項 51 記載のアタッチメント。

【請求項 55】

複数の異なる特殊撮影機能を円周方向に備えた単独のプレートが、本体に対し回転動作可能であることを特徴とする請求項 51 記載のアタッチメント。

【請求項 56】

前記特殊撮影機能を具備する拡張ユニットが本体に外付けされていることを特徴とする請求項 50 記載のアタッチメント。

【請求項 57】

前記拡張ユニットは本体に対し圧入して固定されていることを特徴とする請求項 56 記載のアタッチメント。

【請求項 58】

前記拡張ユニットは本体に対しねじ込んで固定されていることを特徴とする請求項 56 記載のアタッチメント。

【請求項 59】

前記拡張ユニットは本体に対し凹凸係合して固定されていることを特徴とする請求項 56 記載のアタッチメント。

【請求項 60】

前記機器本体にリストバンドを備えるリスト装着型電子機器に着脱可能であることを特徴とする請求項 31 から 38、45 から 59 の何れか記載のアタッチメント。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、カメラ部を備えたリスト装着型等の携帯型電子機器、および、カメラ部を備えた電子機器に着脱可能に備えられるアタッチメントに関する。

【0002】

【従来の技術】

デジタルスチルカメラ等のカメラ部を備えたリスト装着型等の携帯型電子機器がある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

このようなカメラ部を備えたリスト装着型等の携帯型電子機器において、特殊撮影効果を付与できれば利便性が向上する。

【0004】

本発明の課題は、カメラ部を備えた携帯型電子機器において、特殊撮影効果の付与を可能とすることである。

【0005】

【課題を解決するための手段】

以上の課題を解決するため、請求項1記載の発明は、

例えば、図8から図10に示すように、

機器本体2にカメラ部6を備える携帯型電子機器1において、

機器本体2に着脱可能で、少なくともカメラ部のレンズ6を覆う部分を有し、カメラ部6で撮影される画像に特殊撮影効果を施すための特殊撮影機能部35を具備するアタッチメント30を備えることを特徴とする。

【0006】

請求項1記載の発明によれば、携帯型電子機器の機器本体にアタッチメントを装着することで、望遠／広角／ミクロ／各種フィルタ機能（色温度変換、紫外線吸収（カット）、室内電灯光源、偏光、色調補正、各種特殊効果）のフィルター効果等の特殊撮影効果が得られる。

【0007】

ここで、携帯型電子機器としては、腕時計の付加機能として搭載することが望ましいが、カメラ部を備えた携帯電話や携帯型電子メール端末等、他の小型携帯端末も含まれる。

カメラ部としては、スチルカメラやビデオカメラ等のデジタルカメラが挙げら

れるが、アナログカメラでも良い。

【 0 0 0 8 】

請求項 2 記載の発明は、

請求項 1 記載の携帯型電子機器 1 であって、

例えば、図 8 から図 1 0 に示すように、

前記アタッチメント 3 0 は、前記機器本体 2 に備えられる表示部 2 2 を含む表面を覆うことを特徴とする。

請求項 2 記載の発明によれば、請求項 1 記載のアタッチメントが機器本体の表示部を含む表面を覆うので、表示部を含む機器本体表面を保護できる。

なお、アタッチメントの表示部を覆う部分を凸レンズ構造にすれば、表示拡大効果も得られる。

【 0 0 0 9 】

請求項 3 記載の発明は、

請求項 1 または 2 記載の携帯型電子機器 1 であって、

例えば、図 8 から図 1 0 に示すように、

前記アタッチメント 3 0 は、前記機器本体 2 の外周部に係合して固定するフック部 3 6、3 7、3 8 を有することを特徴とする。

請求項 3 記載の発明によれば、請求項 1 または 2 記載のアタッチメントが機器本体の外周部に係合して固定するフック部を有するので、アタッチメントをフック部により機器本体外周部に係合して簡単に装着できる。

【 0 0 1 0 】

請求項 4 記載の発明は、

請求項 3 記載の携帯型電子機器 1 であって、

例えば、図 8 から図 1 0 に示すように、

前記フック部 3 6、3 7、3 8 は、前記アタッチメント 3 0 と一体的に構成されていることを特徴とする。

請求項 4 記載の発明によれば、請求項 3 記載のフック部がアタッチメントと一体的なので、機器本体にアタッチメントを装着するための部品点数が増大せず、かつローコストで済む。

## 【 0 0 1 1 】

請求項 5 記載の発明は、

請求項 3 記載の携帯型電子機器 1 であって、

例えば、図 1 1 から図 1 3 に示すように、

前記フック部 4 7 と前記アタッチメント 4 0 とは別体で構成され、

前記フック部 4 7 には前記機器本体 2 に対し固定状態に付勢するバネ部材 4 8 が設けられていることを特徴とする。

請求項 5 記載の発明によれば、アタッチメントと別体で構成された、請求項 3 記載のフック部には、機器本体に対し固定状態に付勢するバネ部材が設けられているので、バネ部材の力でフック部が機器本体に固定状態に保持され、また、バネ部材の力に抗してフック部を開くことにより、アタッチメントを機器本体から外せる。

従って、アタッチメントの脱着が容易であり、また、耐久性が高く、脱着時に機器本体に傷が付きにくい。

## 【 0 0 1 2 】

請求項 6 記載の発明は、

請求項 1 または 2 記載の携帯型電子機器 1 であって、

例えば、図 1 4 から図 1 6 に示すように、

前記アタッチメント 5 0 は、前記機器本体 2 の外周部に係合して固定する引掛け穴 5 2 a を有することを特徴とする。

請求項 6 記載の発明によれば、請求項 1 または 2 記載のアタッチメントが機器本体の外周部に係合して固定する引掛け穴を有するので、アタッチメントを引掛け穴により機器本体外周部に係合して簡単に装着できる。

## 【 0 0 1 3 】

請求項 7 記載の発明は、

請求項 6 記載の携帯型電子機器 1 であって、

例えば、図 1 4 から図 1 6 に示すように、

前記引掛け穴 5 2 a は、前記機器本体 2 外周部に形成された凸部 2 9 a に係合することを特徴とする。

請求項 7 記載の発明によれば、請求項 6 記載の引掛け穴が機器本体外周部の凸部に係合するので、機器本体にアタッチメントを装着するための部品点数が増大せず、かつ脱着時に機器本体に傷が付きにくい。

【 0 0 1 4 】

請求項 8 記載の発明は、

請求項 6 記載の携帯型電子機器 1 であって、

例えば、図 1 7 から図 1 9 に示すように、

前記引掛け穴 6 4 は、前記機器本体 2 外周部に設けられた操作ボタン 2 5、2 6 に係合することを特徴とする。

請求項 8 記載の発明によれば、請求項 6 記載の引掛け穴が機器本体外周部の操作ボタンに係合するので、既存の操作ボタンを利用してアタッチメントを装着でき、かつ脱着時に機器本体に傷が付きにくい。

なお、カメラ部のレンズが位置する面だけを覆うアタッチメントの場合には、アタッチメントの小型化にも寄与できる。

【 0 0 1 5 】

請求項 9 記載の発明は、

請求項 1 または 2 記載の携帯型電子機器 1 であって、

例えば、図 2 0 から図 2 2 に示すように、

前記機器本体 2 は、その端部にバンド部 3、4 を備え、

前記アタッチメント 7 0 は、前記バンド部 3、4 への固定部を有することを特徴とする。

請求項 9 記載の発明によれば、請求項 1 または 2 記載のアタッチメントが機器本体の端部に備えるバンド部への固定部を有するので、バンド部を利用してアタッチメントを機器本体に装着できる。

【 0 0 1 6 】

請求項 1 0 記載の発明は、

請求項 9 記載の携帯型電子機器 1 であって、

例えば、図 2 0 から図 2 2 に示すように、

前記バンド部 3、4 は前記機器本体 2 の両端に備えられ、

前記固定部は前記バンド部 3、4 を挿入する挿入穴 7 6、7 7 を有することを特徴とする。

請求項 1 0 記載の発明によれば、請求項 9 記載の固定部は、機器本体に両端に備えるバンド部の挿入穴を有するので、機器本体両端のバンド部を挿入穴に挿入した状態となって、アタッチメントが脱落しにくく、かつ脱着時に機器本体に傷が付きにくい。

## 【0 0 1 7】

請求項 1 1 記載の発明は、

請求項 9 記載の携帯型電子機器 1 であって、

例えば、図 2 3 から図 2 5、図 2 6 から図 2 8 に示すように、

前記固定部は、前記バンド部 3 が挿入された際に前記バンド部 3 を固定するバンド固定部 8 2、9 2 を有することを特徴とする。

請求項 1 1 記載の発明によれば、請求項 9 記載の固定部は、バンド部を挿入して固定するバンド固定部を有するので、バンド固定部にバンド部を挿入するだけで済み、脱着が容易で、アタッチメントの形状を小さくでき、かつ脱着時に機器本体に傷が付きにくい。

## 【0 0 1 8】

請求項 1 2 記載の発明は、

請求項 1 または 2 記載の携帯型電子機器 1 であって、

例えば、図 3 1 から図 3 3 に示すように、

前記機器本体 2 には、前記バンド部 3 を前記機器本体 2 に取り付けるためのバネ棒取付部 2 0 1 を備え、

前記アタッチメント 1 0 0 は、このバネ棒取付部 2 0 1 への固定部 1 0 2 を有することを特徴とする。

請求項 1 2 記載の発明によれば、請求項 1 または 2 記載のアタッチメントが機器本体のバネ棒取付部への固定部を有するので、バネ棒取付部を利用してアタッチメントを機器本体に装着できる。

## 【0 0 1 9】

請求項 1 3 記載の発明は、

請求項 12 記載の携帯型電子機器 1 であって、

例えば、図 31 から図 33 に示すように、

前記固定部 102 は、前記バネ棒取付部 201 の取付穴に外側から挿入する一対のピン 104 を有することを特徴とする。

請求項 13 記載の発明によれば、請求項 12 記載の固定部がバネ棒取付部の取付穴に外側から挿入する一対のピンを有するものであり、バネ棒取付部の取付穴に外側から一対のピンを挿入して、アタッチメントを確実に固定でき、かつアタッチメントを小型化しやすい。

【0020】

請求項 14 記載の発明は、

請求項 1 記載の携帯型電子機器 1 であって、

例えば、図 34 から図 36 に示すように、

前記機器本体 2 は、その端部にバンド部 3 を備え、

前記アタッチメント 110 は、前記機器本体 2 と前記バンド部 3 の隙間に挿入して固定する挿入部 112 を有することを特徴とする。

請求項 14 記載の発明によれば、請求項 1 記載のアタッチメントが機器本体とバンド部の隙間に挿入して固定する挿入部を有するので、機器本体とバンド部の隙間を利用してアタッチメントを機器本体に装着できる。

しかも、機器本体にアタッチメントを装着するための部品点数が増大せず、かつアタッチメントの脱着が容易である。

【0021】

請求項 15 記載の発明は、

請求項 14 記載の携帯型電子機器 1 であって、

例えば、図 37 から図 39 に示すように、

前記アタッチメント 120 は、前記機器本体 2 を挟む鋸部 124 を更に有することを特徴とする。

請求項 15 記載の発明によれば、請求項 14 記載のアタッチメントが機器本体を挟む鋸部を更に有するものであり、バンド部との隙間への挿入部と鋸部により機器本体を挟み込んでアタッチメントを確実に固定できる。



【 0 0 2 2 】

請求項 1 6 記載の発明は、

請求項 1 記載の携帯型電子機器 1 であって、

例えば、図 4 0 から図 4 2 に示すように、

前記アタッチメント 1 3 0 は、前記機器本体 2 に吸着して固定する吸盤部 1 3 1 を有することを特徴とする。

請求項 1 6 記載の発明によれば、請求項 1 記載のアタッチメントが機器本体に吸着して固定する吸盤部を有するので、アタッチメントを小型化でき、しかも、機器本体にアタッチメントを装着するための部品点数が増大せず、かつアタッチメントの脱着が容易である。

【 0 0 2 3 】

請求項 1 7 記載の発明は、

請求項 1 記載の携帯型電子機器 1 であって、

例えば、図 4 3 から図 4 5 に示すように、

前記アタッチメント 1 4 0 は、前記機器本体 2 に両面テープ 1 4 5、1 4 6 を介して接着されることを特徴とする。

請求項 1 7 記載の発明によれば、請求項 1 記載のアタッチメントが機器本体に両面テープを介して接着されるので、アタッチメントを小型化でき、しかも、機器本体にアタッチメントを装着するための部品点数が増大しない。

【 0 0 2 4 】

請求項 1 8 記載の発明は、

請求項 1 6 または 1 7 記載の携帯型電子機器 1 であって、

例えば、図 4 0 から図 4 2、図 4 3 から図 4 5 に示すように、

前記アタッチメント 1 3 0、1 4 0 は、吸着または接着を剥離するために指先で摘む突片部 1 3 2、1 4 2 を有することを特徴とする。

請求項 1 8 記載の発明によれば、請求項 1 6 または 1 7 記載のアタッチメントが吸着または接着を剥離するために指先で摘む突片部を有するので、突片部を指先で摘んでアタッチメントを容易に取り外せる。

【 0 0 2 5 】

請求項 1 9 記載の発明は、

請求項 1 または 1 1 記載の携帯型電子機器 1 であって、

例えば、図 2 9 及び図 3 0 に示すように、

前記アタッチメント 9 0 の特殊撮影機能を有する部分 9 1 ( 9 3 ) は、前記レンズ 6 に対し開閉動作可能に構成されていることを特徴とする。

請求項 1 9 記載の発明によれば、請求項 1 または 1 1 記載のアタッチメントの特殊撮影機能を有する部分がレンズに対し開閉動作可能なので、特殊撮影機能を有する部分を開閉操作することにより、特殊撮影効果の有無を切り替えでき、また、バンド部の回転位置に対しアタッチメントを位置修正できる。

【 0 0 2 6 】

請求項 2 0 記載の発明は、

請求項 1 または 2 記載の携帯型電子機器 1 であって、

例えば、図 4 6 から図 4 9 に示すように、

前記アタッチメント 1 5 0 の特殊撮影機能を有する部分 1 6 2、1 6 4 は切替可能に構成されていることを特徴とする。

請求項 2 0 記載の発明によれば、請求項 1 または 2 記載のアタッチメントの特殊撮影機能を有する部分が切替可能なので、特殊撮影効果の有無や種類を選択できる。

【 0 0 2 7 】

請求項 2 1 記載の発明は、

請求項 2 0 記載の携帯型電子機器 1 であって、

例えば、図 4 6 から図 4 9 に示すように、

前記アタッチメント 1 5 0 の特殊撮影機能を有する部分 1 6 2、1 6 4 はプレート 1 6 1、1 6 3 で構成されていることを特徴とする。

請求項 2 1 記載の発明によれば、請求項 2 0 記載のアタッチメントの特殊撮影機能を有する部分がプレートなので、プレートの交換／反転入れ替え／スライド／回転等により、特殊撮影効果の有無や種類を選択できる。

【 0 0 2 8 】

請求項 2 2 記載の発明は、

請求項 2 1 記載の携帯型電子機器 1 であって、  
例えば、図 4 6 から図 4 9 に示すように、  
前記アタッチメント 1 5 0 は、前記プレート 1 6 1、1 6 3 が複数交換可能に構成されていることを特徴とする。

【 0 0 2 9 】

請求項 2 3 記載の発明は、  
請求項 2 1 記載の携帯型電子機器 1 であって、  
例えば、図 5 0 から図 5 2 に示すように、  
二つの異なる特殊撮影機能部 1 6 6、1 6 7 を備えた単独のプレート 1 6 5 が、前記アタッチメント 1 5 0 本体に対し反転させて入れ替え可能であることを特徴とする。

【 0 0 3 0 】

請求項 2 4 記載の発明は、  
請求項 2 1 記載の携帯型電子機器 1 であって、  
例えば、図 5 3 から図 5 5 に示すように、  
三つ以上の異なる特殊撮影機能部 1 7 2、1 7 3、1 7 4 を直線状に備えた単独のプレート 1 7 1 が、前記アタッチメント 1 5 0 本体に対しスライド移動可能であることを特徴とする。

【 0 0 3 1 】

請求項 2 5 記載の発明は、  
請求項 2 1 記載の携帯型電子機器 1 であって、  
例えば、図 5 6 から図 5 8 に示すように、  
複数の異なる特殊撮影機能部 1 8 3、1 8 4、1 8 5、1 8 6、1 8 7、1 8 8 を円周方向に備えた単独のプレート 1 8 1 が、前記アタッチメント 1 5 0 本体に対し回転動作可能であることを特徴とする。

【 0 0 3 2 】

請求項 2 6 記載の発明は、  
請求項 2 0 記載の携帯型電子機器 1 であって、  
例えば、図 6 2 から図 6 4 に示すように、

特殊撮影機能を具備する拡張ユニット 2 3 0 が、前記アタッチメント本体 2 2 0 に外付けされていることを特徴とする。

請求項 2 6 記載の発明によれば、特殊撮影機能を具備する拡張ユニットが、請求項 2 0 記載のアタッチメント本体に外付けされているので、複数種類の特殊撮影効果の組み替え／組み合わせが可能となる。

【 0 0 3 3 】

請求項 2 7 記載の発明は、

請求項 2 6 記載の携帯型電子機器 1 であって、

例えば、図 6 2 から図 6 4 に示すように、

前記拡張ユニット 2 3 0 は、前記アタッチメント 2 2 0 本体に対し圧入して固定されていることを特徴とする。

【 0 0 3 4 】

請求項 2 8 記載の発明は、

請求項 2 6 記載の携帯型電子機器 1 であって、

例えば、図 6 5 から図 6 7 に示すように、

前記拡張ユニット 2 4 0 は、前記アタッチメント 2 2 0 本体に対しねじ込んで固定されていることを特徴とする。

【 0 0 3 5 】

請求項 2 9 記載の発明は、

請求項 2 6 記載の携帯型電子機器 1 であって、

例えば、図 6 8 から図 7 0 に示すように、

前記拡張ユニット 2 5 0 は、前記アタッチメント 2 2 0 本体に対し凹凸係合して固定されていることを特徴とする。

【 0 0 3 6 】

請求項 3 0 記載の発明は、

請求項 1 から 8、1 5 から 2 9 の何れか記載の携帯型電子機器 1 であって、

機器本体はリストバンドを備えるリスト装着型であることを特徴とする。

【 0 0 3 7 】

請求項 3 1 記載の発明は、

例えば、図 8 から図 1 0 に示すように、

カメラ部 6 を備える機器本体 2 に着脱可能なアタッチメント 3 0 であって、少なくとも当該カメラ部のレンズ 6 を覆う部分を有し、前記カメラ部 6 において撮像される画像に特殊撮影効果を施すための特殊撮影機能部 3 5 を具備することを特徴とする。

請求項 3 1 記載の発明によれば、アタッチメントを機器本体に装着することで、望遠／広角／ミクロ／各種フィルタ機能（色温度変換、紫外線吸収（カット）、室内電灯光源、偏光、色調補正、各種特殊効果）のフィルター効果等の特殊撮影効果が得られる。

#### 【 0 0 3 8 】

請求項 3 2 記載の発明は、

例えば、図 8 から図 1 0 に示すように、

請求項 3 1 記載のアタッチメント 3 0 であって、

前記機器本体 2 は表示部 2 2 を備え、この表示部 2 2 を覆う部分 3 1 を更に有することを特徴とする。

請求項 3 2 記載の発明によれば、請求項 3 1 記載のアタッチメントが機器本体の表示部を含む表面を覆うので、表示部を含む機器本体表面を保護できる。

なお、アタッチメントの表示部を覆う部分を凸レンズ構造にすれば、表示拡大効果も得られる。

#### 【 0 0 3 9 】

請求項 3 3 記載の発明は、

例えば、図 8 から図 1 0 に示すように、

請求項 3 1 または 3 2 記載のアタッチメント 3 0 であって、

前記機器本体 2 の外周部に係合して固定するフック部 3 6、3 7、3 8 を有することを特徴とする。

請求項 3 3 記載の発明によれば、請求項 3 1 または 3 2 記載のアタッチメントが機器本体の外周部に係合して固定するフック部を有するので、アタッチメントをフック部により機器本体外周部に係合して簡単に装着できる。

#### 【 0 0 4 0 】

請求項 3 4 記載の発明は、

例えば、図 8 から図 1 0 に示すように、

請求項 3 3 記載のアタッチメント 3 0 であって、

前記フック部 3 6、3 7、3 8 と一体的に構成されていることを特徴とする。

請求項 3 4 記載の発明によれば、請求項 3 3 記載のフック部がアタッチメントと一体的なので、アタッチメントを機器本体に装着するための部品点数が増大せず、かつローコストで済む。

【 0 0 4 1 】

請求項 3 5 記載の発明は、

例えば、図 1 1 から図 1 3 に示すように、

請求項 3 3 記載のアタッチメント 4 0 であって、

前記フック部 4 7 は別体に構成され、前記機器本体 2 に対し固定状態に付勢するバネ部材 4 8 が設けられていることを特徴とする。

請求項 3 5 記載の発明によれば、アタッチメントと別体で構成された、請求項 3 3 記載のフック部には、機器本体に対し固定状態に付勢するバネ部材が設けられているので、バネ部材の力でフック部が機器本体に固定状態に保持され、また、バネ部材の力に抗してフック部を開くことにより、アタッチメントを機器本体から外せる。

【 0 0 4 2 】

請求項 3 6 記載の発明は、

例えば、図 1 4 から図 1 6 に示すように、

請求項 3 1 または 3 2 記載のアタッチメント 5 0 であって、

前記機器本体 2 の外周部に係合して固定する引掛け穴 5 2 a を有することを特徴とする。

請求項 3 6 記載の発明によれば、請求項 3 1 または 3 2 記載のアタッチメントが機器本体の外周部に係合して固定する引掛け穴を有するので、アタッチメントを引掛け穴により機器本体外周部に係合して簡単に装着できる。

【 0 0 4 3 】

請求項 3 7 記載の発明は、

例えば、図 1 4 から図 1 6 に示すように、

請求項 3 6 記載のアタッチメント 5 0 であって、

前記引掛け穴 5 2 a は、前記機器本体 2 外周部に形成された凸部 2 9 a に係合することを特徴とする。

請求項 3 7 記載の発明によれば、請求項 3 6 記載の引掛け穴が機器本体外周部の凸部に係合するので、アタッチメントを機器本体に装着するための部品点数が増大せず、かつ脱着時に機器本体に傷が付きにくい。

【 0 0 4 4 】

請求項 3 8 記載の発明は、

例えば、図 1 7 から図 1 9 に示すように、

請求項 3 6 記載のアタッチメント 6 0 であって、

前記引掛け穴 6 4 は、前記機器本体 2 外周部に設けられた操作ボタン 2 5、2 6 に係合することを特徴とする。

請求項 3 8 記載の発明によれば、請求項 3 6 記載の引掛け穴が機器本体外周部の操作ボタンに係合するので、既存の操作ボタンを利用してアタッチメントを装着でき、かつ脱着時に機器本体に傷が付きにくい。

なお、カメラ部のレンズが位置する面だけを覆うアタッチメントの場合には、アタッチメントの小型化にも寄与できる。

【 0 0 4 5 】

請求項 3 9 記載の発明は、

例えば、図 2 0 から図 2 2 に示すように、

請求項 3 1 または 3 2 記載のアタッチメント 7 0 であって、

前記機器本体 2 に備えられるバンド部 3、4 への固定部を有することを特徴とする。

請求項 3 9 記載の発明によれば、請求項 3 1 または 3 2 記載のアタッチメントが機器本体の端部に備えるバンド部への固定部を有するので、バンド部を利用してアタッチメントを機器本体に装着できる。

【 0 0 4 6 】

請求項 4 0 記載の発明は、

例えば、図 2 0 から図 2 2 に示すように、

請求項 3 9 記載のアタッチメント 7 0 であって、

前記機器本体 2 に備えられるバンド部 3、4 を挿入するためのバンド挿入穴 7 6、7 7 を有することを特徴とする。

請求項 4 0 記載の発明によれば、請求項 3 9 記載のアタッチメントが、機器本体に備えるバンド部を挿入するバンド挿入穴を有するので、機器本体のバンド部をバンド挿入穴に挿入した状態となって、アタッチメントが脱落しにくく、かつ脱着時に機器本体に傷が付きにくい。

【0 0 4 7】

請求項 4 1 記載の発明は、

例えば、図 2 3 から図 2 5、図 2 6 から図 2 8 に示すように、

請求項 3 9 記載のアタッチメント 8 0、9 0 であって、

前記機器本体 2 に備えられるバンド部 3 へ挿入されることにより固定される単独の固定部 8 2、9 2 を有することを特徴とする。

請求項 4 1 記載の発明によれば、請求項 3 9 記載のアタッチメントは、バンド部へ挿入して固定する固定部を有するので、固定部をバンド部へ挿入するだけで済み、脱着が容易で、アタッチメントの形状を小さくでき、かつ脱着時に機器本体に傷が付きにくい。

【0 0 4 8】

請求項 4 2 記載の発明は、

例えば、図 3 1 から図 3 3 に示すように、

請求項 3 1 または 3 2 記載のアタッチメント 1 0 0 であって、

前記機器本体 2 に備えられ、前記バンド部 3 を取り付けるためのバネ棒取付部 2 0 1 への固定部 1 0 2 を有することを特徴とする。

請求項 4 2 記載の発明によれば、請求項 3 1 または 3 2 記載のアタッチメントが機器本体のバネ棒取付部への固定部を有するので、バネ棒取付部を利用してアタッチメントを機器本体に装着できる。

【0 0 4 9】

請求項 4 3 記載の発明は、



例えば、図 3 1 から図 3 3 に示すように、

請求項 4 2 記載のアタッチメント 1 0 0 であって、

前記固定部 1 0 2 は、前記バネ棒取付部 2 0 1 の取付穴に外側から挿入する一対のピン 1 0 4 を有することを特徴とする。

請求項 4 3 記載の発明によれば、請求項 4 2 記載の固定部がバネ棒取付部の取付穴に外側から挿入する一対のピンを有するものであり、バネ棒取付部の取付穴に外側から一対のピンを挿入して、アタッチメントを確実に固定でき、かつアタッチメントを小型化しやすい。

【 0 0 5 0 】

請求項 4 4 記載の発明は、

例えば、図 3 4 から図 3 6 に示すように、

請求項 3 1 記載のアタッチメント 1 1 0 であって、

前記機器本体 2 に備えられるバンド部 3 と前記機器本体 2 との隙間に挿入して固定する挿入部 1 1 2 を有することを特徴とする。

請求項 4 4 記載の発明によれば、請求項 4 1 記載のアタッチメントが機器本体とバンド部の隙間に挿入して固定する挿入部を有するので、機器本体とバンド部の隙間を利用してアタッチメントを機器本体に装着できる。

しかも、機器本体にアタッチメントを装着するための部品点数が増大せず、かつアタッチメントの脱着が容易である。

【 0 0 5 1 】

請求項 4 5 記載の発明は、

例えば、図 3 7 から図 3 9 に示すように、

請求項 4 4 記載のアタッチメント 1 2 0 であって、

前記機器本体 2 を挟む鰐部 1 2 4 を更に有することを特徴とする。

請求項 4 5 記載の発明によれば、請求項 4 4 記載のアタッチメントが機器本体を挟む鰐部を更に有するものであり、バンド部との隙間への挿入部と鰐部により機器本体を挟み込んでアタッチメントを確実に固定できる。

【 0 0 5 2 】

請求項 4 6 記載の発明は、

例えば、図 4 0 から図 4 2 に示すように、

請求項 3 1 記載のアタッチメント 1 3 0 であって、

前記機器本体 2 に吸着して固定する吸盤部 1 3 1 を有することを特徴とする。

請求項 4 6 記載の発明によれば、請求項 3 1 記載のアタッチメントが機器本体に吸着して固定する吸盤部を有するので、アタッチメントを小型化でき、しかも、機器本体にアタッチメントを装着するための部品点数が増大せず、かつアタッチメントの脱着が容易である。

【 0 0 5 3 】

請求項 4 7 記載の発明は、

例えば、図 4 3 から図 4 5 に示すように、

請求項 3 1 記載のアタッチメント 1 4 0 であって、

前記機器本体 2 に両面テープ 1 4 5、1 4 6 を介して接着されることを特徴とする。

請求項 4 7 記載の発明によれば、請求項 3 1 記載のアタッチメントが機器本体に両面テープを介して接着されるので、アタッチメントを小型化でき、しかも、機器本体にアタッチメントを装着するための部品点数が増大しない。

【 0 0 5 4 】

請求項 4 8 記載の発明は、

例えば、図 4 0 から図 4 2、図 4 3 から図 4 5 に示すように、

請求項 4 6 または 4 7 記載のアタッチメント 1 3 0、1 4 0 であって、

吸着または接着を剥離するために指先で摘む突片部 1 3 2、1 4 2 を有することを特徴とする。

請求項 4 8 記載の発明によれば、請求項 4 6 または 4 7 記載のアタッチメントが吸着または接着を剥離するために指先で摘む突片部を有するので、突片部を指先で摘んでアタッチメントを容易に取り外せる。

【 0 0 5 5 】

請求項 4 9 記載の発明は、

例えば、図 2 9 及び図 3 0 に示すように、

請求項 3 1 または 4 1 記載のアタッチメント 9 0 であって、

前記特殊撮影機能を有する部分 9 1 ( 9 3 ) は、前記レンズ 6 に対し開閉動作可能となるように構成されていることを特徴とする。

請求項 4 9 記載の発明によれば、請求項 3 1 または 4 1 記載のアタッチメントの特殊撮影機能を有する部分がレンズに対し開閉動作可能なので、特殊撮影機能を有する部分を開閉操作することにより、特殊撮影効果の有無を切り替えでき、また、バンド部の回転位置に対しアタッチメントを位置修正できる。

【 0 0 5 6 】

請求項 5 0 記載の発明は、

例えば、図 4 6 から図 4 9 に示すように、

請求項 3 1 または 3 2 記載のアタッチメント 1 5 0 であって、

前記特殊撮影機能を有する部分 1 6 2、1 6 4 は、切替可能であることを特徴とする。

請求項 5 0 記載の発明によれば、請求項 3 1 または 3 2 記載のアタッチメントの特殊撮影機能を有する部分が切替可能なので、特殊撮影効果の有無や種類を選択できる。

【 0 0 5 7 】

請求項 5 1 記載の発明は、

例えば、図 4 6 から図 4 9 に示すように、

請求項 5 0 記載のアタッチメント 1 5 0 であって、

前記特殊撮影機能を有する部分 1 6 2、1 6 4 としてプレート 1 6 1、1 6 3 が組み込まれていることを特徴とする。

請求項 5 1 記載の発明によれば、請求項 5 0 記載のアタッチメントの特殊撮影機能を有する部分はプレートなので、プレートの交換／反転入れ替え／スライド／回転等により、特殊撮影効果の有無や種類を選択できる。

【 0 0 5 8 】

請求項 5 2 記載の発明は、

例えば、図 4 6 から図 4 9 に示すように、

請求項 5 1 記載のアタッチメント 1 5 0 であって、

異なる特殊撮影機能を有する複数のプレート 1 6 1、1 6 3 が本体に対し交換

可能であることを特徴とする。

【0059】

請求項53記載の発明は、

例えば、図50から図52に示すように、

請求項51記載のアタッチメント150であって、

二つの異なる特殊撮影機能166、167を直線状に備えた単独のプレート165が、本体に対し反転させて入れ替え可能であることを特徴とする。

【0060】

請求項54記載の発明は、

例えば、図53から図55に示すように、

請求項51記載のアタッチメント150であって、

三つ以上の異なる特殊撮影機能172、173、174を直線状に備えた単独のプレート171が、本体に対しスライド移動可能であることを特徴とする。

【0061】

請求項55記載の発明は、

例えば、図56から図58に示すように、

請求項51記載のアタッチメント150であって、

複数の異なる特殊撮影機能183、184、185、186、187、188を円周方向に備えた単独のプレート181が、本体に対し回転動作可能であることを特徴とする。

【0062】

請求項56記載の発明は、

例えば、図62から図64に示すように、

請求項50記載のアタッチメント220であって、

前記特殊撮影機能を具備する拡張ユニット230が本体に外付けされていることを特徴とする。

請求項56の発明によれば、特殊撮影機能を具備する拡張ユニットが、請求項50記載の本体に外付けされているアタッチメントなので、複数種類の特殊撮影効果の組み替え／組み合わせが可能となる。

【 0 0 6 3 】

請求項 5 7 記載の発明は、  
 例えば、図 6 2 から図 6 4 に示すように、  
 請求項 5 6 記載のアタッチメント 2 2 0 であって、  
 前記拡張ユニット 2 3 0 は本体に対し圧入して固定されていることを特徴とする。

【 0 0 6 4 】

請求項 5 8 記載の発明は、  
 例えば、図 6 5 から図 6 7 に示すように、  
 請求項 5 6 記載のアタッチメント 2 2 0 であって、  
 前記拡張ユニット 2 4 0 は本体に対しねじ込んで固定されていることを特徴とする。

【 0 0 6 5 】

請求項 5 9 記載の発明は、  
 例えば、図 6 8 から図 7 0 に示すように、  
 請求項 5 6 記載のアタッチメント 2 2 であって、  
 前記拡張ユニット 2 5 0 は本体に対し凹凸係合して固定されていることを特徴とする。

【 0 0 6 6 】

請求項 6 0 記載の発明は、  
 請求項 3 1 から 3 8、4 5 から 5 9 の何れか記載のアタッチメントであって、  
 前記機器本体にリストバンドを備えるリスト装着型電子機器に着脱可能であることを特徴とする。

【 0 0 6 7 】

【発明の実施の形態】

以下、図を参照して本発明の実施の形態を詳細に説明する。

【 0 0 6 8 】

先ず、図 1 は本発明を適用した一例としての携帯型電子機器の全体を示す平面図で、図中、1 は腕時計（携帯型電子機器）、2 はケース本体（機器本体）、3

、4 はリストバンド、5 は遊環である。

そして、図2 はケース本体2 部分を拡大して示した平面図、図3 はケース本体2 部分の斜視図、図4 はケース本体2 部分のカメラ部及び光通信部を示した正面図、図5 はケース本体2 部分を側方から見た側面図、図6 はケース本体2 のみをカメラ部及び光通信部と反対側の斜め方向から見た斜視図で、図中、6 は撮像レンズ（カメラ部）、7 は赤外線通信部（光通信部）、8 は裏蓋、9 は電池蓋、2 1 は透明カバー部材、2 2 はデータ表示部、2 3 はシャッターボタン、2 4 はアジャストキー、2 5 はモードキー、2 6 はリバースキー、2 7 は表示切替キー、2 8 はフォワードキー、2 9 はベゼルである。

#### 【0 0 6 9】

本発明に係る携帯型電子機器の一適用例としての腕時計1 は、図1 及び図2 において、ケース本体2 の向こう側のリストバンド3 が取り付けられる端面に、図3 及び図4 に示すように、カメラ部である撮像レンズ6 と光通信部である赤外線通信部7 とを近接して並設したものである。

ケース本体2 には、撮像レンズ6 及び赤外線通信部7 を共通に覆う透明カバー部材2 1 が端面に設けられて、データ表示部2 2 及びシャッターボタン2 3 が設けられている。シャッターボタン2 3 は、データ表示部2 2 を挟んで撮像レンズ6 及び赤外線通信部7 とを結ぶ直線上に、撮像レンズ6 及び赤外線通信部7 と反対側に位置し、図面上において表面から裏面方向に押圧操作されることによりシャッター操作が可能になっている。

さらに、ケース本体2 には、一側面に操作ボタンであるアジャストキー2 4 及びモードキー2 5 が設けられて、他側面に操作ボタンであるリバースキー2 6、表示切替キー2 7 及びフォワードキー2 8 が設けられている。リバースキー2 6 及び表示切替キー2 7 は、複数記憶した画像をデータ表示部2 2 に表示させ、それを切り替えて表示させるためのものである。

#### 【0 0 7 0】

そして、ケース本体2 には、図3 から図6 に示すように、撮像レンズ6 及び赤外線通信部7 側のリストバンド3 を取り付けるとのバンド取付部（バネ棒取付部）2 0 1 が、ケース本体2 の裏面側に突出して設けられている。この一対のバ

ンド取付部 2 0 1 の間にバンド取付軸（バネ棒） 2 0 3 が取り付けられる。従って、リストバンド 3 は、図 5 に仮想線で示したように、バンド取付軸 2 0 3 を中心に回転させてケース本体 2 の裏面に重ね合わさるようになっている。

以上のケース本体 2 の表面には耐衝撃用のベゼル 2 9 が組み付けられている。

また、ケース本体 2 の裏面には金属製の裏蓋 8 がビス止めされていて、この裏蓋 8 の中央には電池蓋 9 が取り付けられている。

なお、バンド取付軸 2 0 3 の位置を電池蓋 9 よりも更に裏面側に位置させるようにしても良い。

#### 【 0 0 7 1 】

次に、図 7 は撮像レンズ 6 及び赤外線通信部 7 のカバー構造を示した分解斜視図で、図中、7 3 は赤外線通信用カバー（フィルター部材）である。

すなわち、撮像レンズ 6 は、ケース本体 2 の撮像用窓 2 0 6 に組み込まれ、赤外線通信部 7 は、ケース本体 2 の通信用窓 2 0 7 に配置され、これら撮像レンズ 6 及び赤外線通信部 7 を共通に覆う透明カバー部材 2 1 が、ケース本体 2 の端面に開口するカバー組込用凹部 2 0 5 に取り付けられる。

撮像レンズ 6 は、受光部の信号のデータ変換、及び転送のための C-MOS（Complementary Metal-Oxide Semiconductor）を搭載している。

撮像レンズ 6 は、ケース本体 2 の撮像用窓 2 0 6 に組み込まれる。

そして、通信用窓 2 0 7 の開口部にフィルター部材である赤外線通信用カバー 7 3 を溶着して固定し、更に、カバー組込用凹部 2 0 5 に撮像レンズ 6 及び赤外線通信部 7 を共通に覆う凸レンズ状の透明カバー部材 2 1 を溶着して固定する。

透明カバー部材 2 1 は、撮像レンズ 6 の位置に対応する円形凹部 2 1 1 を表面に有して、撮像用窓 2 0 6 及び通信用窓 2 0 7 の部分を除いて黒色印刷部 2 1 2 を裏面に有している。

#### 【 0 0 7 2 】

以上の通り、腕時計 1 において、ケース本体 2 の端面に撮像レンズ 6 及び赤外線通信部 7 を並設されているため、腕の装着したままで、データ表示部 2 2 をモニター（ファインダー）として使用しながらその手前のシャッターボタン 2 3 を

押して撮像でき、データ通信もできる。

また、図 5 に仮想線で示したように、リストバンド 3 を裏面に重ね合わせた状態でケース本体 2 を置いて使用できるため、適所にケース本体 2 を置いた状態で撮像とデータ通信が行える。

しかも、撮像レンズ 6 及び赤外線通信部 7 を一つの透明カバー部材 2 1 で共通に覆ったため、部品点数と組付工数を削減できる。

そして、透明カバー部材 2 1 は凸レンズ状の表面に撮像レンズ 6 の位置に対応する円形凹部 2 1 1 を有し、裏面に撮像用窓 2 0 6 及び通信用窓 2 0 7 の部分を除いて黒色印刷部 2 1 2 を有しているため、撮像レンズ 6 による撮影に光学的な支障を来すことがなく、また、透明カバー部材 2 1 は撮像レンズ 6 と赤外線通信部 7 にとって、互いに光軸が干渉し合う等、光学的な悪影響を及ぼすことがない。

なお、円形凹部 2 1 1 はそれ自体がレンズ構造を備えても良く、また、赤外線通信用カバー 7 3 を備えない代わりに、透明カバー部材 2 1 をフィルター部材で構成し、かつ、円形凹部 2 1 1 によってフィルター特性を減少させるようにしても良い。

#### 【 0 0 7 3 】

##### 〔第 1 の実施の形態〕

図 8 から図 1 0 に示すように、アタッチメント 3 0 は、本体ケース 2 上面のデータ表示部 2 2 を含む表面を覆う上面部 3 1 と、本体ケース 2 両側面の各種操作ボタン 2 4、2 5、2 6、2 7、2 8 を除く部分を覆う左右の側面部 3 2 と、本体ケース 2 端面の透明カバー部材 2 1 を覆う突出部 3 3 及び端面部 3 4 を有している。

アタッチメント 3 0 の端面部 3 4 には、撮像レンズ 6 と対応する位置に特殊撮影機能部であるレンズ部 3 5 が形成されている。レンズ部 3 5 は、望遠／広角／ミクロ／各種フィルタ機能（色温度変換、紫外線吸収（カット）、室内電灯光源、偏光、色調補正、各種特殊効果）の何れかの特殊撮影機能を具備する。

そして、左右の側面部 3 2 の各種操作ボタン 2 4、2 5、2 6、2 7、2 8 の両側に位置する端部には、内方に突出するフック部 3 6、3 7 が形成されている



。また、端面部 3 4 の端縁部にも内方に突出するフック部 3 8 が形成されている。

なお、上面部 3 1 には、シャッターボタン 2 3 を露出させる穴部 3 1 a が形成されている。

#### 【 0 0 7 4 】

以上のアタッチメント 3 0 は、透明樹脂製でレンズ部 3 5 とフック部 3 6、3 7、3 8 を一体成形したもの、または、レンズ部 3 5 とデータ表示部 2 2 を覆う部分を透明とし、その他の部分を有色として 2 色成形したものの何れかである。

アタッチメント 3 0 を腕時計 1 の本体ケース 2 に装着する場合、本体ケース 2 の外周部に左右の側面部 3 2 及び端面部 3 4 を沿わせて、本体ケース 2 上に上面部 3 1 を重ねることにより、三方からフック部 3 6、3 7、3 8 が本体ケース 2 の裏面に係合状態となる。こうしてアタッチメント 3 0 が本体ケース 2 に固定される。

#### 【 0 0 7 5 】

以上の通り、腕時計 1 の撮像レンズ 6 を備えた本体ケース 2 にアタッチメント 3 0 を装着することで、アタッチメント 3 0 のレンズ部 3 5 により望遠／広角／ミクロ／各種フィルタ機能（色温度変換、紫外線吸収（カット）、室内電灯光源、偏光、色調補正、各種特殊効果）の特殊撮影効果が得られる。なお、アタッチメント 3 0 の端面部 3 4 にレンズ部 3 5 を設けない場合でも、端面部 3 4 にフィルタ効果として機能するような加工（透明顔料の着色等）を施すと、フィルター効果が得られる。

そして、アタッチメント 3 0 の上面部 3 1 によって、本体ケース 2 のデータ表示部 2 2 を含む表面を保護できる。

さらに、アタッチメント 3 0 を三方のフック部 3 6、3 7、3 8 により本体ケース 2 の外周部に係合して簡単に装着できる。また、アタッチメント 3 0 の取り外しも容易である。

しかも、アタッチメント 3 0 と一体にフック部 3 6、3 7、3 8 を設けたので、本体ケース 2 にアタッチメント 3 0 を装着するための部品点数が増大せず、かつローコストで済む。

以上において、アタッチメント 3 0 の上面部 3 1 について、データ表示部 2 2 を覆う部分を凸レンズ構造にすれば、表示拡大効果も得られる。

また、アタッチメント 3 0 の上面部 3 1 について、データ表示部 2 2 を覆う部分にフレーム枠を印刷しても良く、更には、レンズ部 3 5 で得られる効果についての説明 (× 1 0、UV - F i l t e r 等) をこのフレーム枠に印刷したり、レンズ部 3 5 の働きによって得られる撮像効果と同じような画像を確認できるよう、レンズ部 3 5 を同様の素材で構成しても良い。

#### 【 0 0 7 6 】

##### 〔第 2 の実施の形態〕

図 1 1 から図 1 3 に示すように、アタッチメント 4 0 は、前述した第 1 の実施形態と同様の上面部 4 1、穴部 4 1 a、側面部 4 2、突出部 4 3、端面部 4 4 及びレンズ部 4 5 を有する透明樹脂製または 2 色成形品である。

そして、アタッチメント 4 0 の突出部 4 3 よりの両側部にレバー組み込み溝 4 6 が形成されていて、このレバー組み込み溝 4 6 にフックレバー 4 7 が中央部で回転自在に軸支されている。このフックレバー 4 7 は、その軸周りに設けたバネ部材 4 8 により下端部側が閉じる方向に付勢されている。

#### 【 0 0 7 7 】

以上のアタッチメント 4 0 は、本体ケース 2 の外周部に左右の側面部 4 2 及び端面部 4 4 を沿わせて、本体ケース 2 上に上面部 3 1 を重ねることにより、両側からフックレバー 4 7 がバネ部材 4 8 の付勢力を伴って本体ケース 2 の裏面に係合状態となる。こうしてアタッチメント 4 0 が本体ケース 2 に固定される。

また、左右のフックレバー 4 7 の上端部を指でバネ部材 4 8 の付勢力に抗して相寄る方向に押すと、フックレバー 4 7 の下端部が本体ケース 2 の裏面から側方に離れる。従って、アタッチメント 4 0 の取り外しが容易に行える。

しかも、フックレバー 4 7 及びバネ部材 4 8 による構成なので、耐久性が高く、また、脱着時に本体ケース 2 に傷が付きにくい。

#### 【 0 0 7 8 】

##### 〔第 3 の実施の形態〕

図 1 4 から図 1 6 に示すように、アタッチメント 5 0 は、上面部 5 1、側面部

5 2、突出部 5 3、端面部 5 4 を有する透明樹脂製である。

上面部 5 1 には、シャッターボタン 2 3 を露出させる穴部 5 1 a の他に、データ表示部 2 2 を露出させる窓部 5 1 b が形成されている。

そして、左右の側面部 5 2 には、本体ケース 2 両側面の各種操作ボタン 2 4、2 5、2 6、2 7、2 8 が位置する凸部 2 9 a に係合する引掛け穴 5 2 a が形成されている。

また、突出部 5 3 の内部には、レンズ部 5 6 を有する透明樹脂製のプレート 5 5 が端面部 5 4 の内側に重ねて収納されている。

#### 【 0 0 7 9 】

以上のアタッチメント 5 0 は、本体ケース 2 の一側面の凸部 2 9 a に一側面部 5 2 の引掛け穴 5 2 a を係合して、他側面の凸部 2 9 a に他方の引掛け穴 5 2 a を係合することにより本体ケース 2 に固定される。

このように、本体ケース 2 にアタッチメント 5 0 を簡単に装着でき、取り外しも簡単に行える。

しかも、アタッチメント 5 0 の側面部 5 2 に引掛け穴 5 2 a を形成したので、本体ケース 2 にアタッチメント 5 0 を装着するための部品点数が増大しない。

また、引掛け穴 5 2 a と凸部 2 9 a の係合なので、脱着時に本体ケース 2 に傷が付きにくい。

#### 【 0 0 8 0 】

##### 〔第 4 の実施の形態〕

図 1 7 から図 1 9 に示すように、アタッチメント 6 0 は、本体ケース 2 端面の透明カバー部材 2 1 を覆う正面部 6 1 と、本体ケース 2 両側面の一個ずつの操作ボタン 2 5、2 6 を覆う左右の側面部 6 2 とを有する透明樹脂製である。

正面部 6 1 にはレンズ部 6 3 が形成され、側面部 6 2 には操作ボタン 2 5、2 6 の何れかに係合する引掛け穴 6 4 が形成されている。

以上のアタッチメント 6 0 は、本体ケース 2 の一側面の操作ボタン 2 5 に一側面部 6 2 の引掛け穴 6 4 を係合して、他側面の操作ボタン 2 6 に他方の引掛け穴 6 4 を係合することにより、本体ケース 2 に固定される。

このように、レンズ部 6 3 を有する正面部 6 1 と固定用の側面部 6 2 だけで構

成すれば、前述した第 3 の実施形態と同様の作用効果が得られるのは勿論のこと、小型化したアタッチメント 6 0 で良い。

【 0 0 8 1 】

〔第 5 の実施の形態〕

図 2 0 から図 2 2 に示すように、アタッチメント 7 0 は、前述した第 2 の実施形態と同様の上面部 7 1、穴部 7 1 a、側面部 7 2、突出部 7 3、端面部 7 4 及びレンズ部 7 5 を有する透明樹脂製または 2 色成形品である。

そして、端面部 7 4 にバンド挿入穴 7 6 が形成されて、上面部 7 1 の穴部 7 1 a より先の端部にもバンド挿入穴 7 7 が形成されている。

以上のアタッチメント 7 0 は、端面部 7 4 のバンド挿入穴 7 6 にリストバンド 3 を挿入して、上面部 7 1 の反対側端部のバンド挿入穴 7 7 にリストバンド 4 を挿入することにより、本体ケース 2 に固定される。

このように、アタッチメント 7 0 の両端にリストバンド 7 6、7 7 を挿入して本体ケース 2 に装着するので、アタッチメント 7 0 が脱落しにくい。

【 0 0 8 2 】

〔第 6 の実施の形態〕

図 2 3 から図 2 5 に示すように、アタッチメント 8 0 は、本体ケース 2 端面の透明カバー部材 2 1 を覆う正面部 8 1 と、その下方から突出する固定部 8 2 とを有する透明樹脂製である。

正面部 8 1 にはレンズ部 8 3 が形成され、固定部 8 2 にはバンド挿入穴 8 4 が形成されている。バンド挿入穴 8 4 には位置決め小突条 8 5 が形成されている。

以上のアタッチメント 8 0 は、固定部 8 2 のバンド挿入穴 8 4 にリストバンド 3 を挿入することにより、位置決め小突条 8 5 がリストバンド 3 の溝 3 a に係合して、本体ケース 2 に固定される。

このように、片方のリストバンド 3 のみによる固定のため、小型化したアタッチメント 8 0 で良い。

【 0 0 8 3 】

〔第 7 の実施の形態〕

図 2 6 から図 2 8 に示すように、アタッチメント 9 0 は、レンズ部 9 3 を有す

る正面部 9 1 と、バンド挿入穴 9 4 及び位置決め小突条 8 5 を有する固定部 9 2 とをボルト 9 6 により回転自在に結合したものである。正面部 9 1 及び固定部 9 2 は透明樹脂製である。ボルト 9 6 は、回転軸兼ジョイントであり、圧入しても良い。

以上のアタッチメント 9 0 は、前述した第 6 の実施形態と同様、固定部 9 2 のバンド挿入穴 9 4 にリストバンド 3 を挿入することにより、位置決め小突条 9 5 がリストバンド 3 の溝 3 a に係合して、本体ケース 2 に固定される。

#### 【 0 0 8 4 】

図 2 9 及び図 3 0 は、アタッチメント 9 0 を本体ケース 2 に対し開いた状態を示したもので、このように、リストバンド 3 を本体ケース 2 に対し直角に曲げて、アタッチメント 9 0 の正面部 9 1 をレンズ 6 が位置する透明カバー部材 2 1 から側方に退避させることができる。

従って、こうすれば、アタッチメント 9 0 を外さなくても、特殊撮影効果を必要としない通常撮影が行える。

#### 【 0 0 8 5 】

##### 〔第 8 の実施の形態〕

図 3 1 から図 3 3 に示すように、アタッチメント 1 0 0 は、レンズ部 1 0 3 を有する正面部 1 0 1 と、その左右端から突出する小突部（固定部） 1 0 2 とを有する透明樹脂製である。小突部 1 0 2 には内側に突出するねじ込みピン 1 0 4 が設けられている。

以上のアタッチメント 1 0 0 は、本体ケース 2 のネジ棒取付部 2 0 1 の取付穴に左右外側からねじこみピン 1 0 4 をねじ込むことにより、本体ケース 2 に固定される。

このように、ねじ込みピン 1 0 4 のねじ込みによりアタッチメント 1 0 0 を確実に固定でき、小型化したアタッチメント 1 0 0 で良い。

#### 【 0 0 8 6 】

##### 〔第 9 の実施の形態〕

図 3 4 から図 3 6 に示すように、アタッチメント 1 1 0 は、レンズ部 1 1 3 を有する正面部 1 1 1 と、その下方から突出する挿入鋸部 1 1 2 とを有する透明樹

脂製である。

このアタッチメント 1 1 0 は、本体ケース 2 と片方のリストバンド 3 との隙間に挿入鰐部 1 1 2 を挿入することにより、本体ケース 2 に固定される。外す場合は、挿入鰐部 1 1 2 を引き抜けば良い。

このように、アタッチメント 1 1 0 の脱着が容易であり、小型化したアタッチメント 1 1 0 で良い。

【 0 0 8 7 】

〔第 1 0 の実施の形態〕

図 3 7 から図 3 9 に示すように、アタッチメント 1 2 0 は、前述した第 9 の実施形態と同様のレンズ部 1 2 3 を有する正面部 1 2 1 と、その下方から突出する挿入鰐部 1 2 2 の他、正面部 1 2 1 の上方から突出する上面鰐部 1 2 4 を有する透明樹脂製である。

このアタッチメント 1 2 0 は、本体ケース 2 の上面に上面鰐部 1 2 4 を当てて、本体ケース 2 と片方のリストバンド 3 との隙間に挿入鰐部 1 2 2 を挿入することにより、本体ケース 2 に固定される。外す場合は、挿入鰐部 1 2 2 を引き抜けば良い。

このように、挿入鰐部 1 2 2 と上面鰐部 1 2 4 とで本体ケース 2 を挟み込むことによって、アタッチメント 1 2 0 を安定して固定できる。

【 0 0 8 8 】

〔第 1 1 の実施の形態〕

図 4 0 から図 4 2 に示すように、アタッチメント 1 3 0 は、レンズ部兼吸盤部 1 3 1 と、その外周から突出する突片部 1 3 2 とを有する透明軟質樹脂製である。

このアタッチメント 1 3 0 は、透明カバー部材 2 1 の円形凹部 2 1 1 に吸盤部（レンズ部） 1 3 1 を吸着させることにより、本体ケース 2 に固定される。外す場合は、突片部 1 3 2 を指で摘んで引っ張ることにより、透明カバー部材 2 1 から吸盤部 1 3 1 を剥がせば良い。

従って、脱着が容易であり、特に、最小のアタッチメント 1 3 0 にできる。

【 0 0 8 9 】

## 〔第 1 2 の実施の形態〕

図 4 3 から図 4 5 に示すように、アタッチメント 1 4 0 は、透明カバー部材 2 1 の表面に対応する正面部 1 4 1 と、その側方に突出する突片部 1 4 2 とを有する透明樹脂製である。正面部 1 4 1 には、円形凹部 2 1 1 に対応するレンズ部 1 4 3 が形成されている。

このアタッチメント 1 4 0 は、円形凹部 1 2 2 にレンズ部 1 4 3 を当てて、透明カバー部材 2 1 に正面部 1 4 1 を両面テープ 1 4 5、1 4 6 で接着することにより、本体ケース 2 に固定される。外す場合は、突片部 1 4 2 を指で摘んで引っ張ることにより、透明カバー部材 2 1 から正面部 1 4 1 を剥がせば良い。

このように、脱着が容易であり、小型化したアタッチメント 1 4 0 で良い。

## 【 0 0 9 0 】

## 〔第 1 3 の実施の形態〕

図 4 6 から図 4 9 に示すように、アタッチメント 1 5 0 は、前述した第 1 の実施形態と同様の上面部 1 5 1、穴部 1 5 1 a、側面部 1 5 2、突出部 1 5 3、端面部 1 5 4、フック部 1 5 6、1 5 7、1 5 8 を有する透明樹脂製または 2 色成形品である。

そして、突出部 1 5 3 の内部には、レンズ部 1 6 2 を有する透明樹脂製のプレート 1 6 1 が端面部 1 5 4 の内側に重ねて収納されている。

さらに、他のレンズ部 1 6 4 を有する透明樹脂製のプレート 1 6 3 が用意されている。

すなわち、一方のプレート 1 6 1 は A 効果部 1 6 2 を有するものであり、また、他方のプレート 1 6 3 は B 効果部 1 6 4 を有するものである。

## 【 0 0 9 1 】

以上のアタッチメント 1 5 0 によれば、前述した第 1 の実施形態と同様の作用効果が得られる他、複数の特殊撮影効果を選択できる。

すなわち、異なる特殊撮影機能部 1 6 2、1 6 4 を有するプレート 1 6 1、1 6 3 の何れかを選択して入れ替えることで、A 効果部 1 6 2 と B 効果部 1 6 4 とを選択できる。

しかも、プレート 1 6 1、1 6 3 の入れ替えだけで、特殊撮影効果を簡単に切

り替えできる。

#### 【0092】

##### 〔第14の実施の形態〕

図50から図52に示すように、アタッチメント150は、前述した第13の実施形態と同様であるが、突出部153の内部に、二つの異なる特殊撮影機能部166、167を有する透明樹脂製のプレート165が端面部154の内側に重ねて収納されている。

すなわち、単独のプレート165にA効果部166とB効果部167を設けている。

これによれば、プレート165を反転して入れ替えることで、A効果部166とB効果部167とを選択できる。

#### 【0093】

##### 〔第15の実施の形態〕

図53から図55に示すように、アタッチメント150は、前述した第13の実施形態とほぼ同様であるが、突出部153の内部に、三つの異なる特殊撮影機能部172、173、174を有する透明樹脂製の横長プレート171が端面部154の内側に重ねて横方向スライド自在となっている。横長プレート171の両端は抜け止め用の幅広部175となっている。

すなわち、単独の横長プレート171にA効果部172とB効果部173とC効果部174を設けている。

これによれば、プレート171をスライド操作することで、A効果部172とB効果部173とC効果部174とを選択できる。

#### 【0094】

##### 〔第16の実施の形態〕

図56から図58に示すように、アタッチメント150は、前述した第13の実施形態と同様であるが、突出部153の内部に、透明樹脂製の円形プレート181が端面部154の内側に重ねて回転自在となっている。

円形プレート181は、回転軸182を円周方向に沿って六つの異なる特殊撮影機能部183、184、185、186、187、188を並べて設けたもの



である。

これによれば、円形プレート 1 8 1 を回転操作することで、六つの異なる特殊撮影機能部 1 8 3、1 8 4、1 8 5、1 8 6、1 8 7、1 8 8 を選択できる。

【 0 0 9 5 】

〔第 1 7 の実施の形態〕

図 5 9 から図 6 1 に示すように、アタッチメント 1 9 0 は、前述した第 4 の実施形態と同様の正面部 1 9 1、側面部 1 9 2 及び引掛け穴 1 9 4 を有する透明樹脂製である。

そして、正面部 1 9 1 の内部には、二つの異なる特撮影機能部 1 9 6、1 9 7 を有するプレート 1 9 5 が反転して入れ替え可能に収納されている。

これによれば、プレート 1 9 5 を反転して入れ替えることで、二つの異なる特撮影機能部 1 9 6、1 9 7 を選択できる。

なお、異なる特殊撮影機能部を有する二枚のプレートを用意して入れ替えるようにしても良い。

【 0 0 9 6 】

〔第 1 8 の実施の形態〕

図 6 2 から図 6 4 に示すように、アタッチメント 2 2 0 は、前述した第 1 の実施形態とほぼ同様の上面部 2 2 1、穴部 2 2 1 a、側面部 2 2 2、突出部 2 2 3、端面部 2 2 4、フック部 2 2 6、2 2 7 を有する透明樹脂製または 2 色成形品である。

そして、端面部 2 2 4 には、拡張ユニット 2 3 0 が圧入されている。

拡張ユニット 2 3 0 は、レンズ（特殊撮影機能部）2 3 1 を円筒体 2 3 2 に備えるもので、円筒体 2 3 2 は、圧入用の外周テーパ面 2 3 3 と、撮影用の内周テーパ面 2 3 4 を有している。

以上の拡張ユニット 2 3 0 は、端面部 2 2 4 に形成したテーパ状組付穴 2 2 9 A に外周テーパ面 2 3 3 を圧入することにより、アタッチメント 2 2 0 に固定されている。

【 0 0 9 7 】

以上の拡張ユニット 2 3 0 を外付けしたアタッチメント 2 2 0 によれば、前述

した第 1 の実施形態と同様の作用効果が得られる。

また、前述した第 1 の実施形態のアタッチメント 3 0 と拡張ユニット 2 3 0 とを組み合わせれば、複数種類の特殊撮影効果の組み替え／組み合わせが可能となる。

#### 【 0 0 9 8 】

##### 〔第 1 9 の実施の形態〕

図 6 5 から図 6 7 に示すように、アタッチメント 2 2 0 は、前述した第 1 8 の実施形態と同様であるが、拡張ユニット 2 4 0 は、レンズ（特殊撮影機能部） 2 4 1 を備える円筒体 2 4 2 が、外周ネジ部 2 4 3 と、内周ネジ部 2 4 4 を有している。

そして、拡張ユニット 2 4 0 は、端面部 2 2 4 に形成したネジ穴 2 2 9 B に外周ネジ部 2 4 3 をねじ込むことにより、アタッチメント 2 2 0 に固定されている。

以上の拡張ユニット 2 4 0 を外付けしたアタッチメント 2 2 0 によっても、前述した第 1 の実施形態と同様の作用効果が得られる。

また、拡張ユニット 2 4 0 の内周ネジ部 2 4 4 に、図示しない拡張ユニットをねじ込んで組み合わせれば、特殊撮影効果の組み替え／組み合わせをさらに多くできる。

#### 【 0 0 9 9 】

##### 〔第 2 0 の実施の形態〕

図 6 8 から図 7 0 に示すように、アタッチメント 2 2 0 は、前述した第 1 8 の実施形態と同様であるが、拡張ユニット 2 5 0 は、端面部 2 2 4 に対応する厚肉形状のものである。

拡張ユニット 2 5 0 は、レンズ（特殊撮影機能部） 2 5 1、左右一対のフック部 2 5 2、内周テーパ面 2 5 3、左右一対の係合溝 2 5 4 を備えている。

そして、拡張ユニット 2 5 0 は、突出部 2 2 3 の両側面に形成した係合溝 2 2 9 C にフック部 2 5 2 を係合することにより、アタッチメント 2 2 0 に固定されている。

#### 【 0 1 0 0 】

以上の拡張ユニット 2 5 0 を外付けしたアタッチメント 2 2 0 によっても、前述した第 1 の実施形態と同様の作用効果が得られる。

また、拡張ユニット 2 5 0 の係合溝 2 5 4 に、図示しない拡張ユニットをフック部で凹凸係合して組み合わせれば、特殊撮影効果の組み替え／組み合わせをさらに多くできる。

【 0 1 0 1 】

なお、以上の実施の形態においては、腕時計としたが、本発明はこれに限定されるものではなく、他のリスト装着型電子機器や携帯端末機であっても良く、要は携帯型電子機器であれば良い。

また、カメラ部の構成等も任意であり、その他、具体的な細部構造等についても適宜に変更可能であることは勿論である。

【 0 1 0 2 】

【発明の効果】

請求項 1 記載の発明によれば、携帯型電子機器の機器本体にアタッチメントを装着することで、望遠／広角／ミクロ／各種フィルタ機能（色温度変換、紫外線吸収（カット）、室内電灯光源、偏光、色調補正、各種特殊効果）のフィルター効果等の特殊撮影効果が得られる。

【 0 1 0 3 】

請求項 2 記載の発明によれば、請求項 1 記載の発明により得られる効果に加え、アタッチメントにより、表示部を含む機器本体表面を保護できるといった利点を得られる。

なお、アタッチメントの表示部を覆う部分を凸レンズ構造にすれば、表示拡大効果も得られる。

【 0 1 0 4 】

請求項 3 記載の発明によれば、請求項 1 または 2 記載の発明により得られる効果に加え、アタッチメントをフック部により機器本体外周部に係合して簡単に装着できるといった利点を得られる。

【 0 1 0 5 】

請求項 4 記載の発明によれば、アタッチメントと一体的なフック部のため、請

請求項 3 記載の発明により得られる効果に加え、機器本体にアタッチメントを装着するための部品点数が増大せず、かつローコストで済むといった利点を得られる。

【 0 1 0 6 】

請求項 5 記載の発明によれば、バネ部材の力でフック部が機器本体に固定状態に保持され、また、バネ部材の力に抗してフック部を開くことにより、アタッチメントを機器本体から外せるため、請求項 3 記載の発明により得られる効果に加え、アタッチメントの脱着が容易であり、また、耐久性が高く、脱着時に機器本体に傷が付きにくいといった利点を得られる。

【 0 1 0 7 】

請求項 6 記載の発明によれば、請求項 1 または 2 記載の発明により得られる効果に加え、アタッチメントを引掛け穴により機器本体外周部に係合して簡単に装着できるといった利点を得られる。

【 0 1 0 8 】

請求項 7 記載の発明によれば、引掛け穴が機器本体外周部の凸部に係合するため、請求項 6 記載の発明により得られる効果に加え、機器本体にアタッチメントを装着するための部品点数が増大せず、かつ脱着時に機器本体に傷が付きにくいといった利点を得られる。

【 0 1 0 9 】

請求項 8 記載の発明によれば、請求項 6 記載の発明により得られる効果に加え、既存の操作ボタンを利用してアタッチメントを装着でき、かつ脱着時に機器本体に傷が付きにくいといった利点を得られる。

なお、カメラ部のレンズが位置する面だけを覆うアタッチメントの場合には、アタッチメントの小型化にも寄与できる。

【 0 1 1 0 】

請求項 9 記載の発明によれば、請求項 1 または 2 記載の発明により得られる効果に加え、バンド部を利用してアタッチメントを機器本体に装着できるといった利点を得られる。

【 0 1 1 1 】

請求項 1 0 記載の発明によれば、機器本体両端部のバンド部を挿入部に挿入した状態となるため、請求項 9 記載の発明により得られる効果に加え、アタッチメントが脱落しにくく、かつ脱着時に機器本体に傷が付きにくいといった利点を得られる。

【 0 1 1 2 】

請求項 1 1 記載の発明によれば、バンド固定部にバンド部を挿入するだけで済むため、請求項 9 記載の発明により得られる効果に加え、脱着が容易で、アタッチメントの形状を小さくでき、かつ脱着時に機器本体に傷が付きにくいといった利点を得られる。

【 0 1 1 3 】

請求項 1 2 記載の発明によれば、請求項 1 または 2 記載の発明により得られる効果に加え、バネ棒取付部を利用してアタッチメントを機器本体に装着できるといった利点を得られる。

【 0 1 1 4 】

請求項 1 3 記載の発明によれば、バネ棒取付部の取付穴に外側から一対のピンを挿入するため、請求項 1 2 記載の発明により得られる効果に加え、アタッチメントを確実に固定でき、かつアタッチメントを小型化しやすいといった利点を得られる。

【 0 1 1 5 】

請求項 1 4 記載の発明によれば、請求項 1 記載の発明により得られる効果に加え、機器本体とバンド部の隙間を利用してアタッチメントを機器本体に装着でき、機器本体にアタッチメントを装着するための部品点数が増大せず、かつアタッチメントの脱着が容易であるといった利点を得られる。

【 0 1 1 6 】

請求項 1 5 記載の発明によれば、請求項 1 4 記載の発明により得られる効果に加え、バンド部との隙間への挿入部と鍔部により機器本体を挟み込んでアタッチメントを確実に固定できるといった利点を得られる。

【 0 1 1 7 】

請求項 1 6 記載の発明によれば、吸盤部を有するアタッチメントのため、請求

項 1 記載の発明により得られる効果に加え、アタッチメントを小型化でき、しかも、機器本体にアタッチメントを装着するための部品点数が増大せず、かつアタッチメントの脱着が容易であるといった利点を得られる。

【 0 1 1 8 】

請求項 1 7 記載の発明によれば、アタッチメントを機器本体に両面テープを介して接着するため、請求項 1 記載の発明により得られる効果に加え、アタッチメントを小型化でき、しかも、機器本体にアタッチメントを装着するための部品点数が増大しないといった利点を得られる。

【 0 1 1 9 】

請求項 1 8 記載の発明によれば、指先で摘む突片部を有するアタッチメントのため、請求項 1 6 または 1 7 記載の発明により得られる効果に加え、突片部を指先で摘んでアタッチメントを容易に取り外せるといった利点を得られる。

【 0 1 2 0 】

請求項 1 9 記載の発明によれば、請求項 1 または 1 1 記載の発明により得られる効果に加え、特殊撮影機能を有する部分をレンズに対し開閉操作することにより、特殊撮影効果の有無を切り替えでき、また、バンド部の回転位置に対しアタッチメントを位置修正できるといった利点を得られる。

【 0 1 2 1 】

請求項 2 0 記載の発明によれば、アタッチメントの特殊撮影機能を有する部分を切替可能としたため、請求項 1 または 2 記載の発明により得られる効果に加え、特殊撮影効果の有無や種類を選択できるといった利点を得られる。

【 0 1 2 2 】

請求項 2 1 記載の発明によれば、特殊撮影機能を有する部分であるプレートの交換／反転入れ替え／スライド／回転等により、請求項 2 0 記載の発明のように、特殊撮影効果の有無や種類を選択できる。

【 0 1 2 3 】

請求項 2 6 記載の発明によれば、特殊撮影機能を具備する拡張ユニットをアタッチメント本体に外付けすることによって、請求項 2 0 記載の発明により得られる効果に加え、複数種類の特殊撮影効果の組み替え／組み合わせが可能となると

いった利点を得られる。

【 0 1 2 4 】

請求項 3 1 記載の発明によれば、アタッチメントを機器本体に装着することで、望遠／広角／ミクロ／各種フィルタ機能（色温度変換、紫外線吸収（カット）、室内電灯光源、偏光、色調補正、各種特殊効果）のフィルター効果等の特殊撮影効果が得られる。

【 0 1 2 5 】

請求項 3 2 記載の発明によれば、請求項 3 1 記載の発明により得られる効果に加え、アタッチメントにより、表示部を含む機器本体表面を保護できるといった利点を得られる。

なお、アタッチメントの表示部を覆う部分を凸レンズ構造にすれば、表示拡大効果も得られる。

【 0 1 2 6 】

請求項 3 3 記載の発明によれば、請求項 3 1 または 3 2 記載の発明により得られる効果に加え、アタッチメントをフック部により機器本体外周部に係合して簡単に装着できるといった利点を得られる。

【 0 1 2 7 】

請求項 3 4 記載の発明によれば、アタッチメントと一体的なフック部のため、請求項 3 3 記載の発明により得られる効果に加え、機器本体にアタッチメントを装着するための部品点数が増大せず、かつローコストで済むといった利点を得られる。

【 0 1 2 8 】

請求項 3 5 記載の発明によれば、バネ部材の力でフック部が機器本体に固定状態に保持され、また、バネ部材の力に抗してフック部を開くことにより、アタッチメントを機器本体から外せるため、請求項 3 3 記載の発明により得られる効果に加え、アタッチメントの脱着が容易であり、また、耐久性が高く、脱着時に機器本体に傷が付きにくいといった利点を得られる。

【 0 1 2 9 】

請求項 3 6 記載の発明によれば、請求項 3 1 または 3 2 記載の発明により得ら

れる効果に加え、アタッチメントを引掛け穴により機器本体外周部に係合して簡単に装着できるといった利点を得られる。

【0130】

請求項37記載の発明によれば、引掛け穴が機器本体外周部の凸部に係合するため、請求項36記載の発明により得られる効果に加え、機器本体にアタッチメントを装着するための部品点数が増大せず、かつ脱着時に機器本体に傷が付きにくいといった利点を得られる。

【0131】

請求項38記載の発明によれば、請求項36記載の発明により得られる効果に加え、既存の操作ボタンを利用してアタッチメントを装着でき、かつ脱着時に機器本体に傷が付きにくいといった利点を得られる。

なお、カメラ部のレンズが位置する面だけを覆うアタッチメントの場合には、アタッチメントの小型化にも寄与できる。

【0132】

請求項39記載の発明によれば、請求項31または32記載の発明により得られる効果に加え、バンド部を利用してアタッチメントを機器本体に装着できるといった利点を得られる。

【0133】

請求項40記載の発明によれば、機器本体両端部のバンド部を挿入部に挿入した状態となるため、請求項39記載の発明により得られる効果に加え、アタッチメントが脱落しにくく、かつ脱着時に機器本体に傷が付きにくいといった利点を得られる。

【0134】

請求項41記載の発明によれば、バンド固定部にバンド部を挿入するだけで済むため、請求項39記載の発明により得られる効果に加え、脱着が容易で、アタッチメントの形状を小さくでき、かつ脱着時に機器本体に傷が付きにくいといった利点を得られる。

【0135】

請求項42記載の発明によれば、請求項31または32記載の発明により得ら



れる効果に加え、バネ棒取付部を利用してアタッチメントを機器本体に装着できるといった利点を得られる。

【 0 1 3 6 】

請求項 4 3 記載の発明によれば、バネ棒取付部の取付穴に外側から一対のピンを挿入するため、請求項 4 2 記載の発明により得られる効果に加え、アタッチメントを確実に固定でき、かつアタッチメントを小型化しやすいといった利点を得られる。

【 0 1 3 7 】

請求項 4 4 記載の発明によれば、請求項 3 1 記載の発明により得られる効果に加え、機器本体とバンド部の隙間を利用してアタッチメントを機器本体に装着でき、機器本体にアタッチメントを装着するための部品点数が増大せず、かつアタッチメントの脱着が容易であるといった利点を得られる。

【 0 1 3 8 】

請求項 4 5 記載の発明によれば、請求項 4 4 記載の発明により得られる効果に加え、バンド部との隙間への挿入部と鰐部により機器本体を挟み込んでアタッチメントを確実に固定できるといった利点を得られる。

【 0 1 3 9 】

請求項 4 6 記載の発明によれば、吸盤部を有するアタッチメントのため、請求項 3 1 記載の発明により得られる効果に加え、アタッチメントを小型化でき、しかも、機器本体にアタッチメントを装着するための部品点数が増大せず、かつアタッチメントの脱着が容易であるといった利点を得られる。

【 0 1 4 0 】

請求項 4 7 記載の発明によれば、アタッチメントを機器本体に両面テープを介して接着するため、請求項 3 1 記載の発明により得られる効果に加え、アタッチメントを小型化でき、しかも、機器本体にアタッチメントを装着するための部品点数が増大しないといった利点を得られる。

【 0 1 4 1 】

請求項 4 8 記載の発明によれば、指先で摘む突片部を有するアタッチメントのため、請求項 4 6 または 4 7 記載の発明により得られる効果に加え、突片部を指

先で摘んでアタッチメントを容易に取り外せるといった利点を得られる。

【0142】

請求項49記載の発明によれば、請求項31または41記載の発明により得られる効果に加え、特殊撮影機能を有する部分をレンズに対し開閉操作することにより、特殊撮影効果の有無を切り替えでき、また、バンド部の回転位置に対しアタッチメントを位置修正できるといった利点を得られる。

【0143】

請求項50記載の発明によれば、アタッチメントの特殊撮影機能を有する部分を切替可能としたため、請求項31または32記載の発明により得られる効果に加え、特殊撮影効果の有無や種類を選択できるといった利点を得られる。

【0144】

請求項51記載の発明によれば、特殊撮影機能を有する部分であるプレートの交換／反転入れ替え／スライド／回転等により、請求項50記載の発明のように、特殊撮影効果の有無や種類を選択できる。

【0145】

請求項56記載の発明によれば、特殊撮影機能を具備する拡張ユニットをアタッチメント本体に外付けすることによって、請求項50記載の発明により得られる効果に加え、複数種類の特殊撮影効果の組み替え／組み合わせが可能となるといった利点を得られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明を適用する携帯型電子機器の一実施形態を示す平面図である。

【図2】

図1の機器本体部分を拡大して示した平面図である。

【図3】

図2の機器本体部分の斜視図である。

【図4】

図3の機器本体部分のカメラ部及び光通信部を示した正面図である。

【図5】

図 4 の機器本体部分を側方から見た側面図である。

【図 6】

図 3 の機器本体のみをカメラ部及び光通信部と反対側の斜め方向から見た斜視図である。

【図 7】

図 4 のカメラ部及び光通信部のカバー構造を示した分解斜視図である。

【図 8】

本発明を適用するアタッチメントの第 1 の実施形態の構成を示すもので、平面図 (A)、端面図 (B) 及び縦断面図 (C) である。

【図 9】

図 8 のアタッチメントを図 1 から図 7 の機器本体に装着した状態を示すもので、平面図 (A)、端面図 (B) 及び縦断面図 (C) である。

【図 10】

図 9 のアタッチメント装着状態を示した概略斜視図である。

【図 11】

本発明を適用するアタッチメントの第 2 の実施形態の構成を示すもので、平面図 (A)、端面図 (B) 及び縦断面図 (C) である。

【図 12】

図 11 のアタッチメントを図 1 から図 7 の機器本体に装着した状態を示すもので、平面図 (A)、端面図 (B) 及び縦断面図 (C) である。

【図 13】

図 12 のアタッチメント装着状態を示した概略斜視図である。

【図 14】

本発明を適用するアタッチメントの第 3 の実施形態の構成を示すもので、平面図 (A)、端面図 (B) 及び縦断面図 (C) である。

【図 15】

図 14 のアタッチメントを図 1 から図 7 の機器本体に装着した状態を示すもので、平面図 (A)、端面図 (B) 及び縦断面図 (C) である。

【図 16】

図 1 5 のアタッチメント装着状態を示した概略斜視図である。

【図 1 7】

本発明を適用するアタッチメントの第 4 の実施形態の構成を示すもので、平面図 (A)、端面図 (B) 及び縦断面図 (C) である。

【図 1 8】

図 1 7 のアタッチメントを図 1 から図 7 の機器本体に装着した状態を示すもので、平面図 (A)、端面図 (B) 及び縦断面図 (C) である。

【図 1 9】

図 1 8 のアタッチメント装着状態を示した概略斜視図である。

【図 2 0】

本発明を適用するアタッチメントの第 5 の実施形態の構成を示すもので、平面図 (A)、端面図 (B) 及び縦断面図 (C) である。

【図 2 1】

図 2 0 のアタッチメントを図 1 から図 7 の機器本体に装着した状態を示すもので、平面図 (A) 及び縦断面図 (B) である。

【図 2 2】

図 2 1 のアタッチメント装着状態を示した概略斜視図である。

【図 2 3】

本発明を適用するアタッチメントの第 6 の実施形態の構成を示すもので、平面図 (A) 及び側面図 (B) である。

【図 2 4】

図 2 3 のアタッチメントを図 1 から図 7 の機器本体に装着した状態を示すもので、平面図 (A) 及び縦断面図 (B) である。

【図 2 5】

図 2 4 のアタッチメント装着状態を示した概略斜視図である。

【図 2 6】

本発明を適用するアタッチメントの第 7 の実施形態の構成を示すもので、平面図 (A) 及び側面図 (B) である。

【図 2 7】

図 2 6 のアタッチメントを図 1 から図 7 の機器本体に装着した状態を示すもので、平面図 (A) 及び縦断面図 (B) である。

【図 2 8】

図 2 7 のアタッチメント装着状態を示した概略斜視図である。

【図 2 9】

図 2 7 のアタッチメントを機器本体に対し開いた状態を示したもので、平面図 (A) 及び縦断面図 (B) である。

【図 3 0】

図 2 9 のアタッチメントを開いた状態を示した概略斜視図である。

【図 3 1】

本発明を適用するアタッチメントの第 8 の実施形態の構成を示すもので、平面図 (A) 及び側面図 (B) である。

【図 3 2】

図 3 1 のアタッチメントを図 1 から図 7 の機器本体に装着した状態を示すもので、平面図 (A)、底面図 (B) 及び縦断面図 (C) である。

【図 3 3】

図 3 2 のアタッチメント装着状態を示した概略斜視図である。

【図 3 4】

本発明を適用するアタッチメントの第 9 の実施形態の構成を示すもので、平面図 (A) 及び側面図 (B) である。

【図 3 5】

図 3 4 のアタッチメントを図 1 から図 7 の機器本体に装着した状態を示すもので、平面図 (A) 及び縦断面図 (B) である。

【図 3 6】

図 3 5 のアタッチメント装着状態を示した概略斜視図である。

【図 3 7】

本発明を適用するアタッチメントの第 1 0 の実施形態の構成を示すもので、平面図 (A) 及び側面図 (B) である。

【図 3 8】

図 3 7 のアタッチメントを図 1 から図 7 の機器本体に装着した状態を示すもので、平面図 (A) 及び縦断面図 (B) である。

【図 3 9】

図 3 8 のアタッチメント装着状態を示した概略斜視図である。

【図 4 0】

本発明を適用するアタッチメントの第 1 1 の実施形態の構成を示すもので、正面図 (A) 及び縦断面図 (B) である。

【図 4 1】

図 4 0 のアタッチメントを図 1 から図 7 の機器本体のフィルター部材に装着した状態を示すもので、正面図 (A) 及び断面図 (B) と、機器本体の平面図 (C) である。

【図 4 2】

図 4 1 のアタッチメント装着状態を示した概略斜視図である。

【図 4 3】

本発明を適用するアタッチメントの第 1 2 の実施形態の構成を示すもので、正面図 (A) 及び縦断面図 (B) である。

【図 4 4】

図 4 3 のアタッチメントを図 1 から図 7 の機器本体のフィルター部材に装着した状態を示すもので、平面図 (A) 及び断面図 (B) と、機器本体の縦断面図 (C) である。

【図 4 5】

図 4 4 のアタッチメント装着状態を示した概略斜視図である。

【図 4 6】

本発明を適用するアタッチメントの第 1 3 の実施形態の構成を示すもので、平面図 (A)、端面図 (B) 及び縦断面図 (C) である。

【図 4 7】

図 4 6 のアタッチメントに入れる特殊効果プレートを示すもので、A 効果プレートの正面図 (A) と、B 効果プレートの正面図 (B) である。

【図 4 8】

図 4 6 のアタッチメントを図 1 から図 7 の機器本体に装着した状態を示すもので、平面図 (A)、端面図 (B) 及び縦断面図 (C) である。

【図 4 9】

図 4 8 のアタッチメント装着状態を示した概略斜視図である。

【図 5 0】

本発明を適用するアタッチメントの第 1 4 の実施形態の構成を示すもので、平面図 (A) 及び端面図 (B) と、同じく端面図 (C) である。

【図 5 1】

図 5 0 のアタッチメントに入れる特殊効果プレートを示す正面図である。

【図 5 2】

図 5 0 のアタッチメントを図 1 から図 7 の機器本体に装着した状態を示す概略斜視図である。

【図 5 3】

本発明を適用するアタッチメントの第 1 5 の実施形態の構成を示すもので、平面図 (A) 及び端面図 (B) と、同じく端面図 (C) である。

【図 5 4】

図 5 3 のアタッチメントに入れる特殊効果プレートを示す正面図である。

【図 5 5】

図 5 3 のアタッチメントを図 1 から図 7 の機器本体に装着した状態を示す概略斜視図である。

【図 5 6】

本発明を適用するアタッチメントの第 1 6 の実施形態の構成を示す正面図である。

【図 5 7】

図 5 6 のアタッチメントに入れる特殊効果プレートを示す正面図である。

【図 5 8】

図 5 6 のアタッチメントを図 1 から図 7 の機器本体に装着した状態を示す概略斜視図である。

【図 5 9】

本発明を適用するアタッチメントの第 1 7 の実施形態の構成を示すもので、平面図 (A)、端面図 (B) 及び縦断面図 (C) と、同じく端面図 (D) である。

【図 6 0】

図 5 9 のアタッチメントを図 1 から図 7 の機器本体に装着した状態を示すもので、平面図 (A)、端面図 (B) 及び縦断面図 (C) である。

【図 6 1】

図 6 0 のアタッチメント装着状態を示した概略斜視図である。

【図 6 2】

本発明を適用するアタッチメントの第 1 8 の実施形態の構成を示すもので、平面図 (A) 及び縦断面図 (B) と、拡張ユニットの平面図 (C) 及び縦断面図 (D) である。

【図 6 3】

図 6 2 のアタッチメントに拡張ユニットと組み付けた状態を示すもので、平面図 (A)、端面図 (B) 及び縦断面図 (C) である。

【図 6 4】

図 6 3 のアタッチメントを図 1 から図 7 の機器本体に装着した状態を示す概略斜視図である。

【図 6 5】

本発明を適用するアタッチメントの第 1 9 の実施形態の構成を示すもので、平面図 (A) 及び縦断面図 (B) と、拡張ユニットの平面図 (C) 及び縦断面図 (D) である。

【図 6 6】

図 6 5 のアタッチメントに拡張ユニットを組み付けた状態を示すもので、平面図 (A)、端面図 (B) 及び縦断面図 (C) である。

【図 6 7】

図 6 6 のアタッチメントを図 1 から図 7 の機器本体に装着した状態を示す概略斜視図である。

【図 6 8】

本発明を適用するアタッチメントの第 2 0 の実施形態の構成を示すもので、平



面図（A）及び縦断面図（B）と、拡張ユニットの平面図（C）及び縦断面図（D）である。

【図 6 9】

図 6 8 のアタッチメントに拡張ユニットを組み付けた状態を示すもので、平面図（A）、端面図（B）及び縦断面図（C）である。

【図 7 0】

図 6 9 のアタッチメントを図 1 から図 7 の機器本体に装着した状態を示す概略斜視図である。

【符号の説明】

- 1 携帯型電子機器
- 2 機器本体
- 3、4 リストバンド
- 3 a 溝
- 6 撮像レンズ（カメラ部）
- 2 2 表示部
- 2 3 シャッターボタン
- 2 5、2 5 操作ボタン
- 2 9 a 凸部
- 2 0 1 バネ棒取付部
- 3 0 アタッチメント
- 3 1 上面部
- 3 1 a 穴部
- 3 2 側面部
- 3 3 突出部
- 3 4 端面部
- 3 5 レンズ部（特殊撮影機能部）
- 3 6、3 7、3 8 フック部
- 4 0 アタッチメント
- 4 1 上面部

- 4 1 a 穴部
- 4 2 側面部
- 4 3 突出部
- 4 4 端面部
- 4 5 レンズ部 (特殊撮影機能部)
- 4 6 レバー組み込み溝
- 4 7 フック部
- 4 8 バネ部材
- 5 0 アタッチメント
- 5 1 上面部
- 5 1 a 穴部
- 5 1 b 窓部
- 5 2 側面部
- 5 2 a 引掛け穴
- 5 3 突出部
- 5 4 端面部
- 5 5 プレート
- 5 6 レンズ部 (特殊撮影機能部)
- 6 0 アタッチメント
- 6 1 正面部
- 6 2 側面部
- 6 3 レンズ部 (特殊撮影機能部)
- 6 4 引掛け穴
- 7 0 アタッチメント
- 7 1 上面部
- 7 1 a 穴部
- 7 2 側面部
- 7 3 突出部
- 7 4 端面部

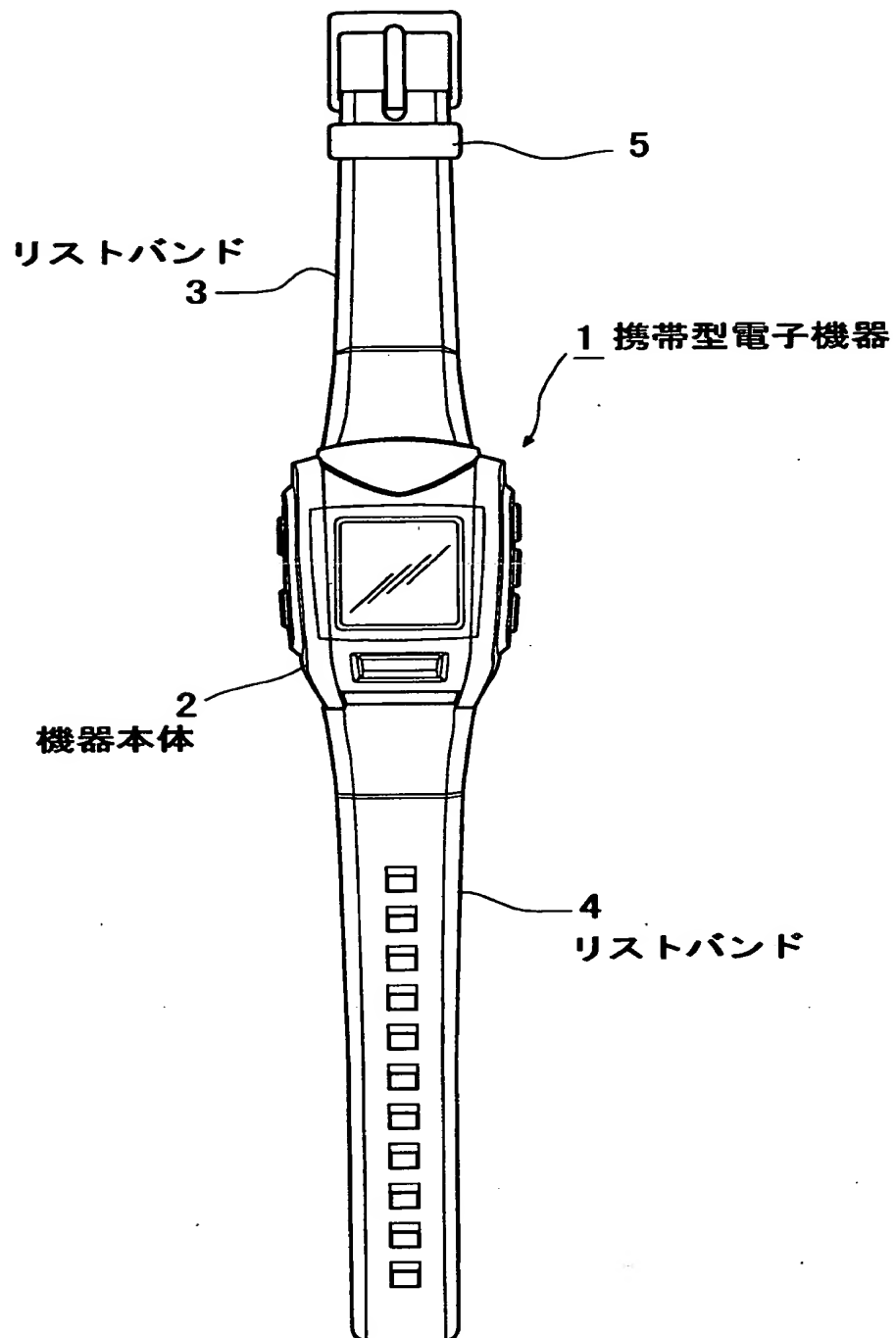
- 7 5 レンズ部 (特殊撮影機能部)
- 7 6、7 7 バンド挿入穴
- 8 0 アタッチメント
- 8 1 正面部
- 8 2 固定部
- 8 3 レンズ部 (特殊撮影機能部)
- 8 4 バンド挿入穴
- 8 5 位置決め小突条
- 9 0 アタッチメント
- 9 1 正面部
- 9 2 固定部
- 9 3 レンズ部 (特殊撮影機能部)
- 9 4 バンド挿入穴
- 9 5 位置決め小突条
- 9 6 ボルト (回転軸兼ジョイント)
- 1 0 0 アタッチメント
- 1 0 1 正面部
- 1 0 2 固定部
- 1 0 3 レンズ部 (特殊撮影機能部)
- 1 0 4 ねじ込みピン
- 1 1 0 アタッチメント
- 1 1 1 正面部
- 1 1 2 挿入鏝部
- 1 1 3 レンズ部 (特殊撮影機能部)
- 1 2 0 アタッチメント
- 1 2 1 正面部
- 1 2 2 挿入鏝部
- 1 2 3 レンズ部 (特殊撮影機能部)
- 1 2 4 上面鏝部

- 130 アタッチメント
- 131 レンズ部 (特殊撮影機能部) 兼吸盤部
- 132 突片部
- 140 アタッチメント
- 141 正面部
- 142 突片部
- 143 レンズ部 (特殊撮影機能部)
- 145、146 両面テープ
- 150 アタッチメント
- 151 上面部
- 151a 穴部
- 152 側面部
- 153 突出部
- 154 端面部
- 156、157、158 フック部
- 161、163 プレート
- 162、164 特殊撮影機能部
- 165 プレート
- 166、167 特殊撮影機能部
- 171 プレート
- 172、173、174 特殊撮影機能部
- 175 幅広部
- 181 プレート
- 182 回転軸
- 183、184、185、186、187、188 特殊撮影機能部
- 190 アタッチメント
- 191 正面部
- 192 側面部
- 194 引掛け穴

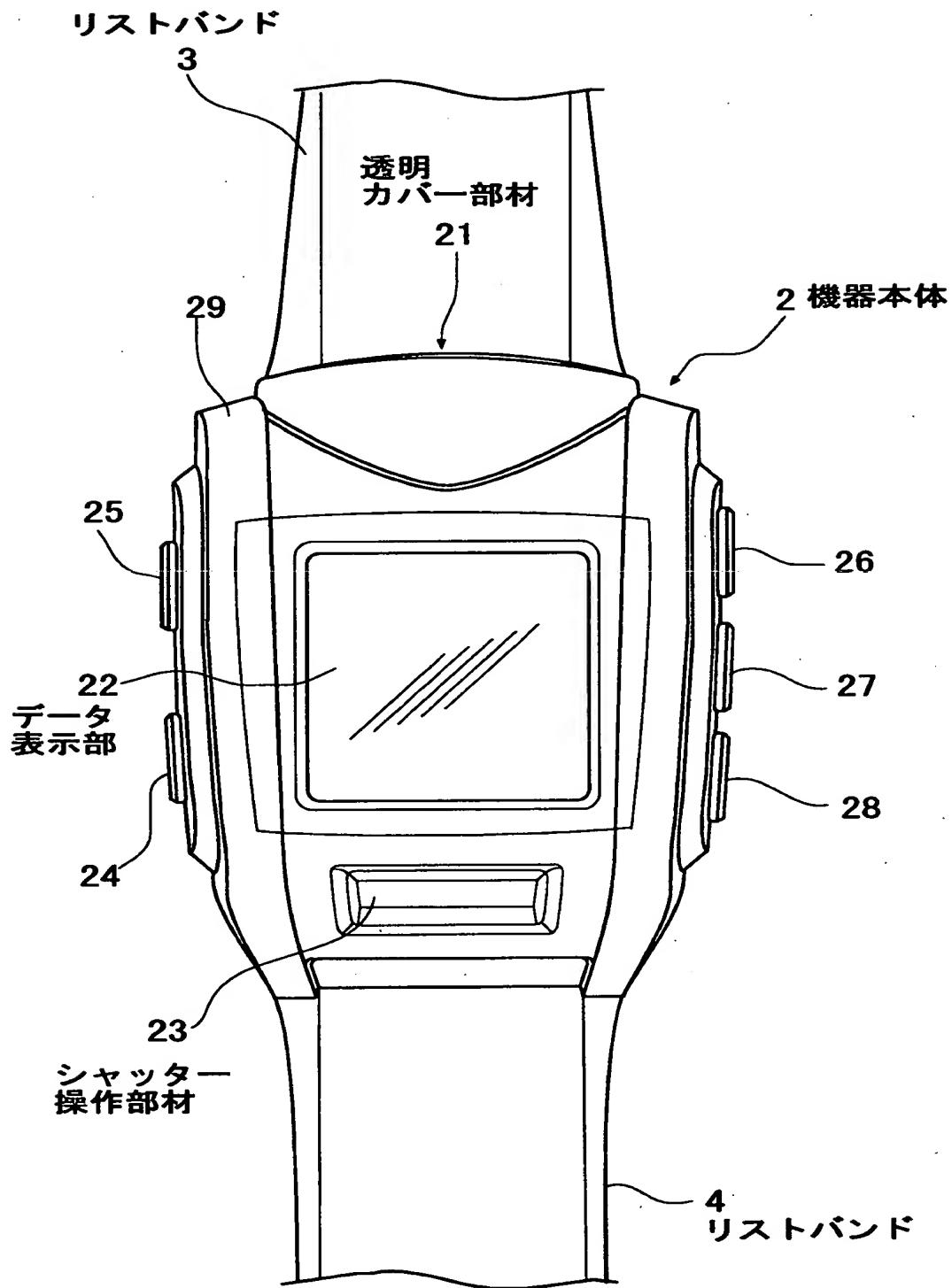
- 1 9 5 プレート
- 1 9 6、1 9 7 特殊撮影機能部
- 2 2 0 アタッチメント
- 2 2 1 上面部
- 2 2 1 a 穴部
- 2 2 2 側面部
- 2 2 3 突出部
- 2 2 4 端面部
- 2 2 6、2 2 7 フック部
- 2 2 9 A テーパ状組付穴
- 2 2 9 B ネジ穴
- 2 2 9 C 係合溝
- 2 3 0 拡張ユニット
- 2 3 1 レンズ (特殊撮影機能部)
- 2 3 3 外周テーパ面
- 2 4 0 拡張ユニット
- 2 4 1 レンズ (特殊撮影機能部)
- 2 4 3 外周ネジ部
- 2 5 0 拡張ユニット
- 2 5 1 レンズ (特殊撮影機能部)
- 2 5 2 フック部
- 2 5 4 係合溝

【書類名】 図面

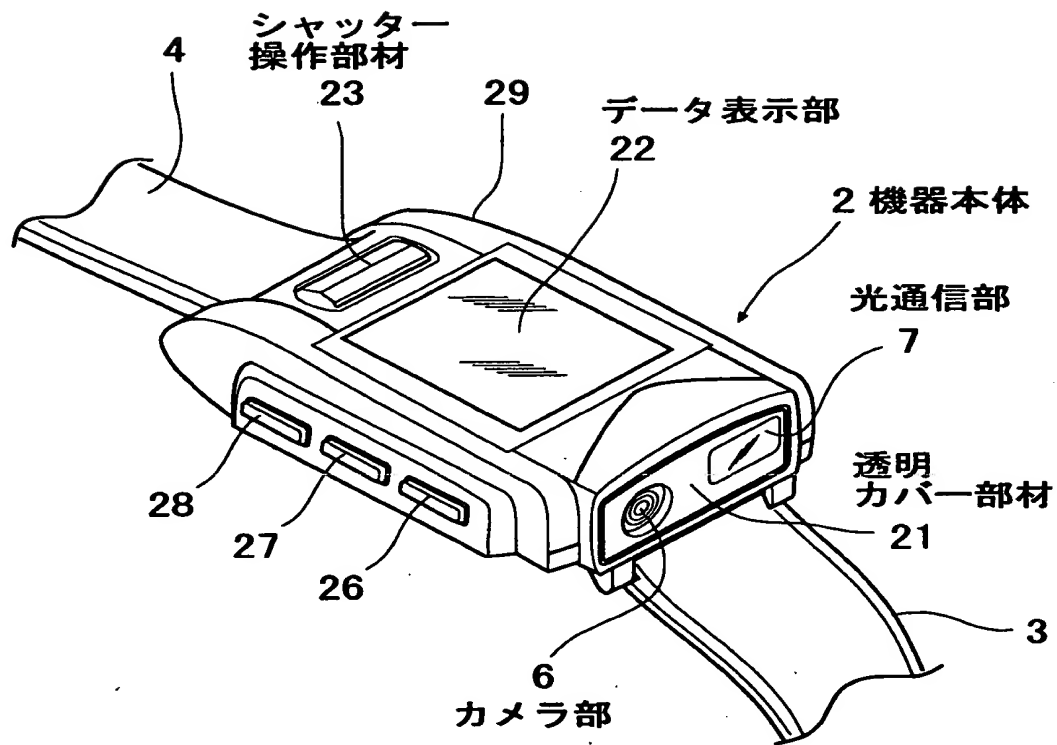
【図1】



【図2】

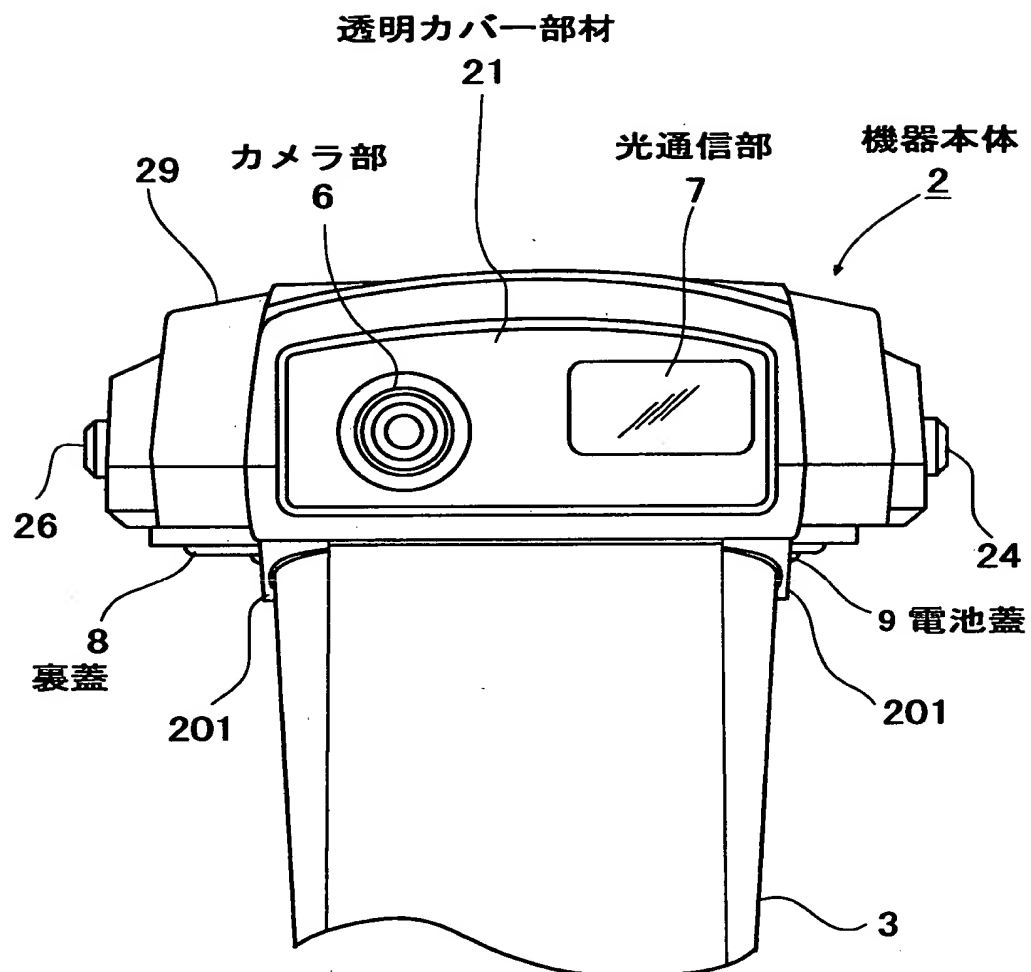


【図3】

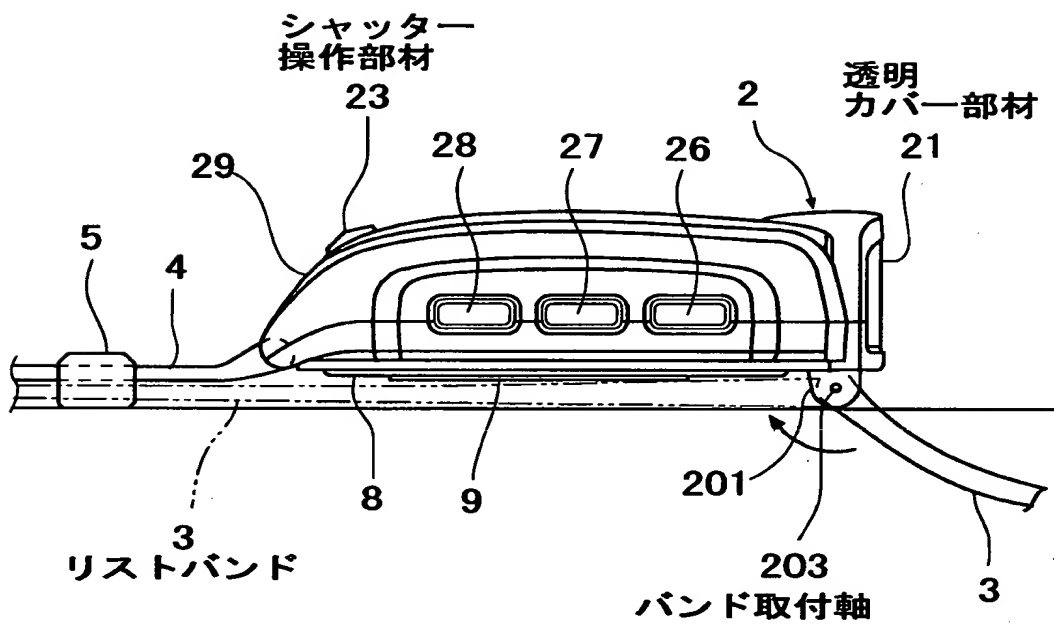




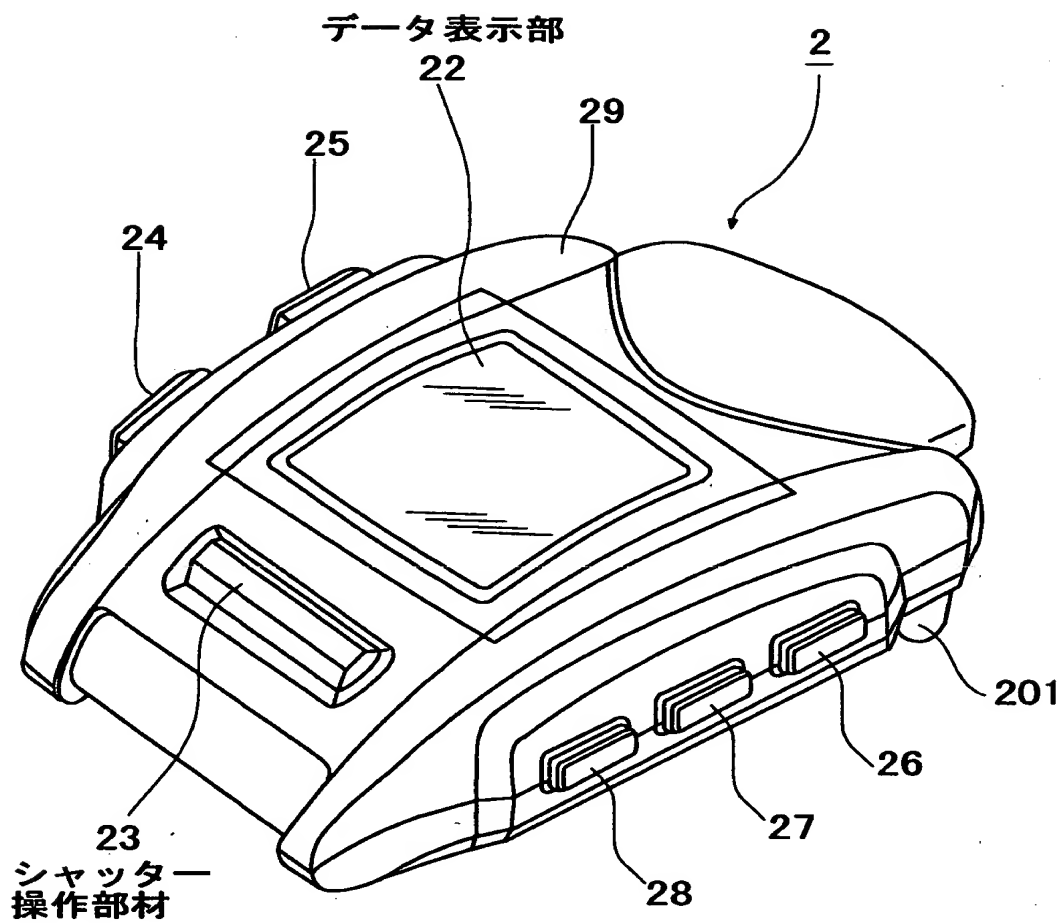
【図4】



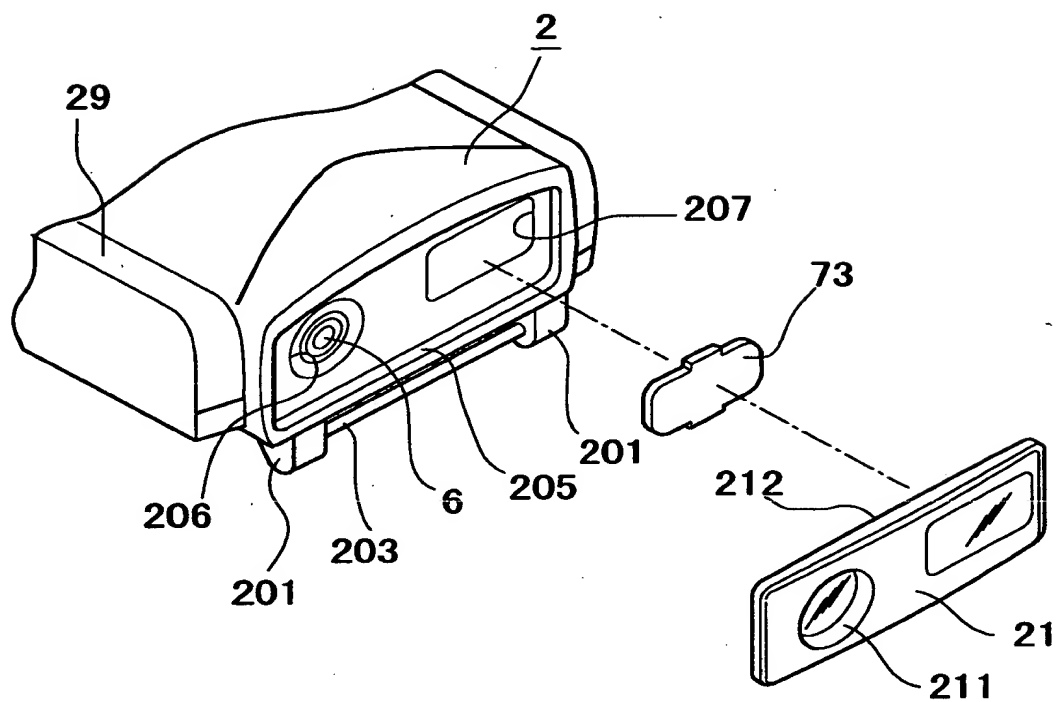
【図5】



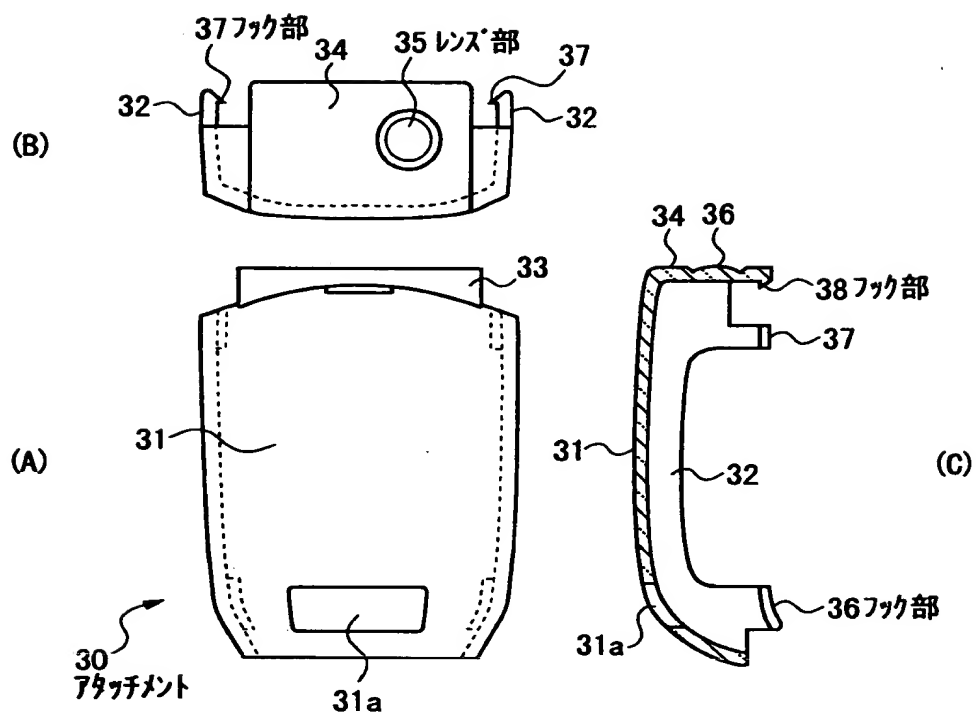
【図6】



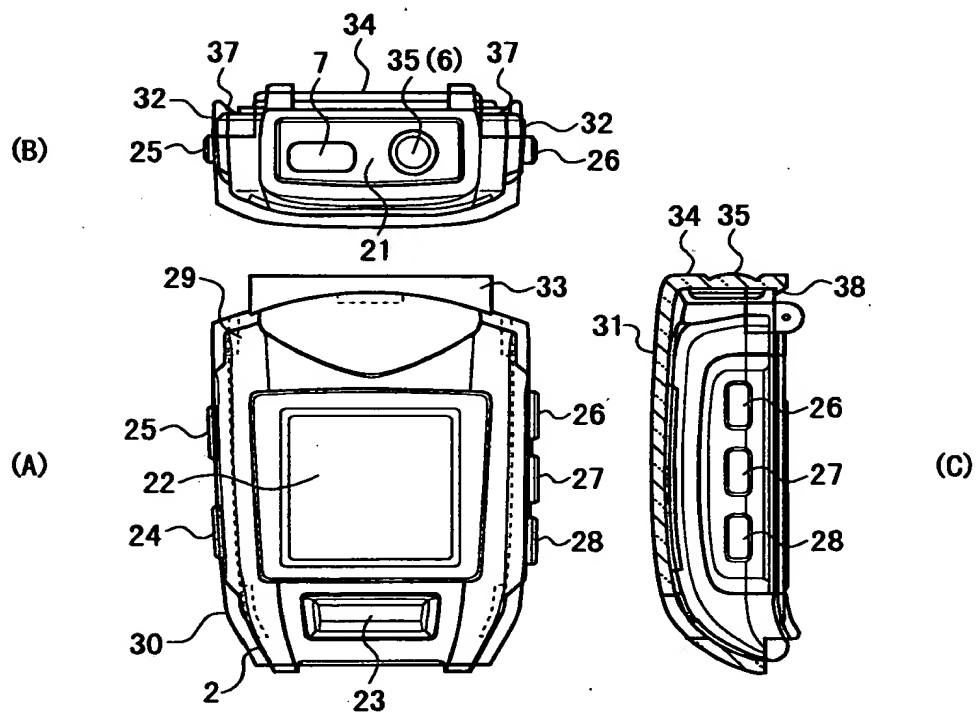
【図 7】



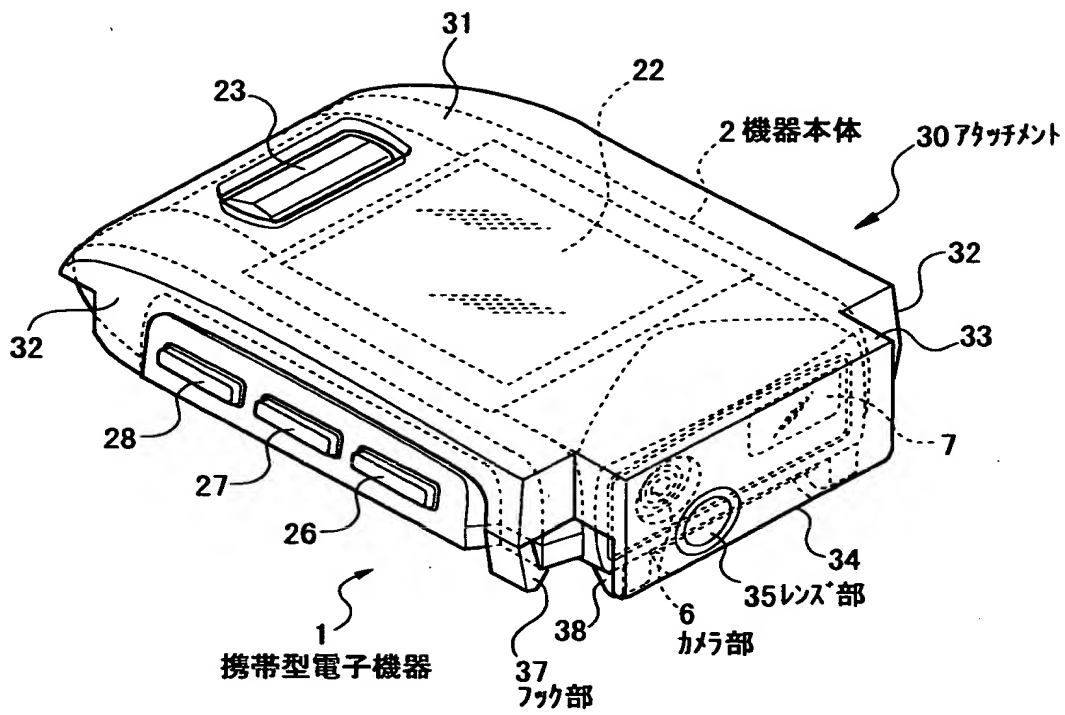
【図 8】



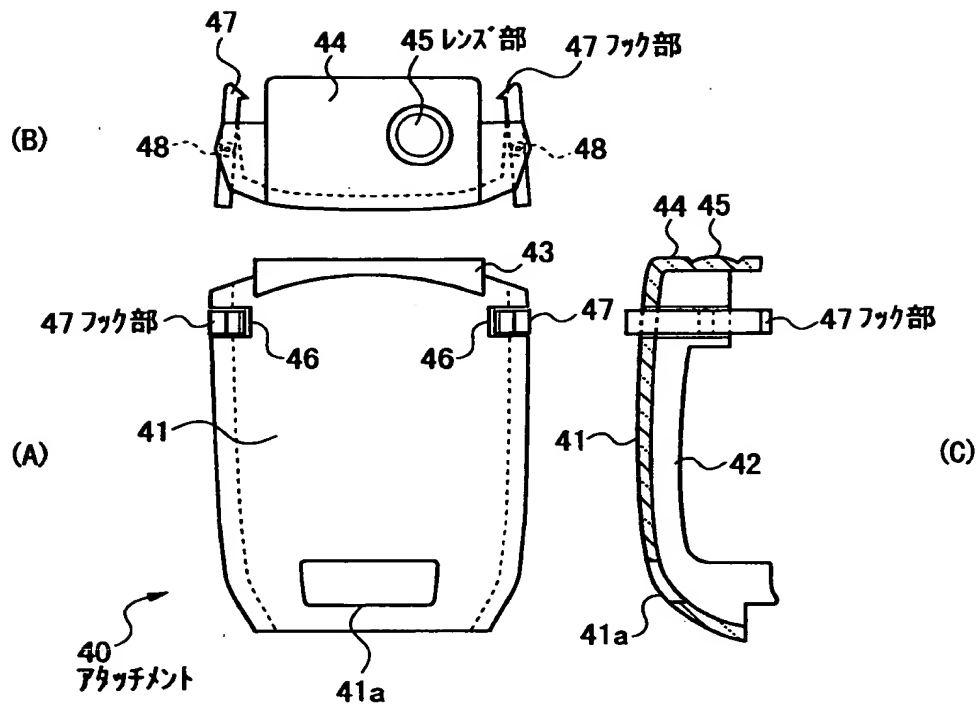
【図 9】



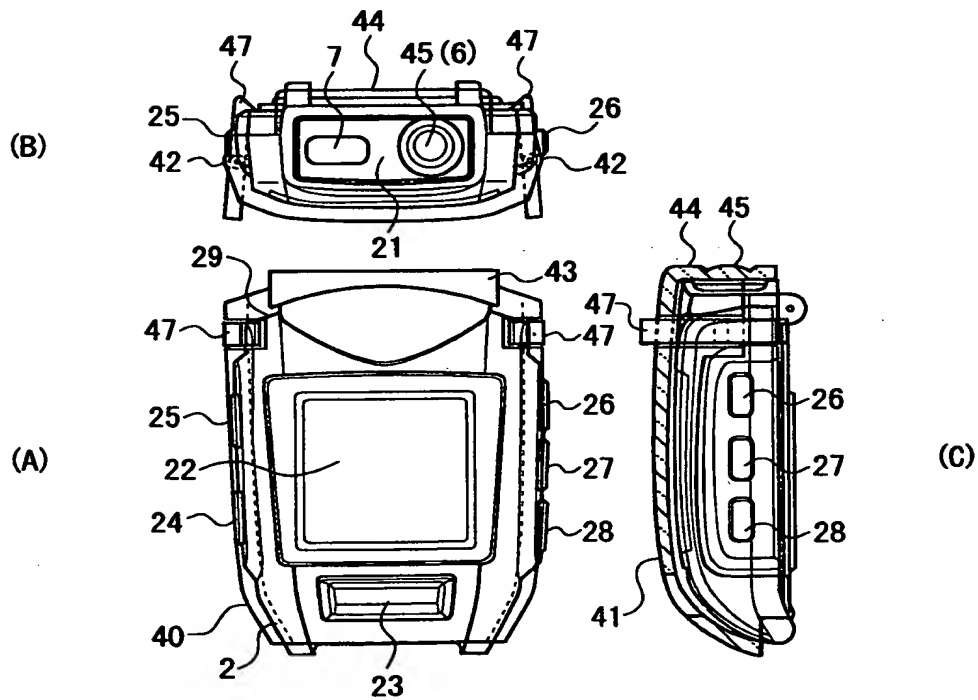
【図10】



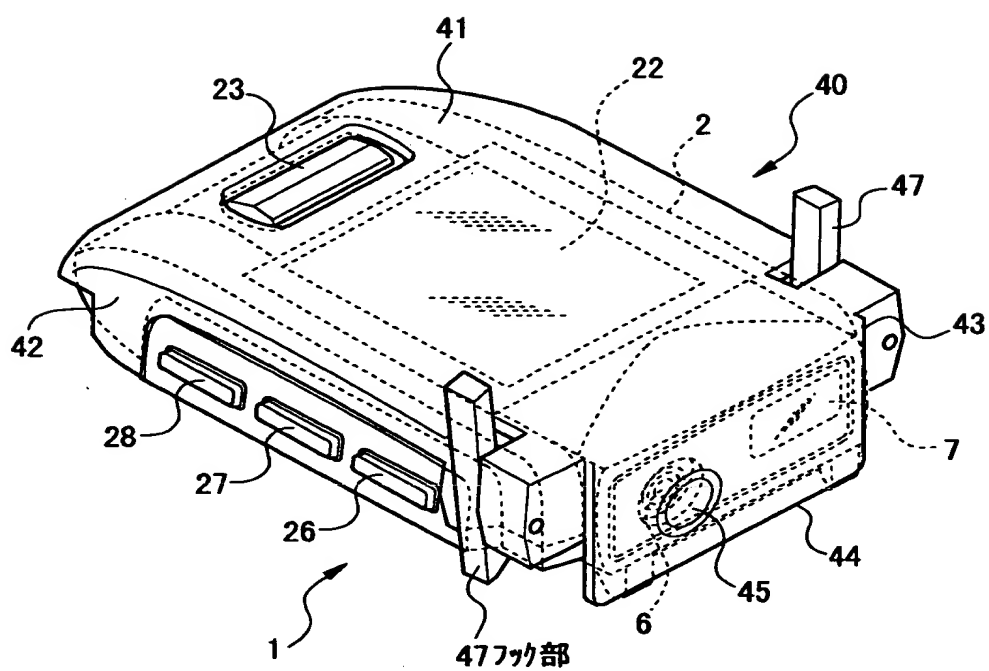
【図11】



【図12】

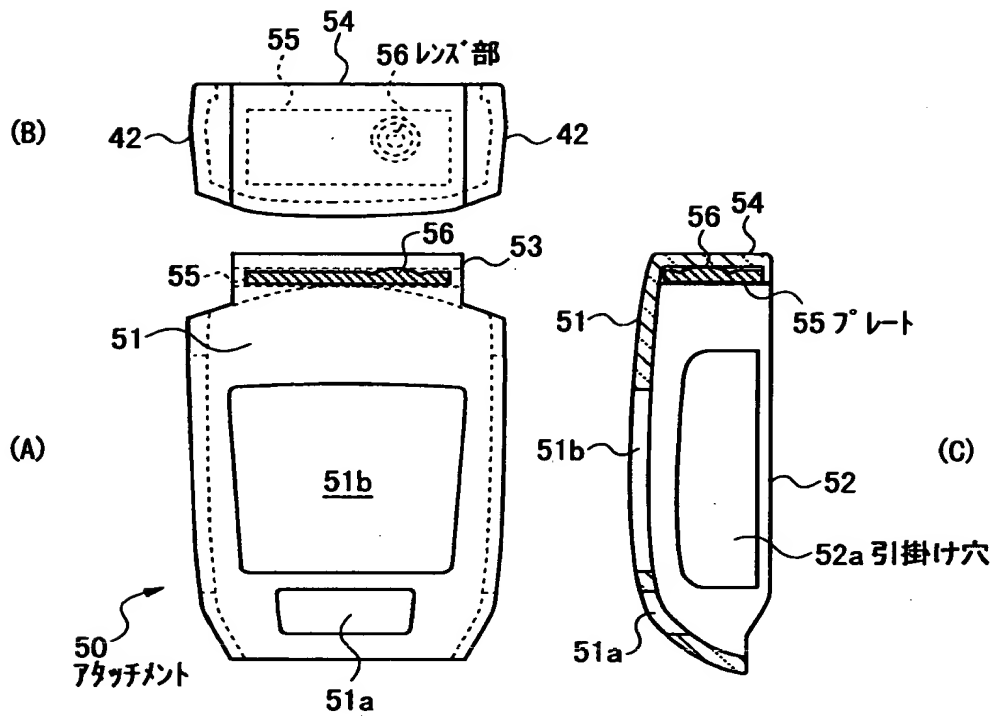


【図13】

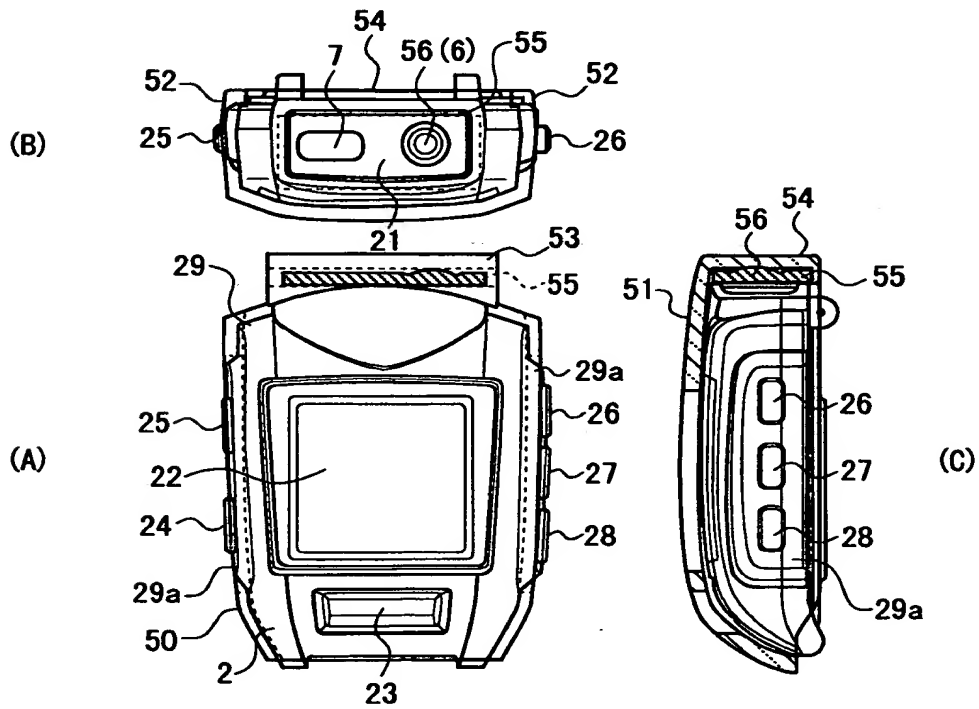




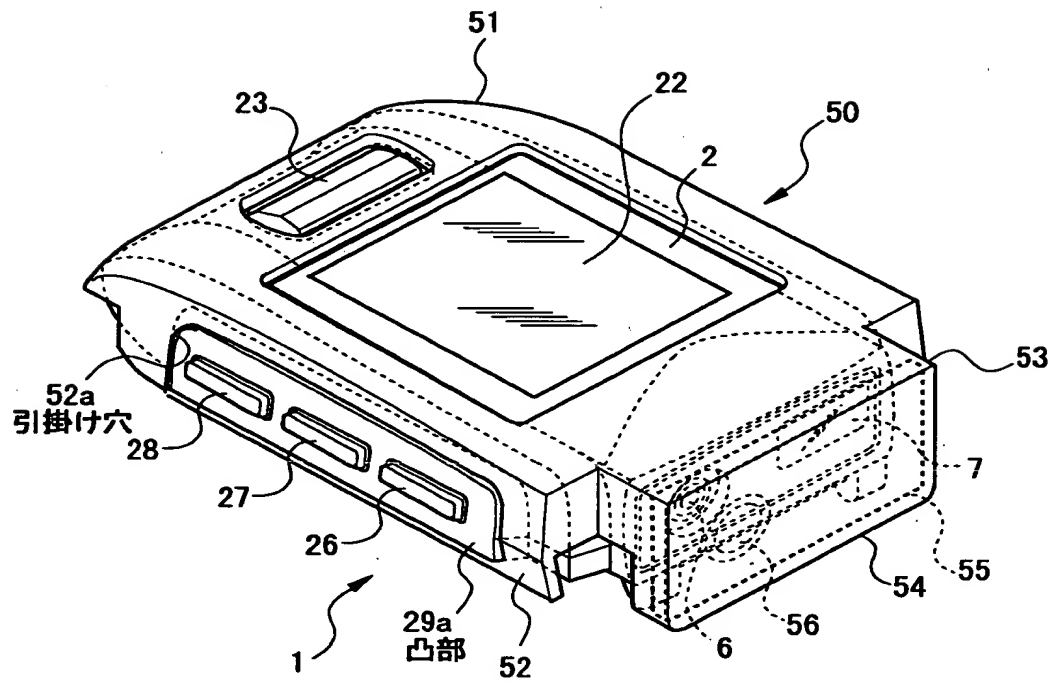
【図14】



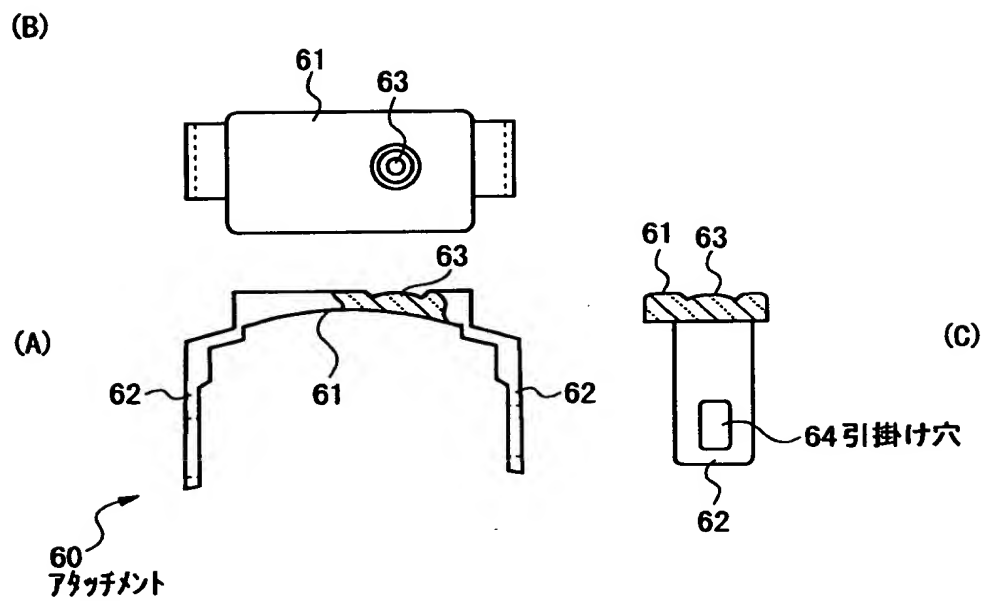
【図15】



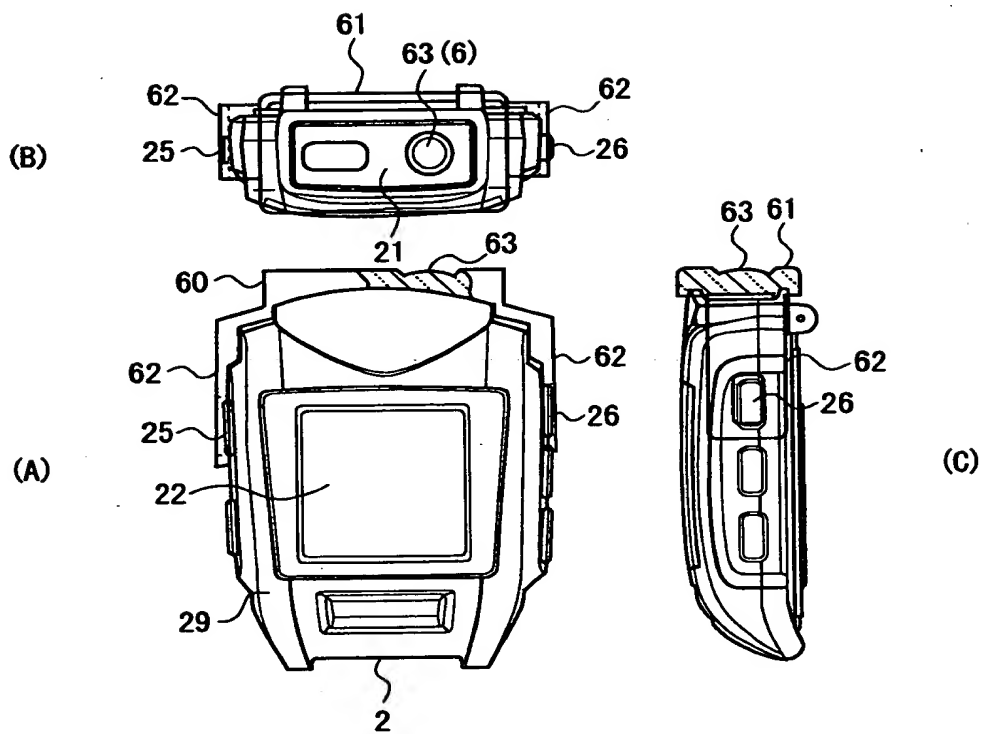
【図 16】



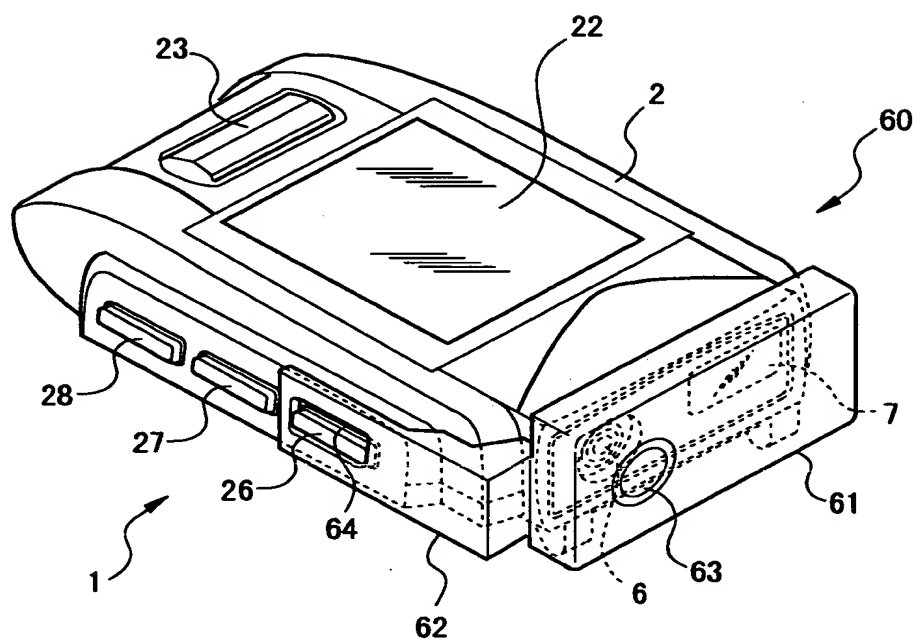
【図17】



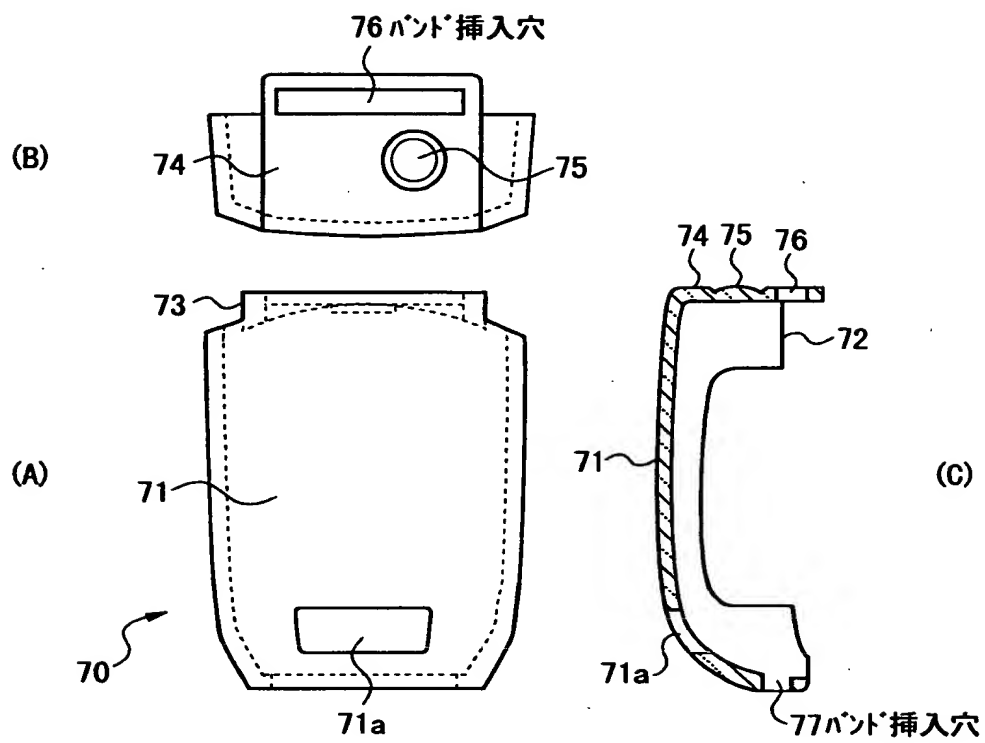
【図18】



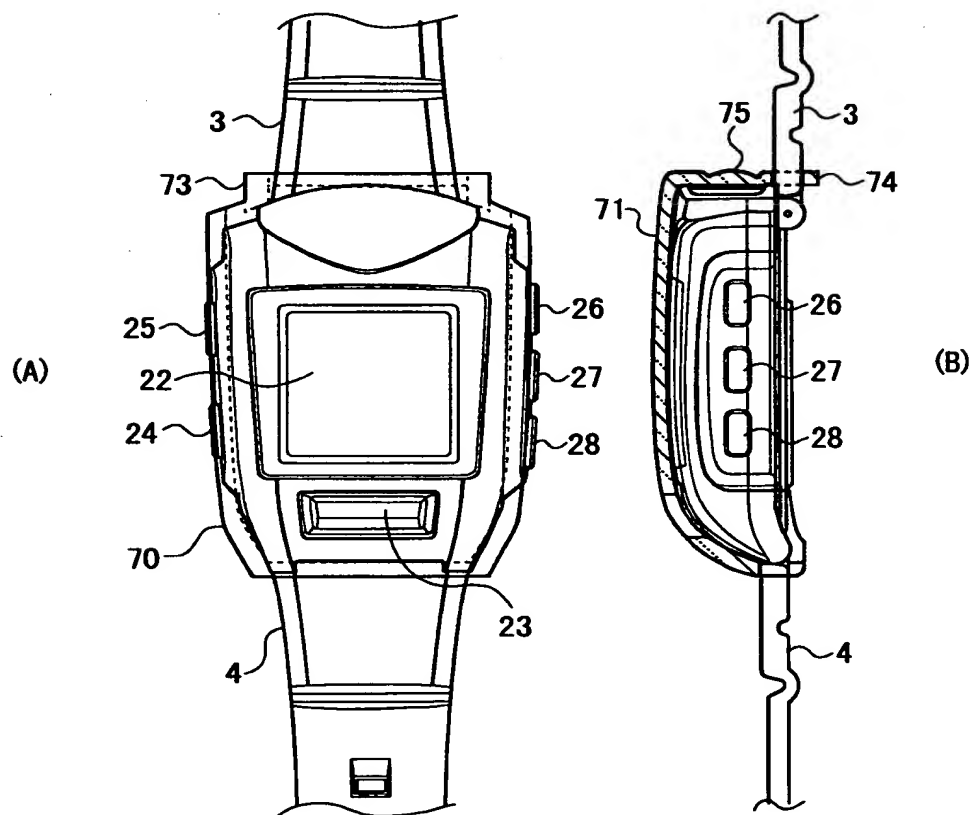
【図19】



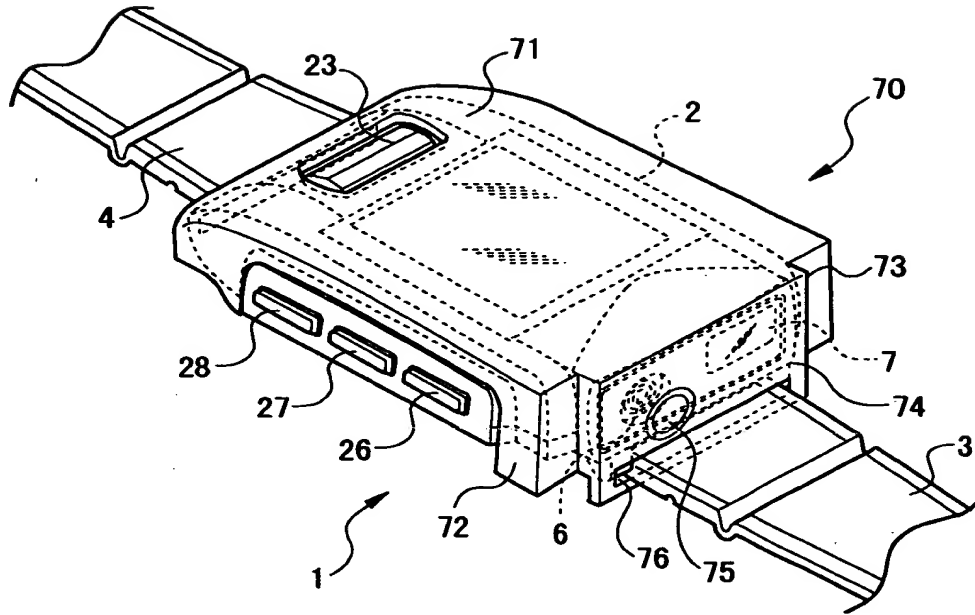
【図 20】



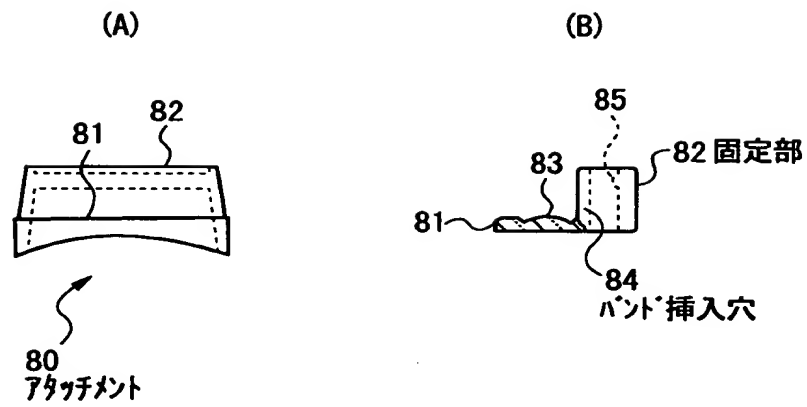
【図 21】



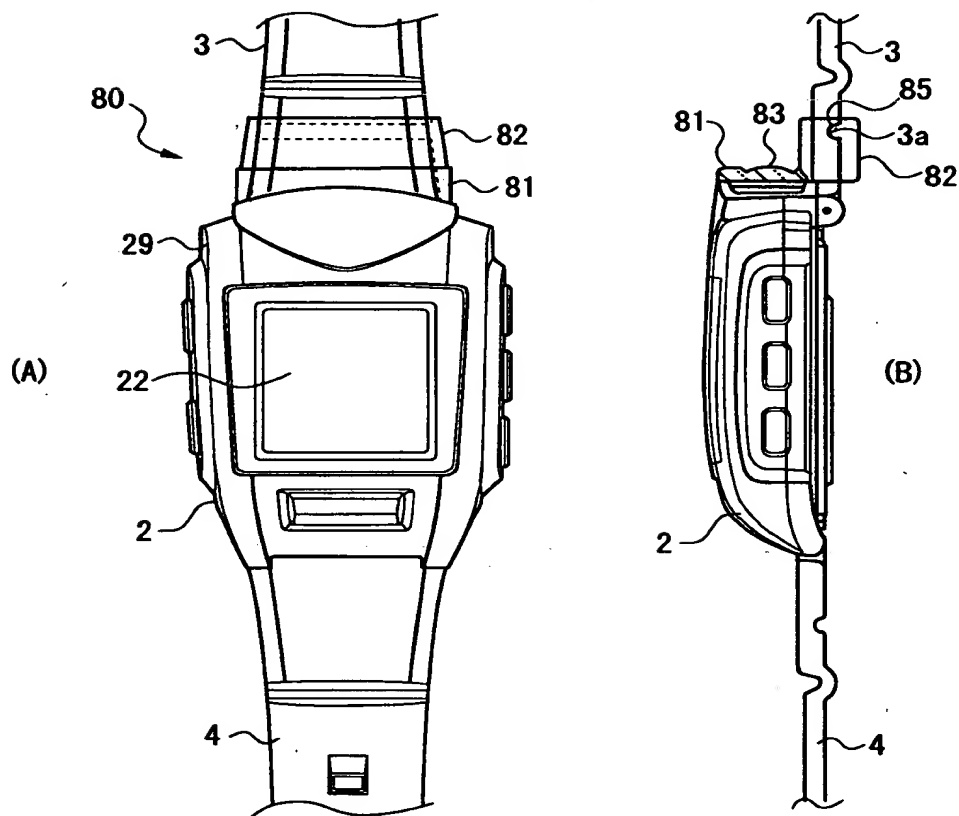
【図 2 2】



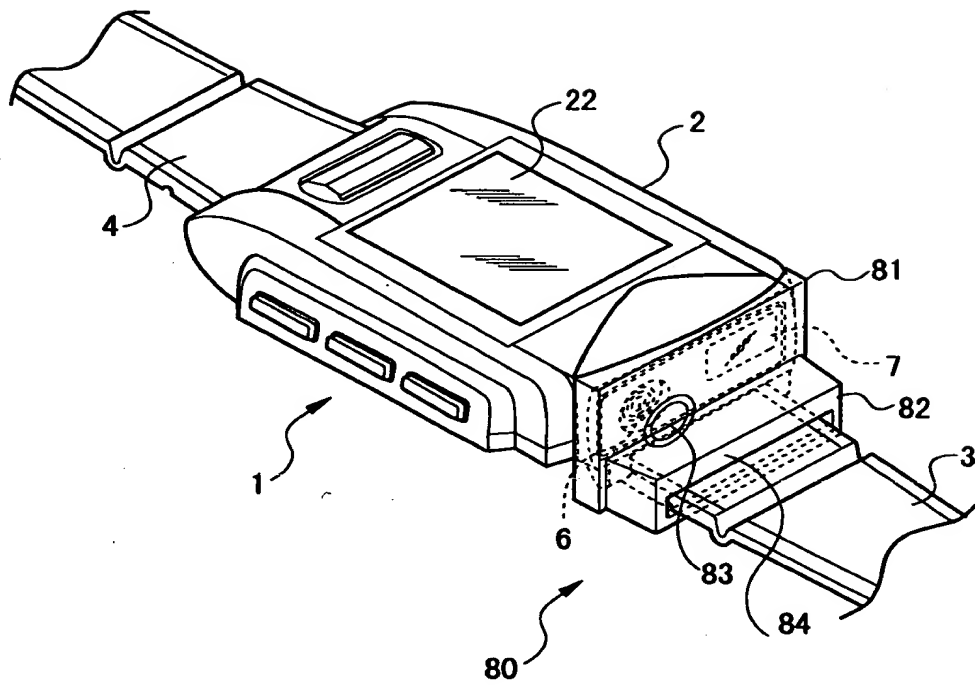
【図 2 3】



【図 2 4】

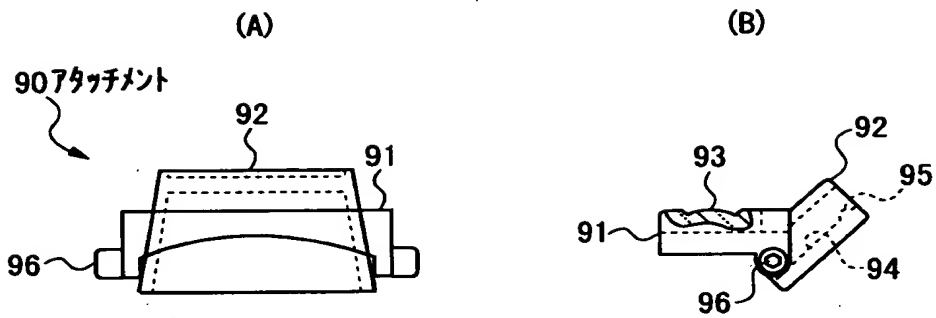


【図 2 5】

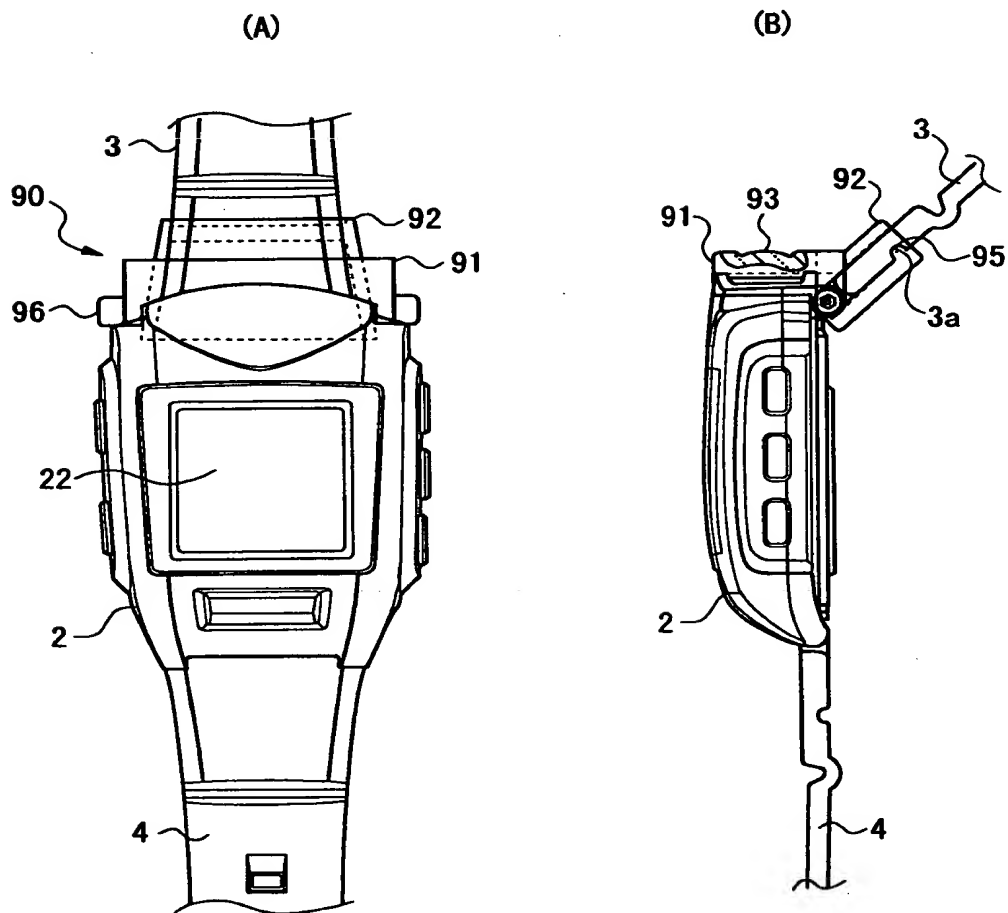




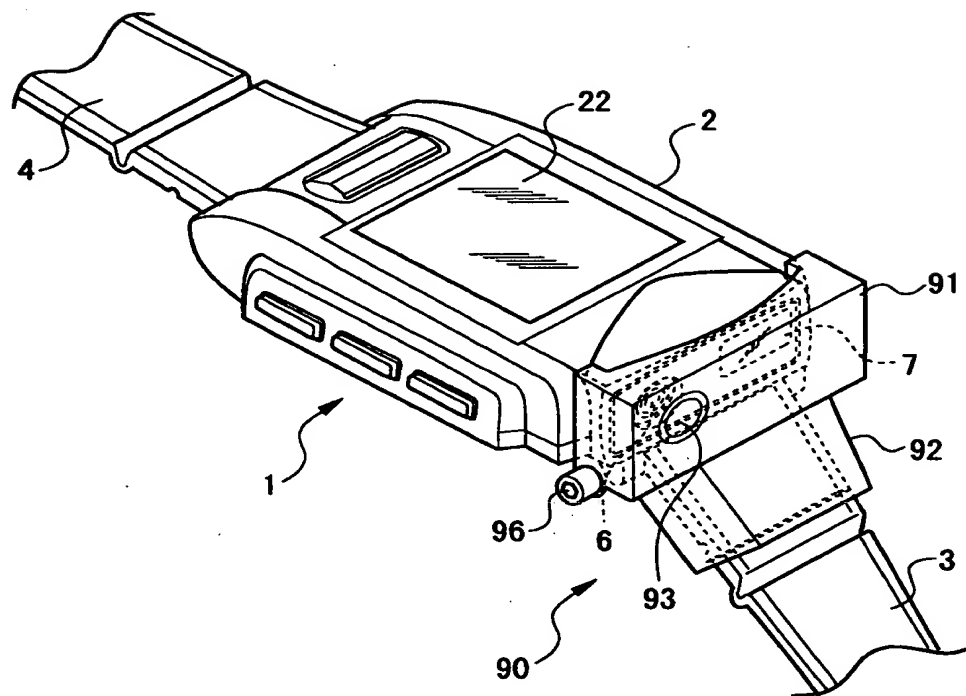
【図26】



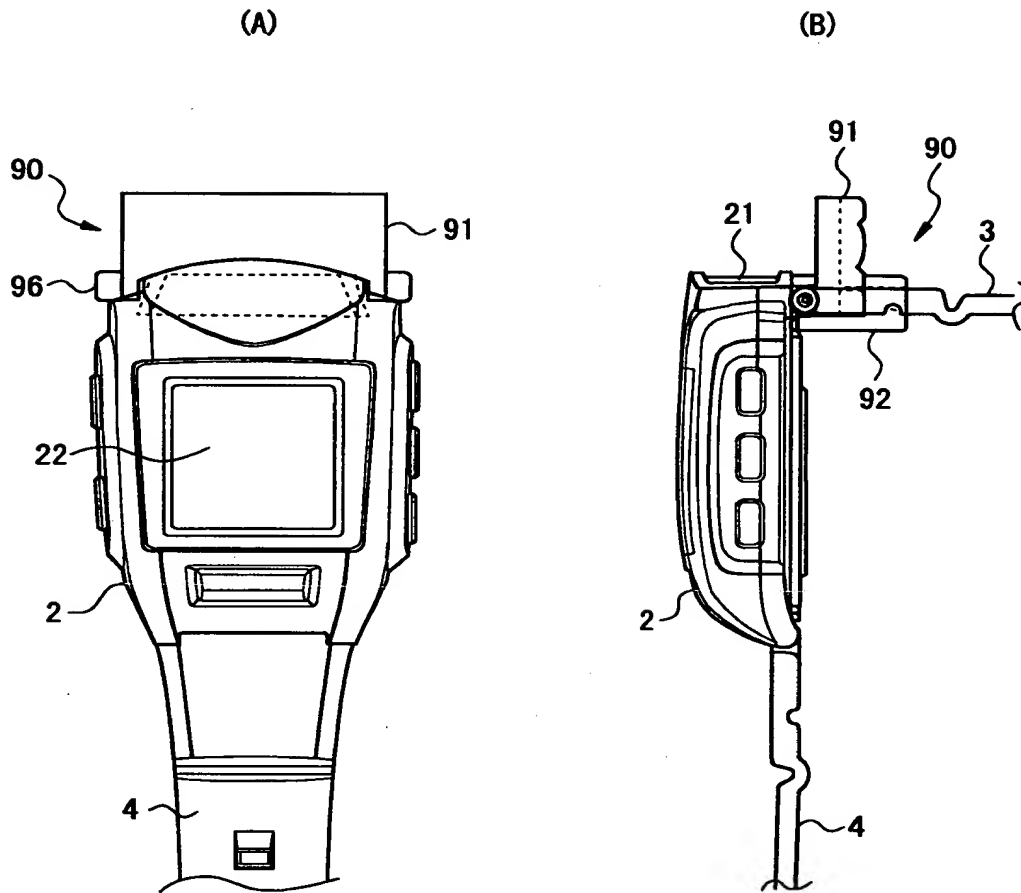
【図27】



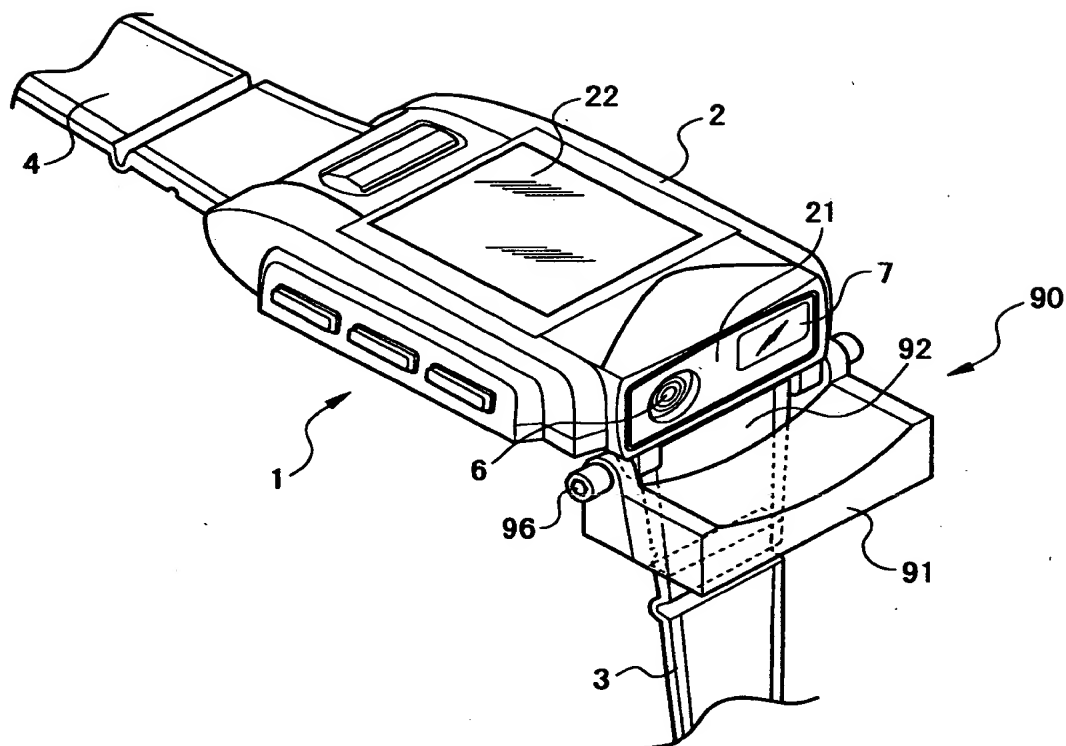
【図 2 8】



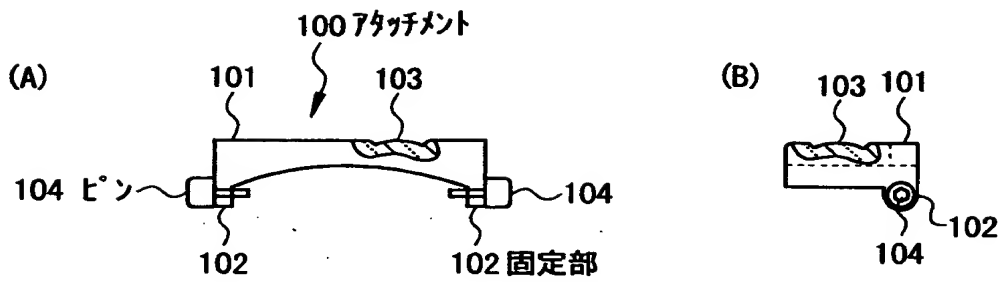
【図 2 9】



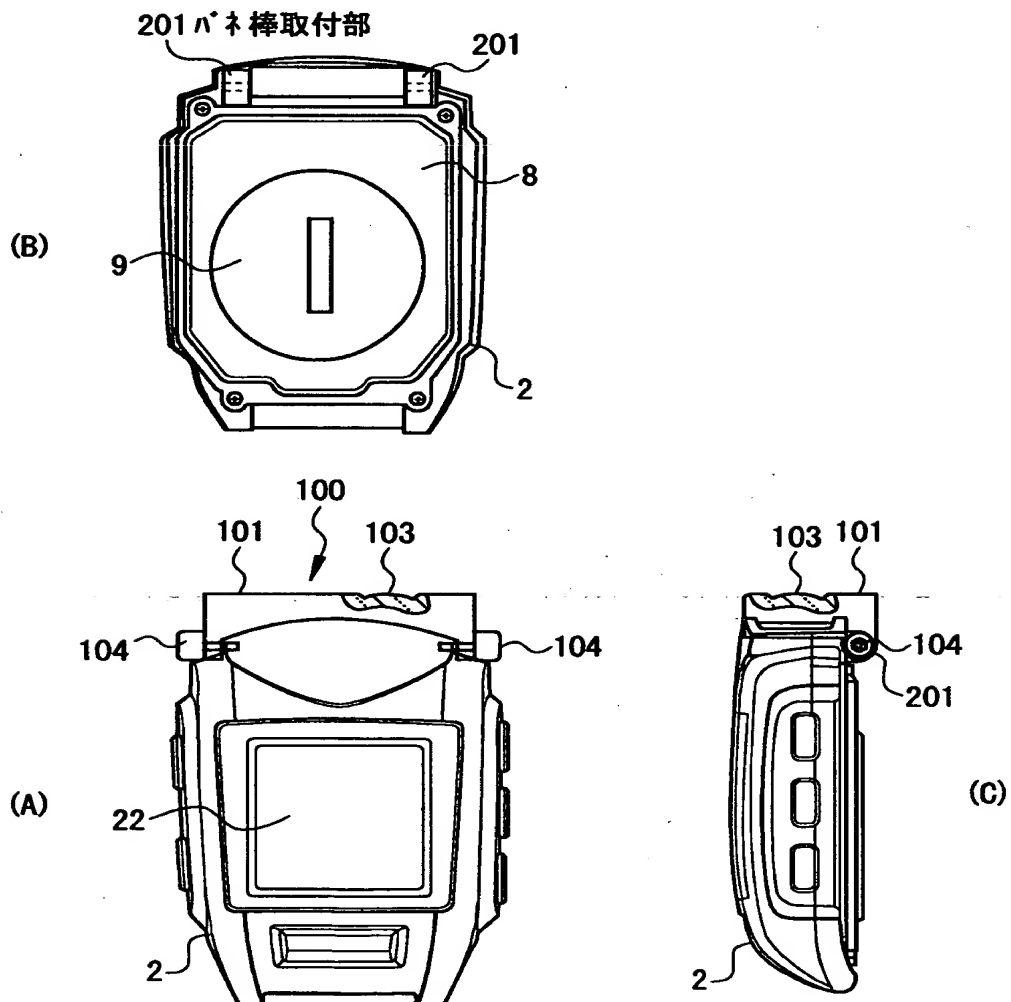
【図30】



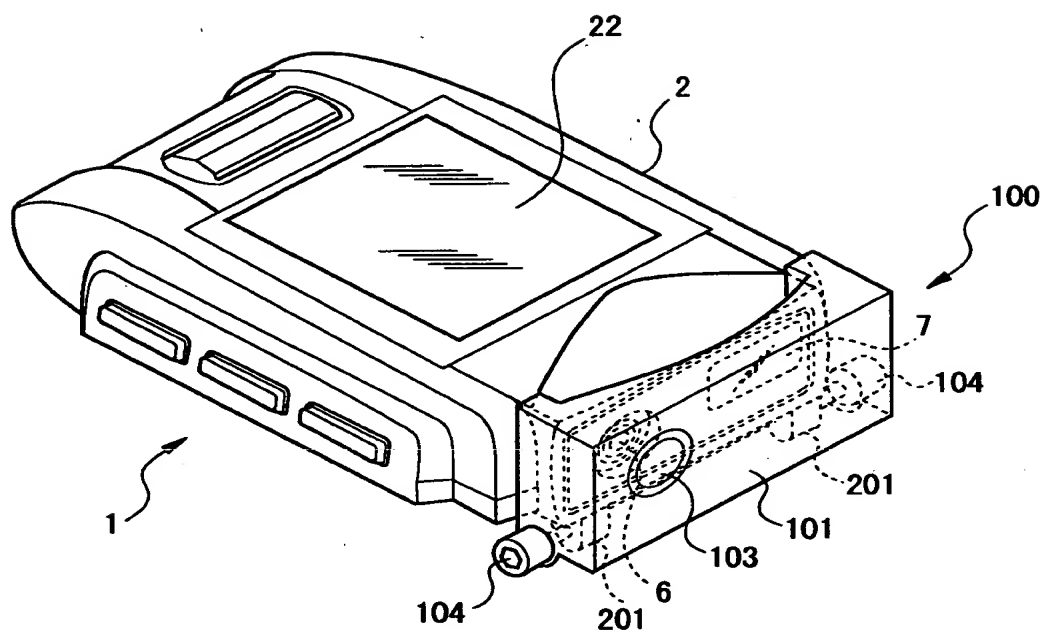
【図 3 1】



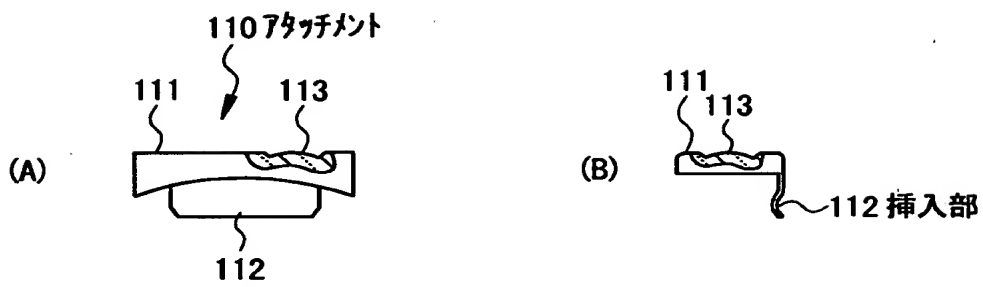
【図 3 2】



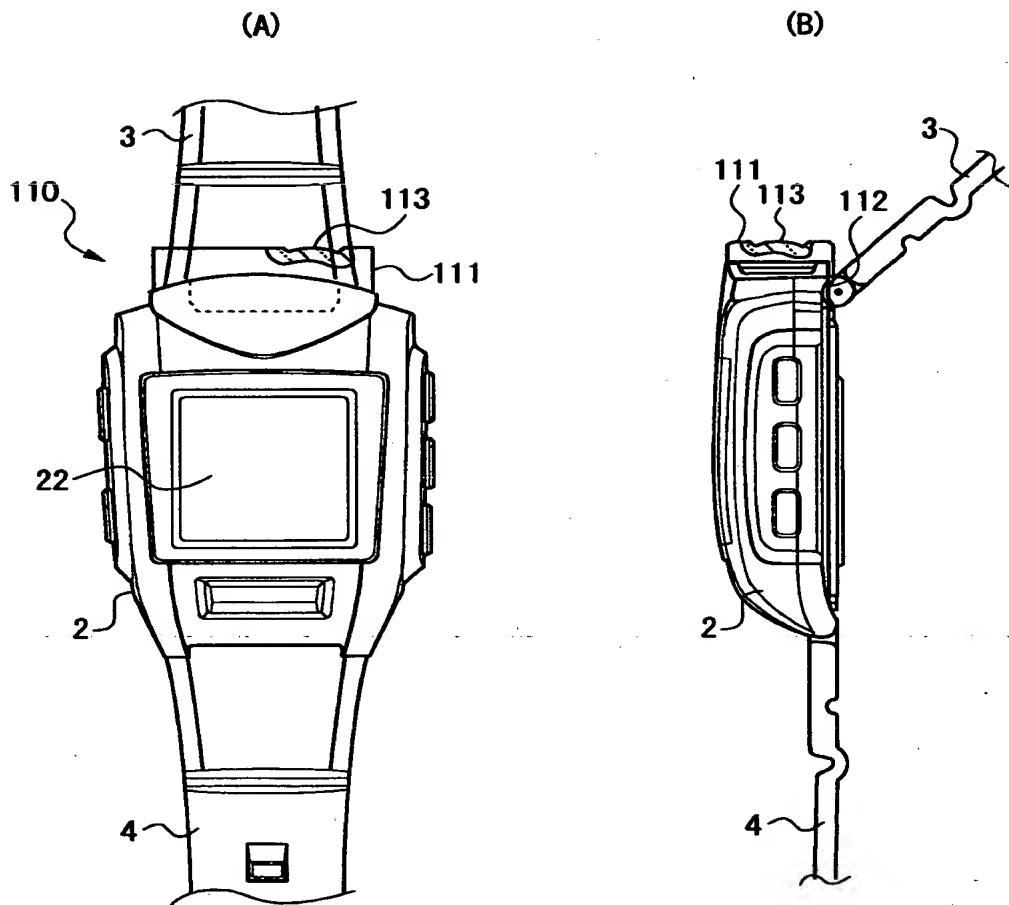
【図 33】



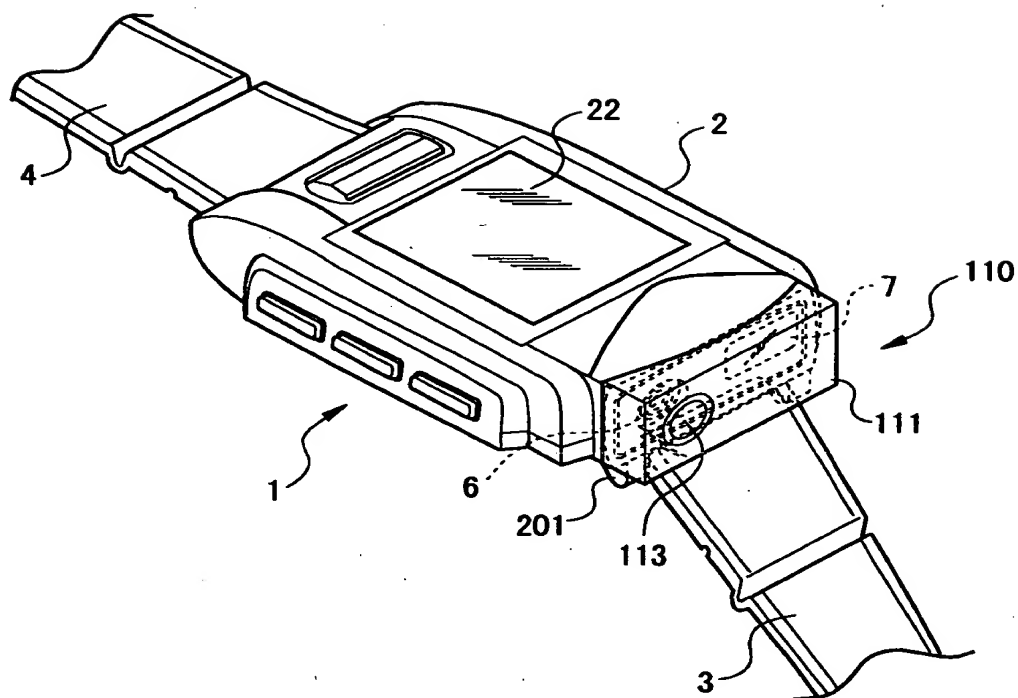
【図 3 4】



【図 3 5】

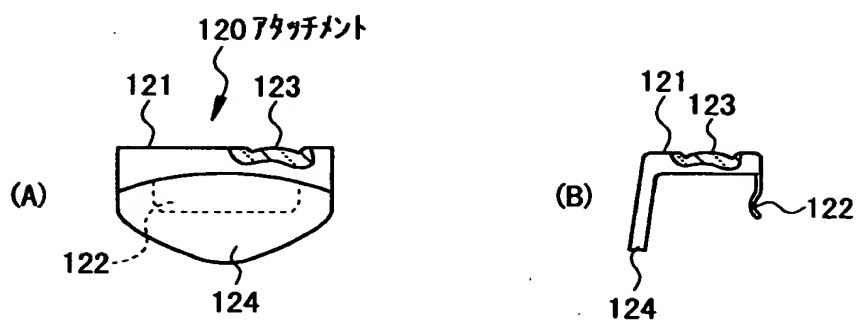


【図 3 6】

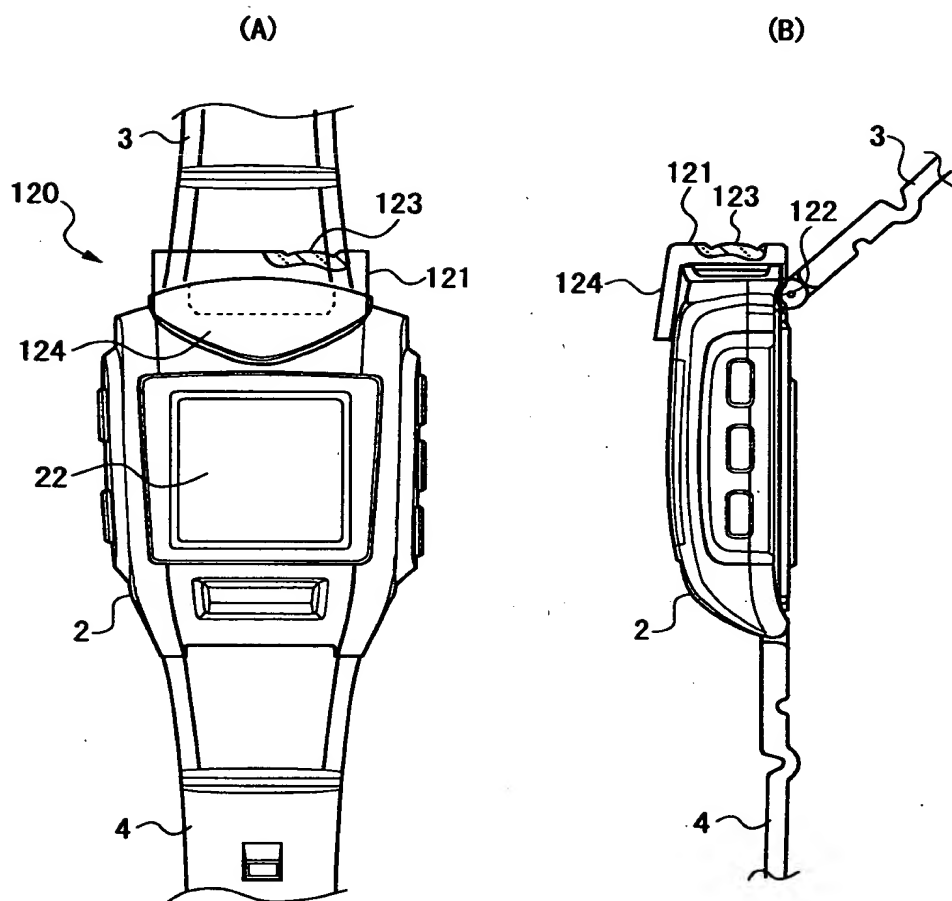




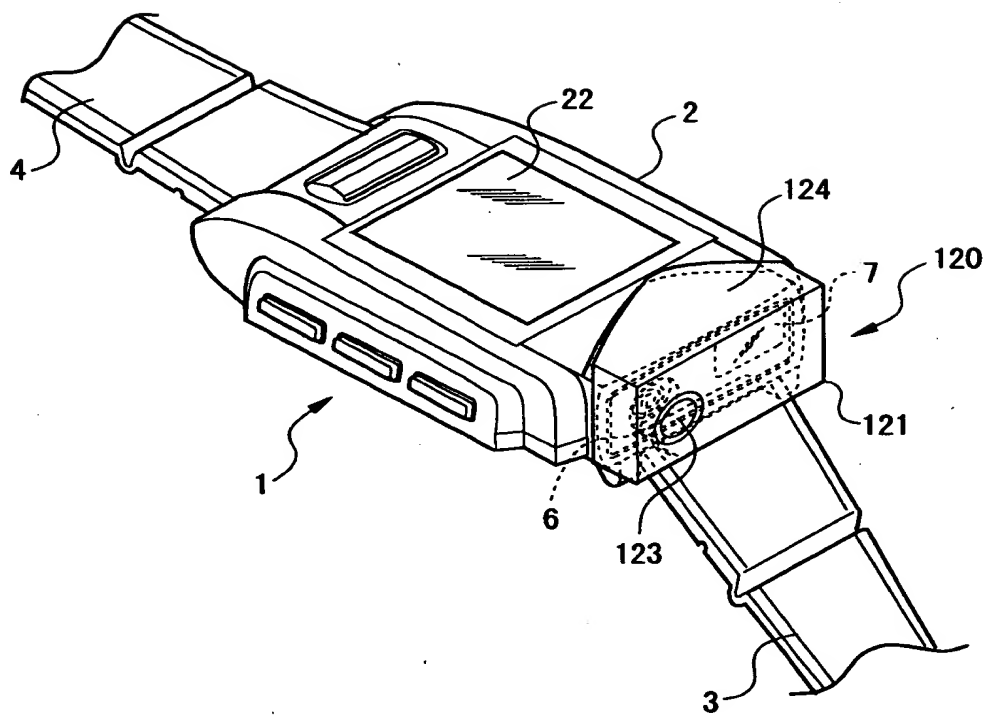
【図 37】



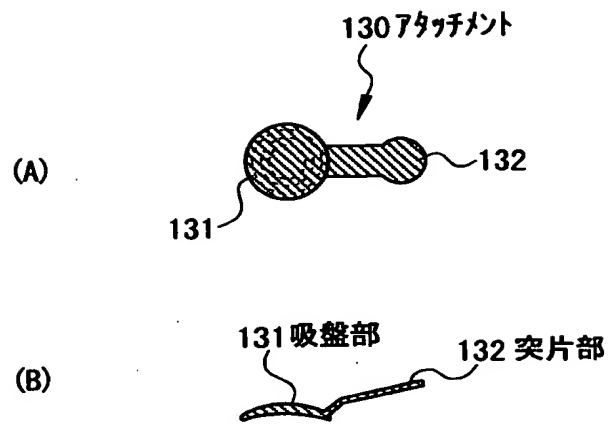
【図 38】



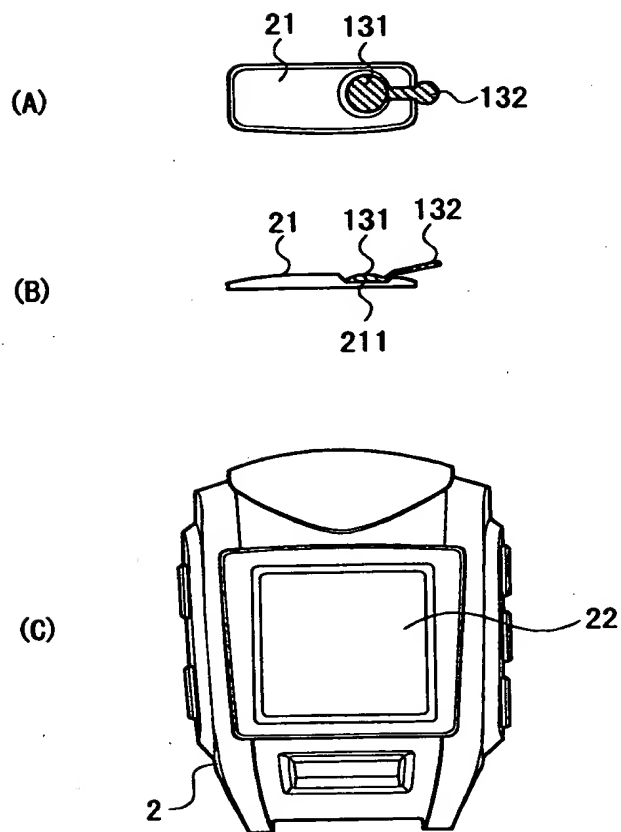
【図39】



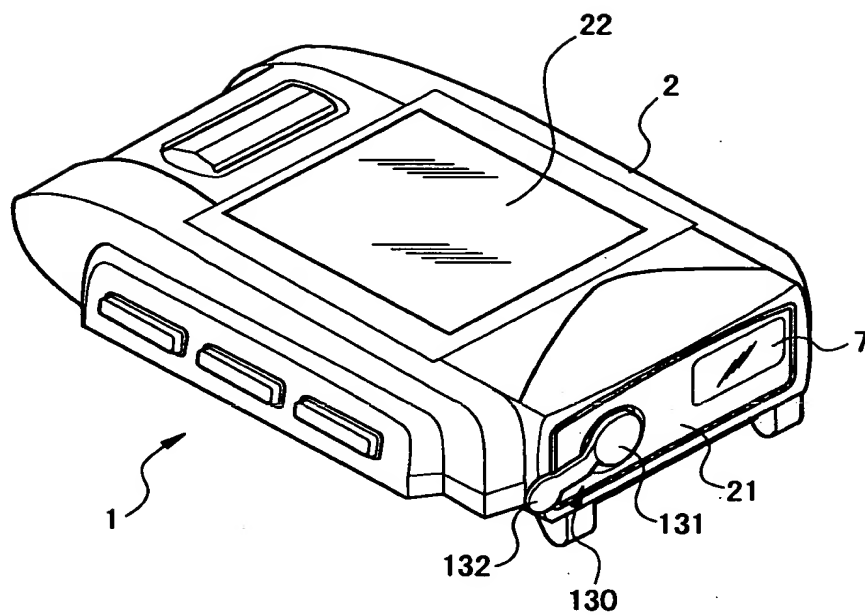
【図 4 0】



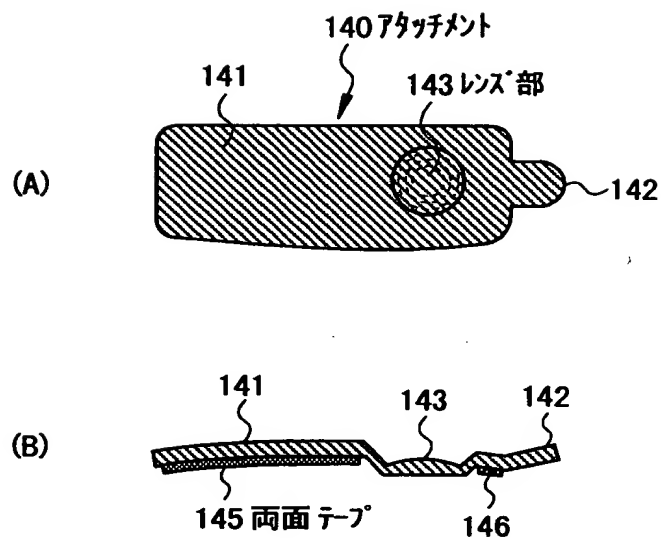
【図 4 1】



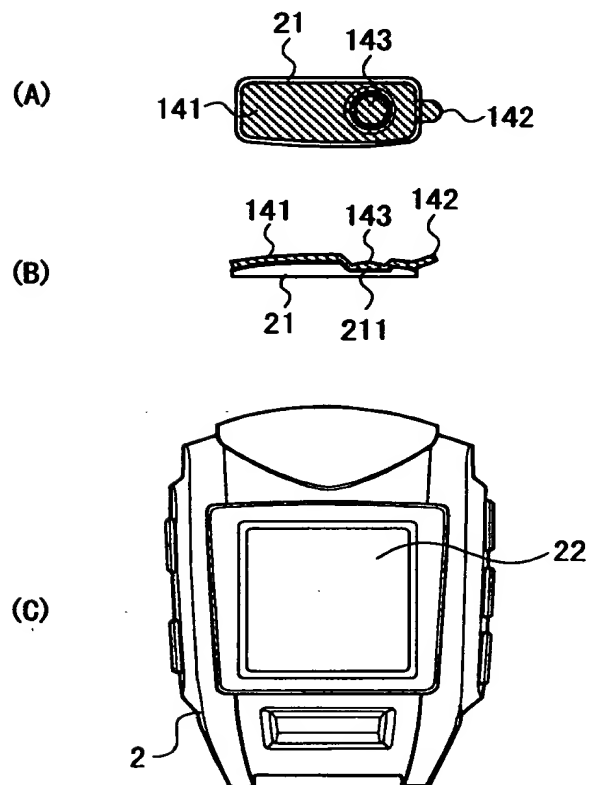
【図42】



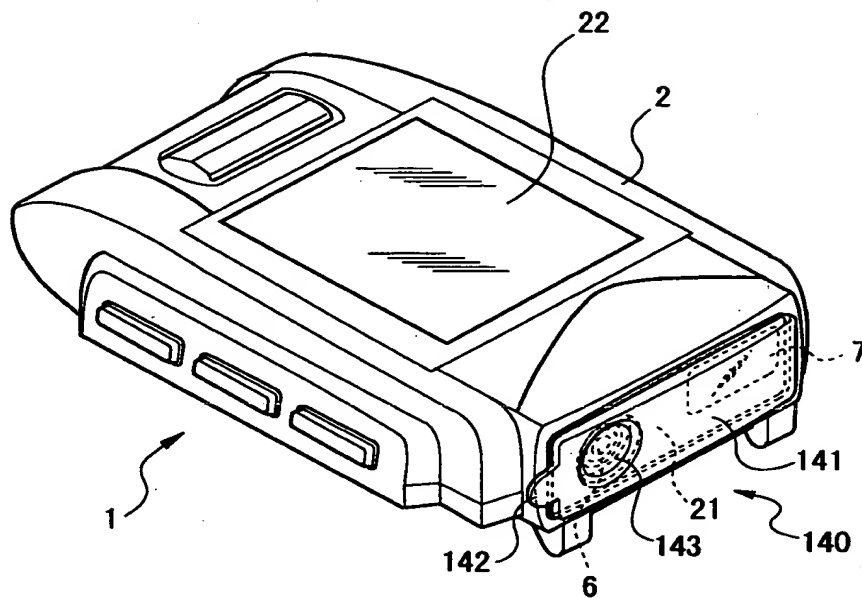
【図 4 3】



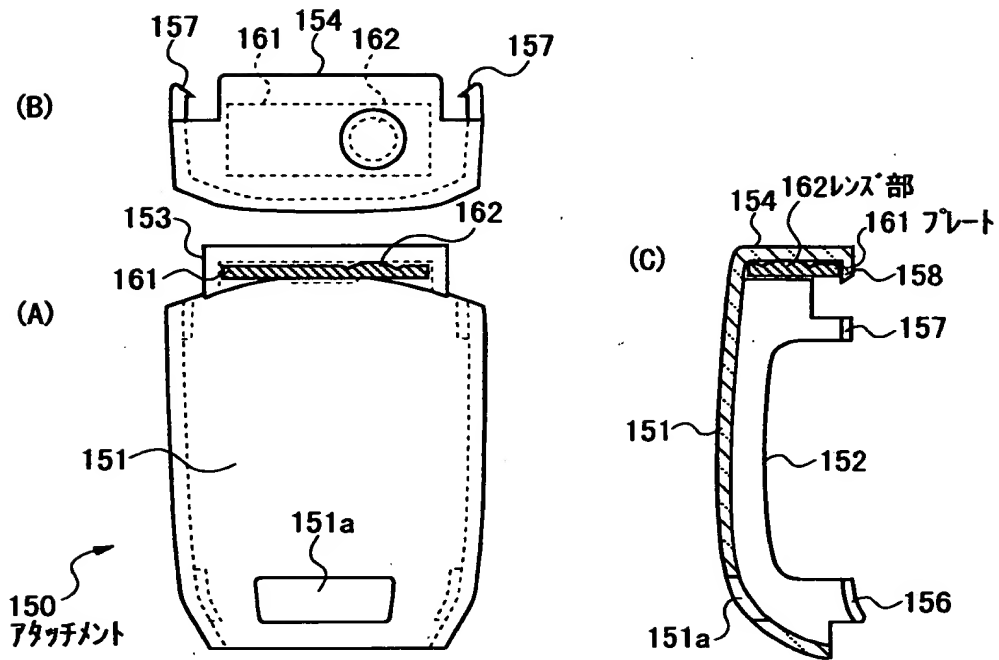
【図 4 4】



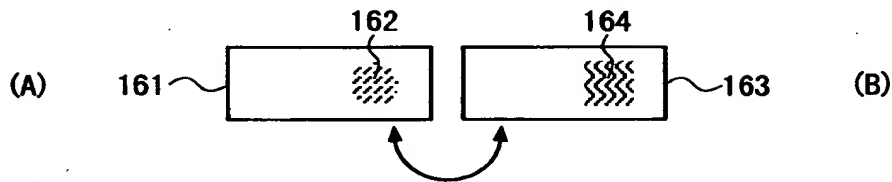
【図 45】



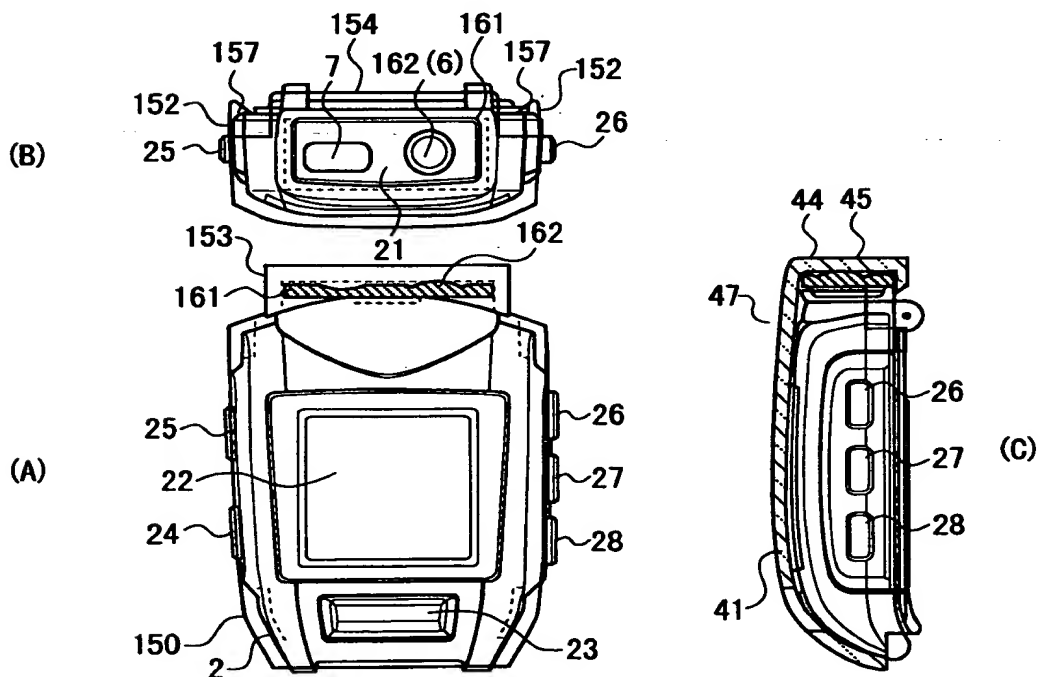
【図 4 6】



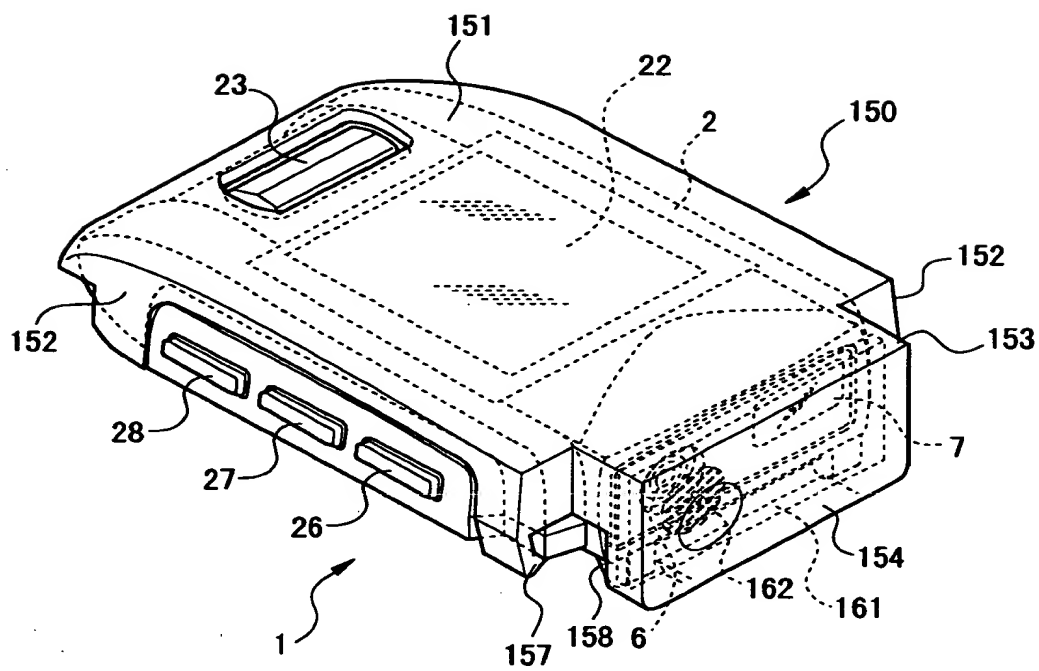
【図 4 7】



【図 4 8】

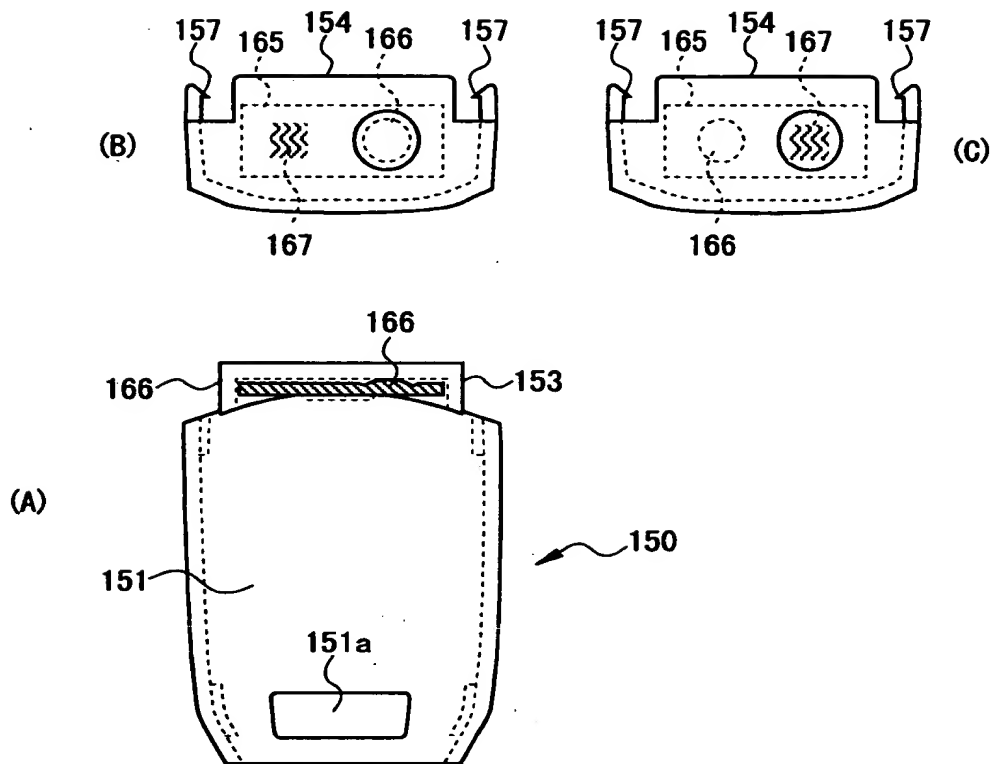


【図 49】

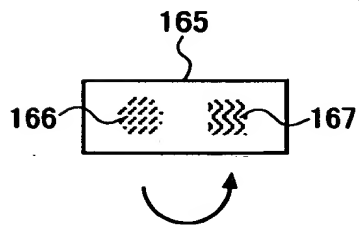




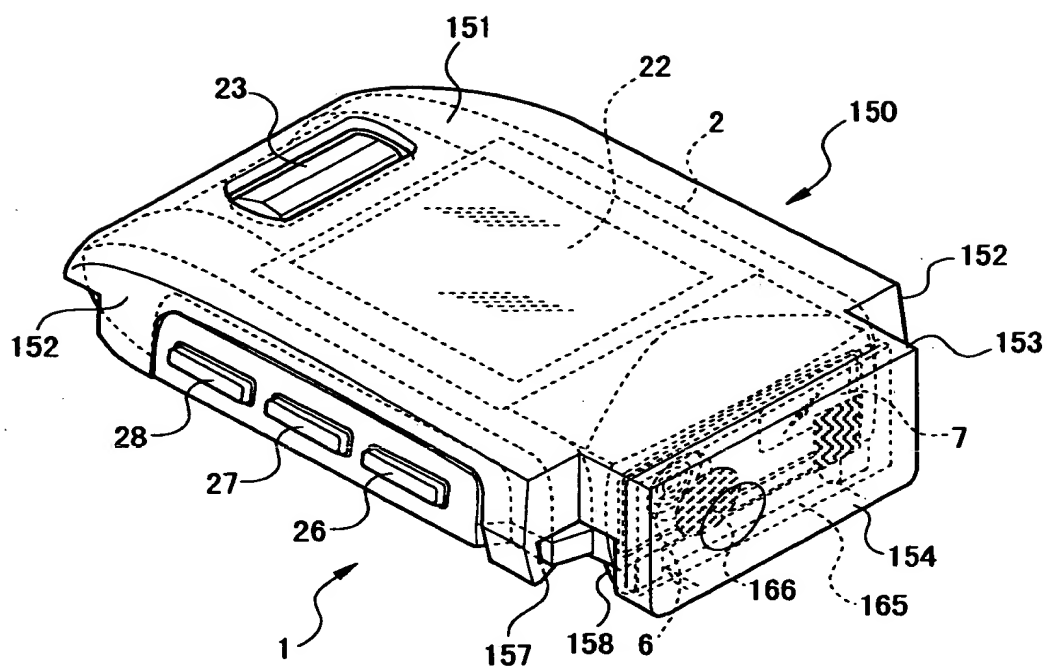
【図 5 0】



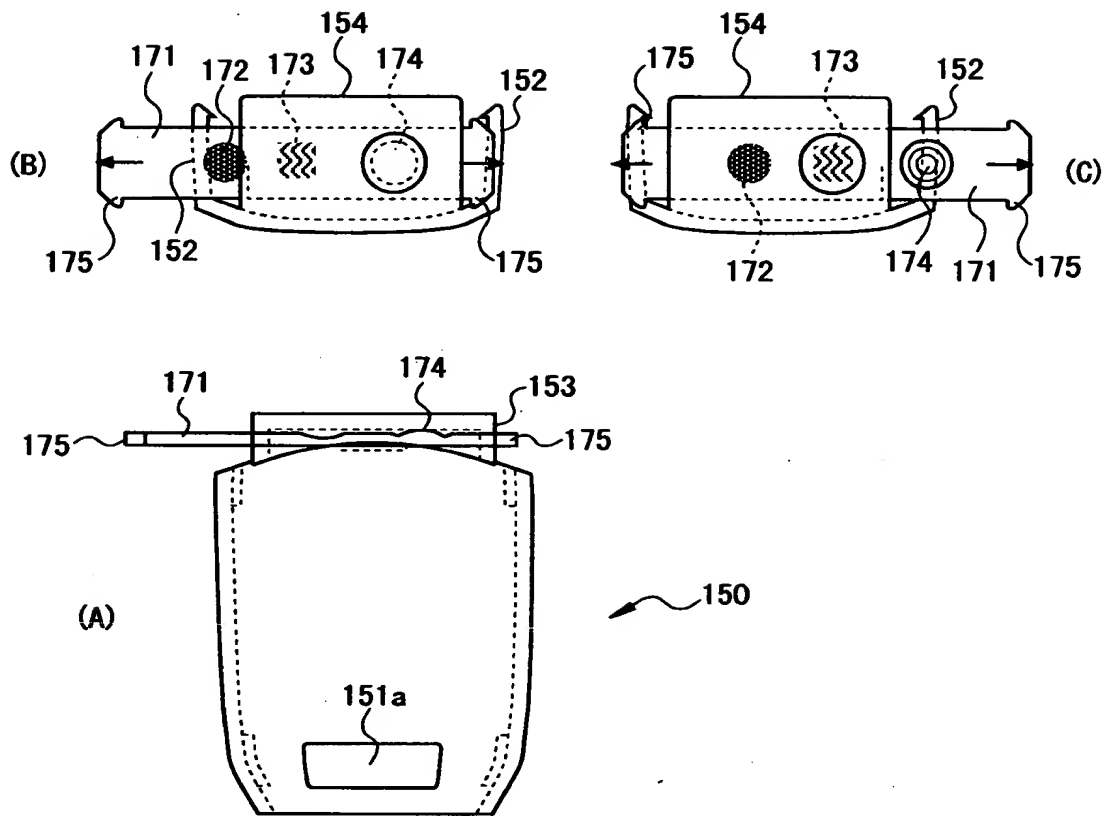
【図 5 1】



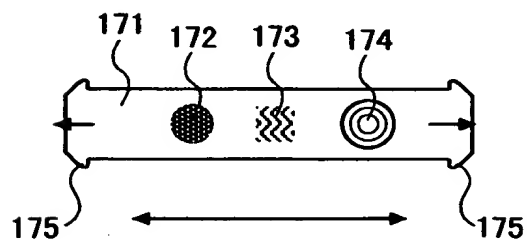
【図 52】



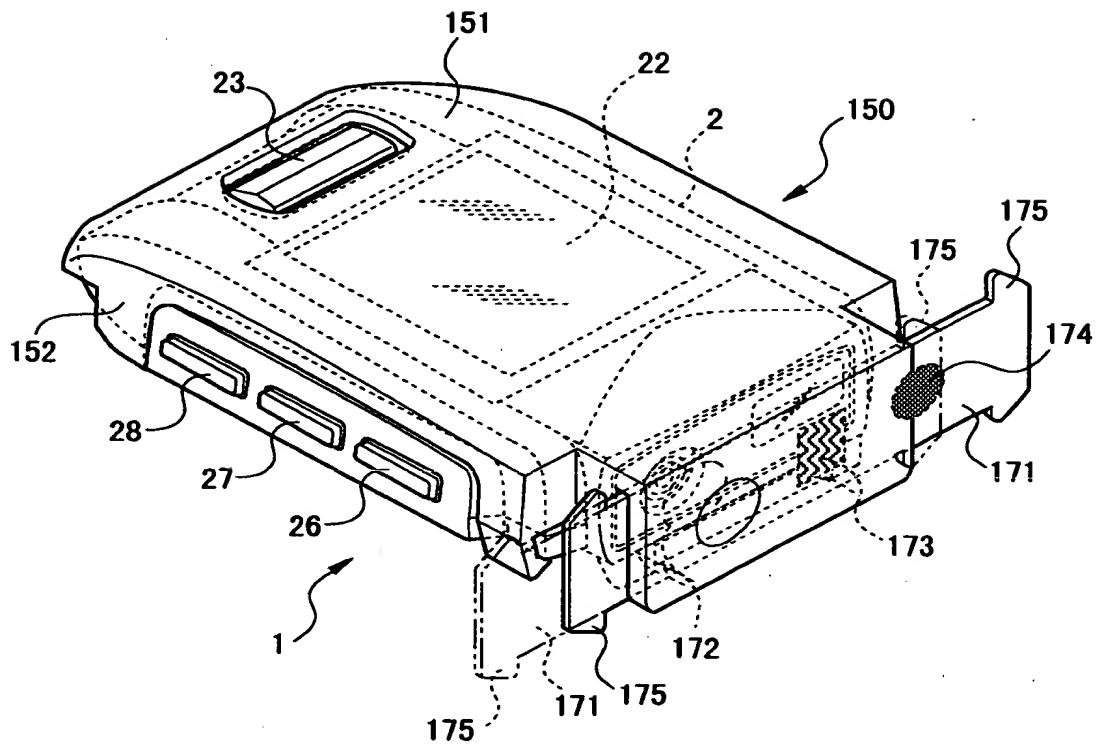
【図 5 3】



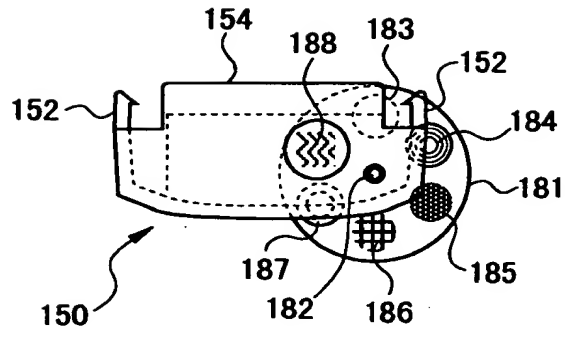
【図 5 4】



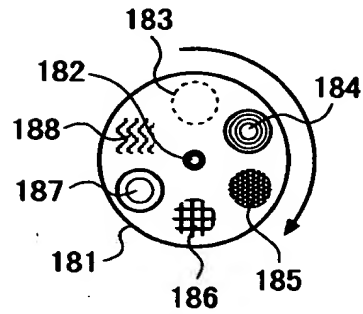
【図 55】



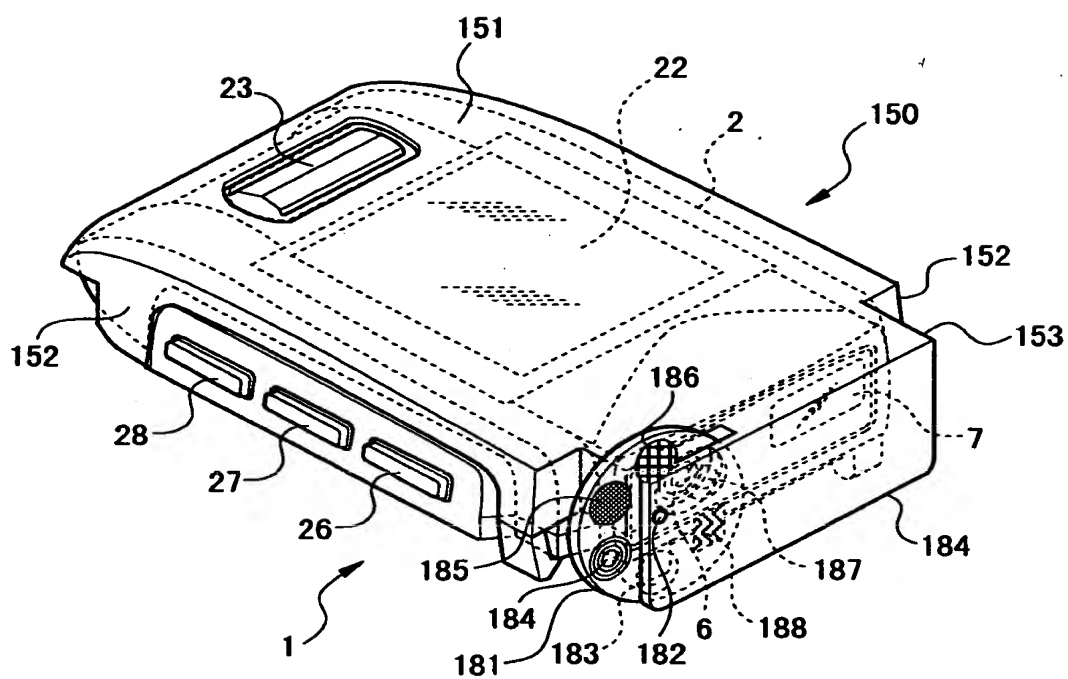
【図 5 6】



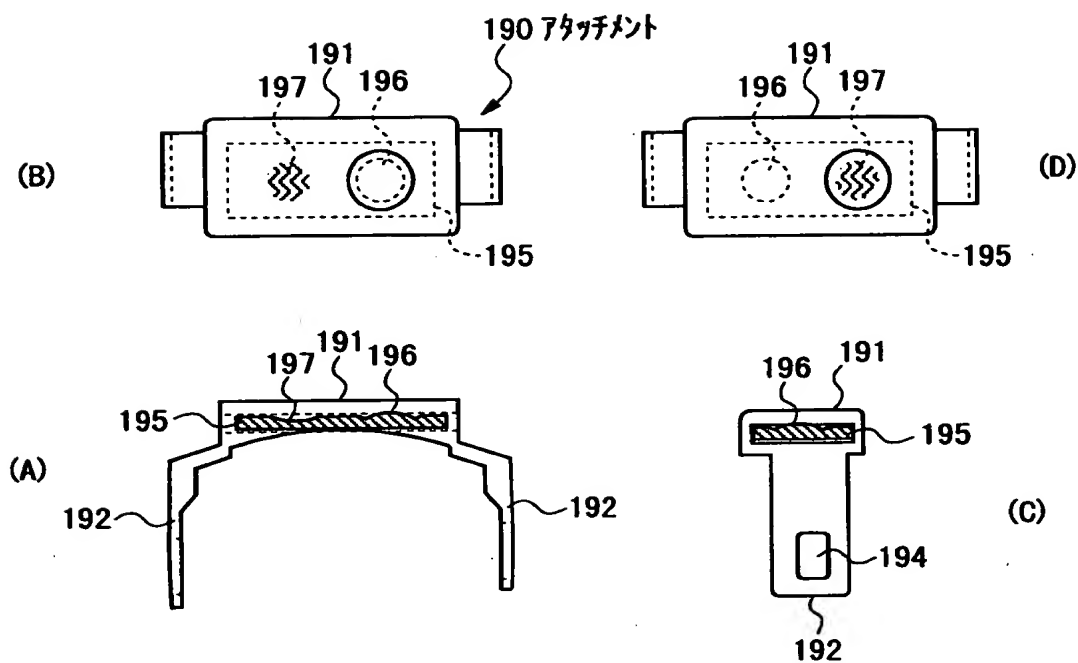
【図 5 7】



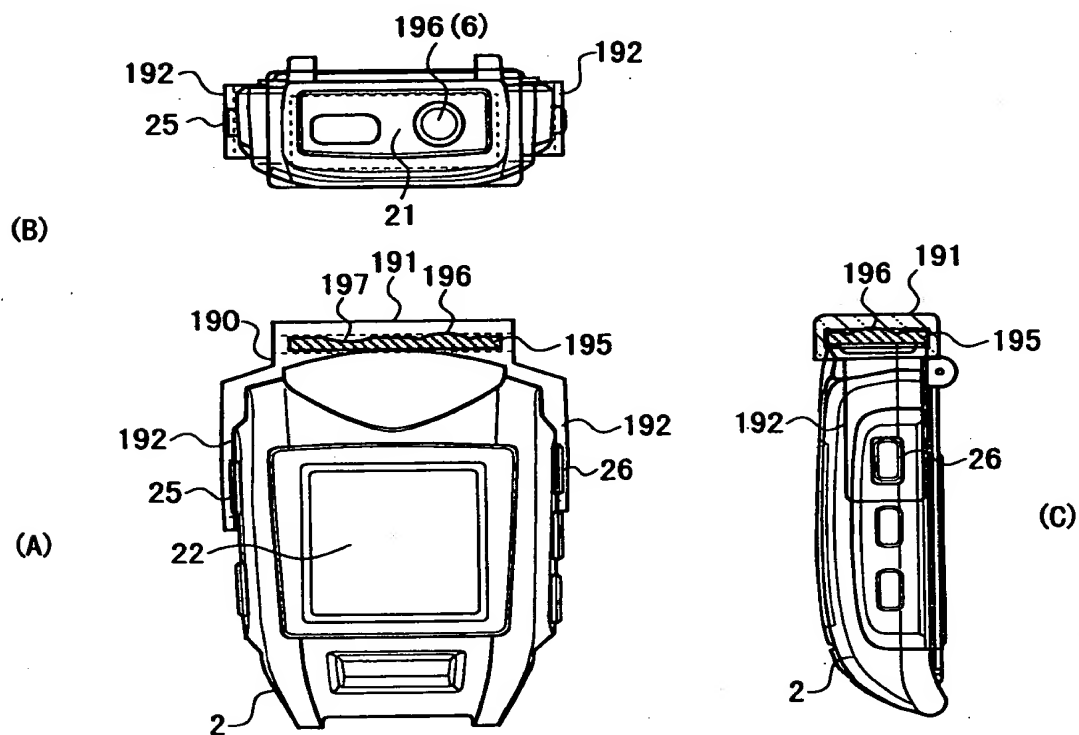
【図 58】



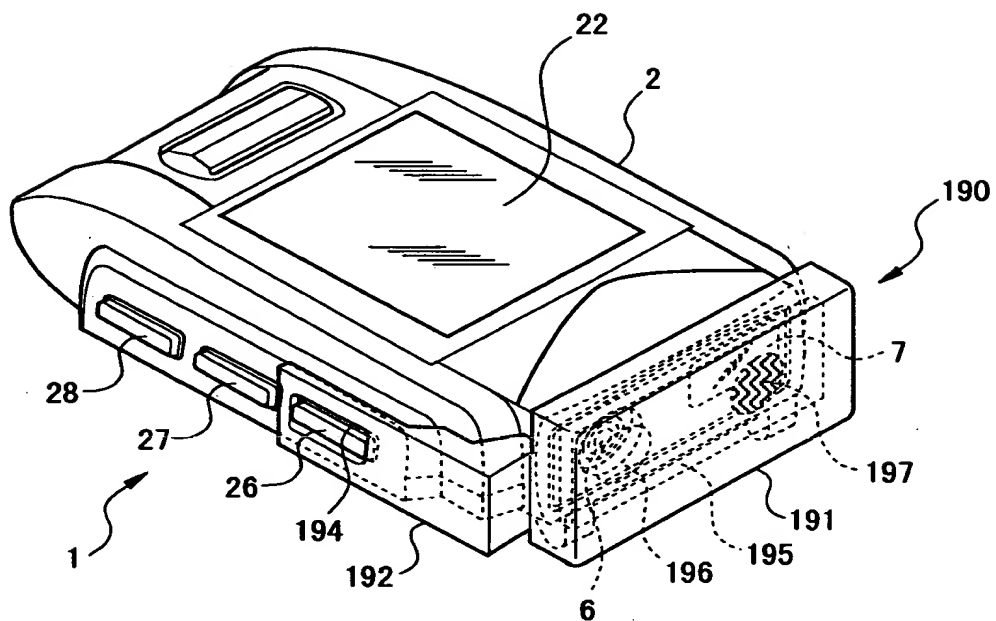
【図 59】



【図 60】

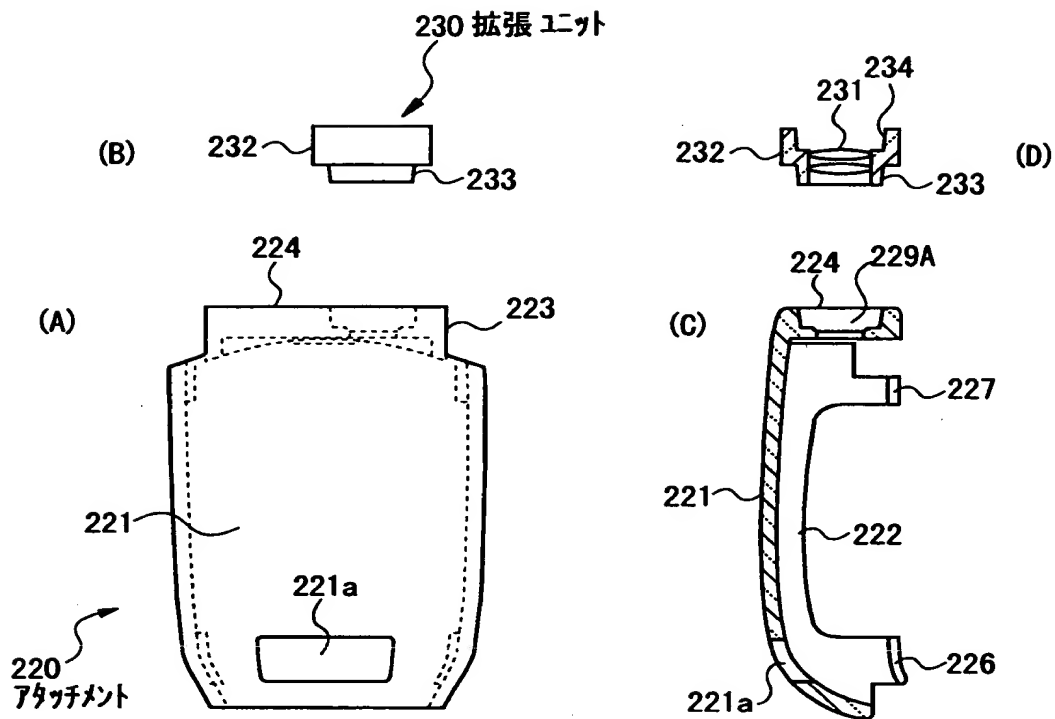


【図 6 1】

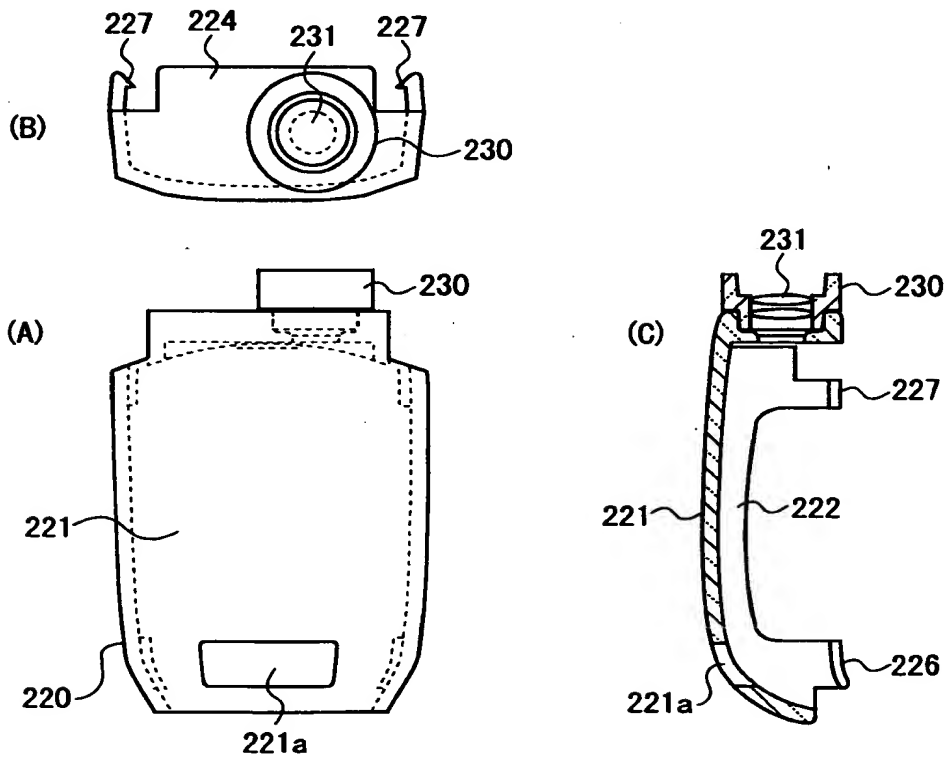




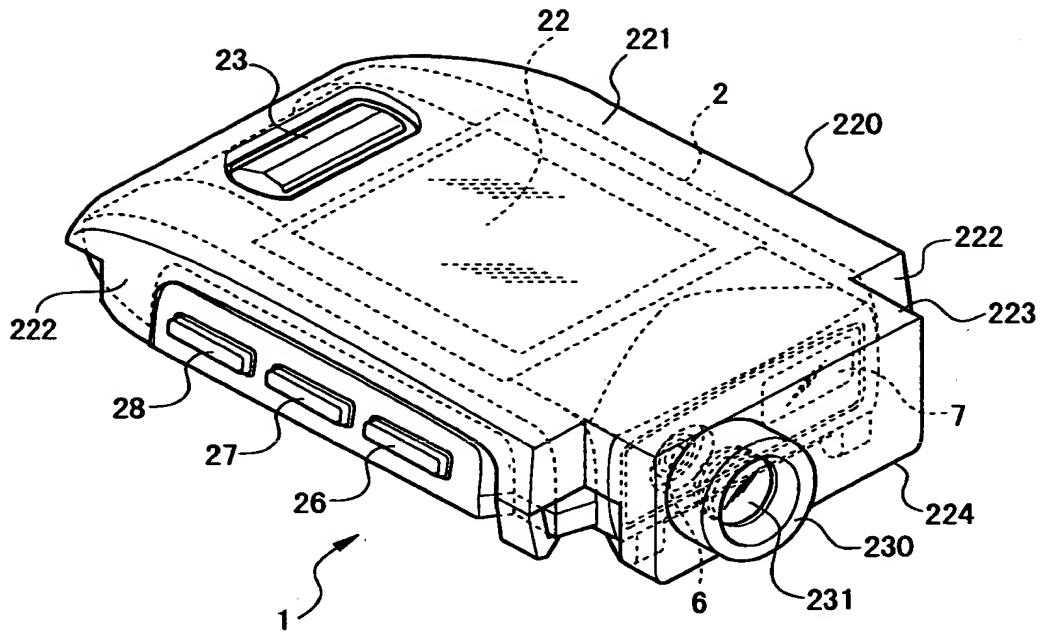
【図 6 2】



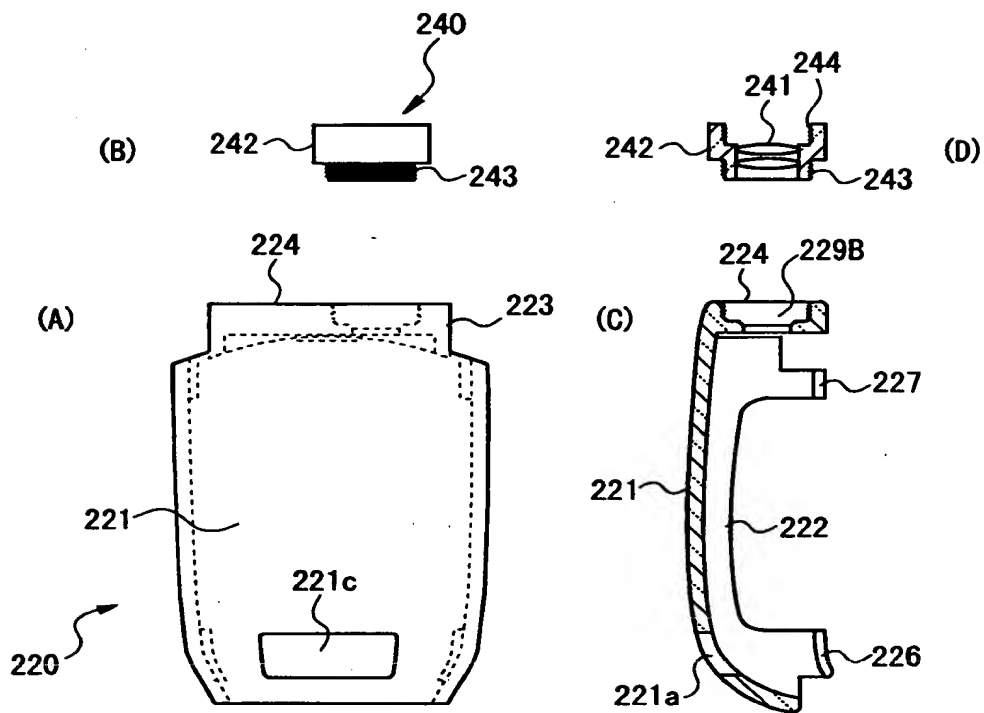
【図 6 3】



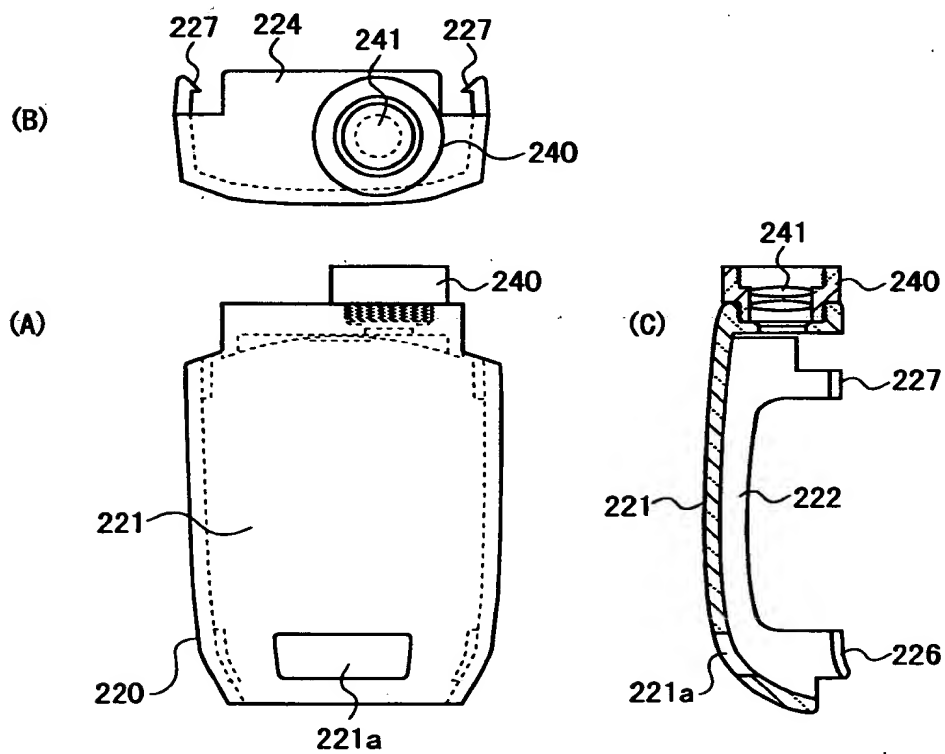
【図 64】



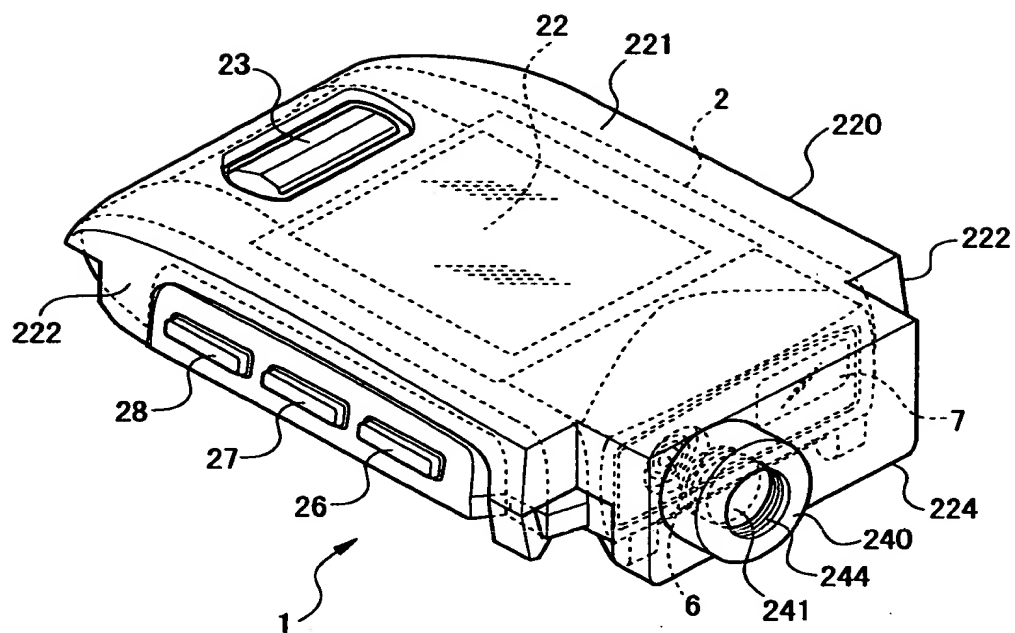
【図 6 5】



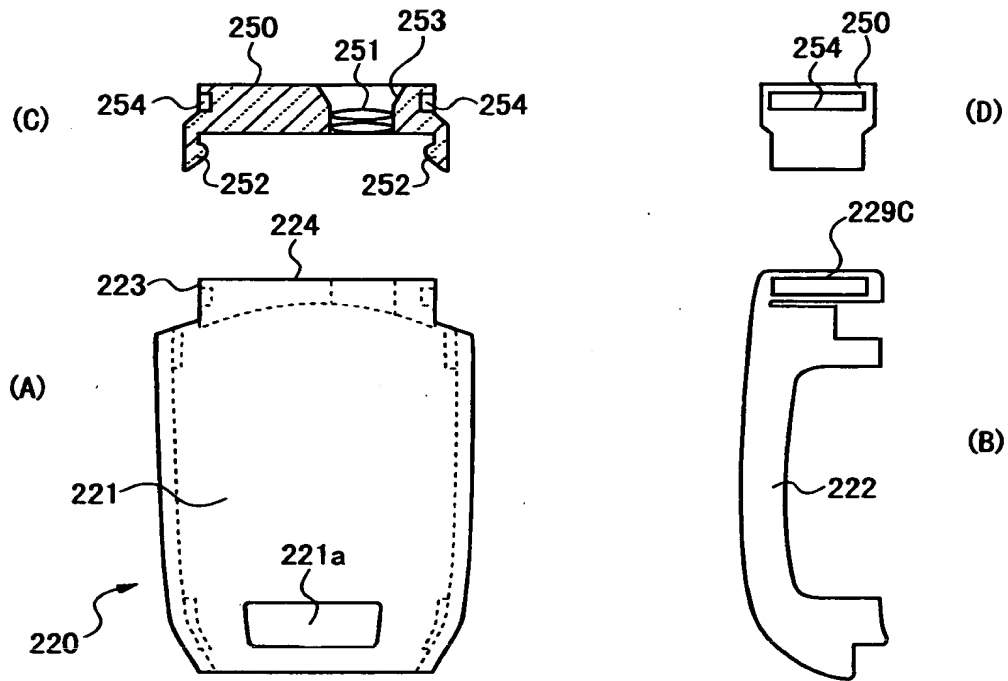
【図 6 6】



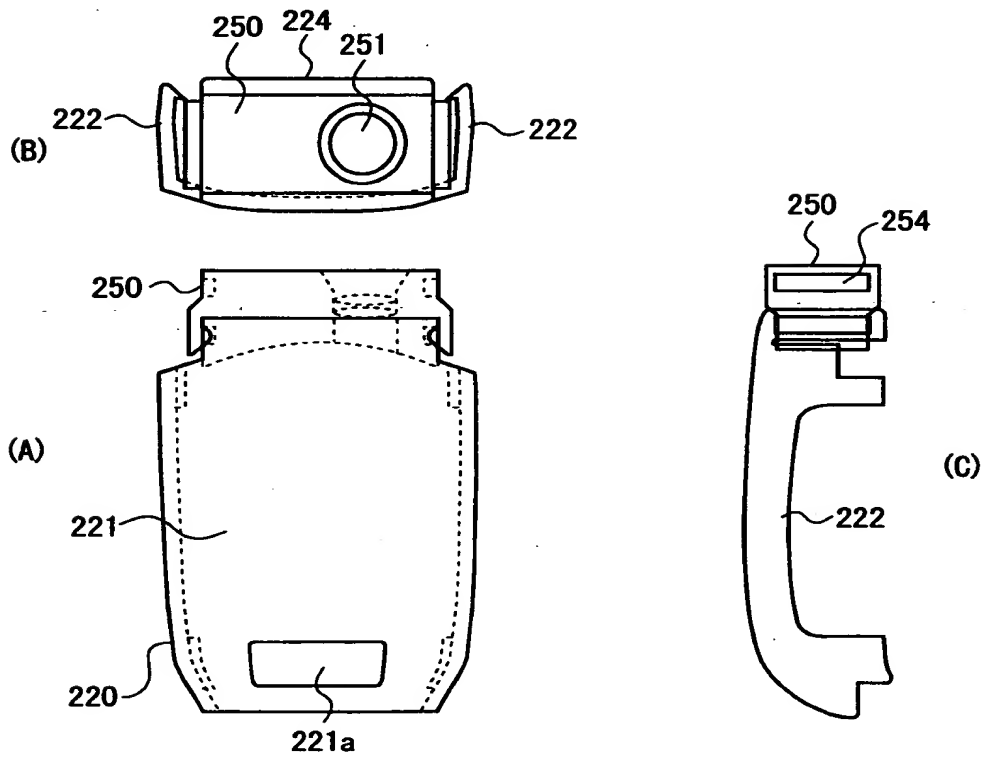
【図 67】



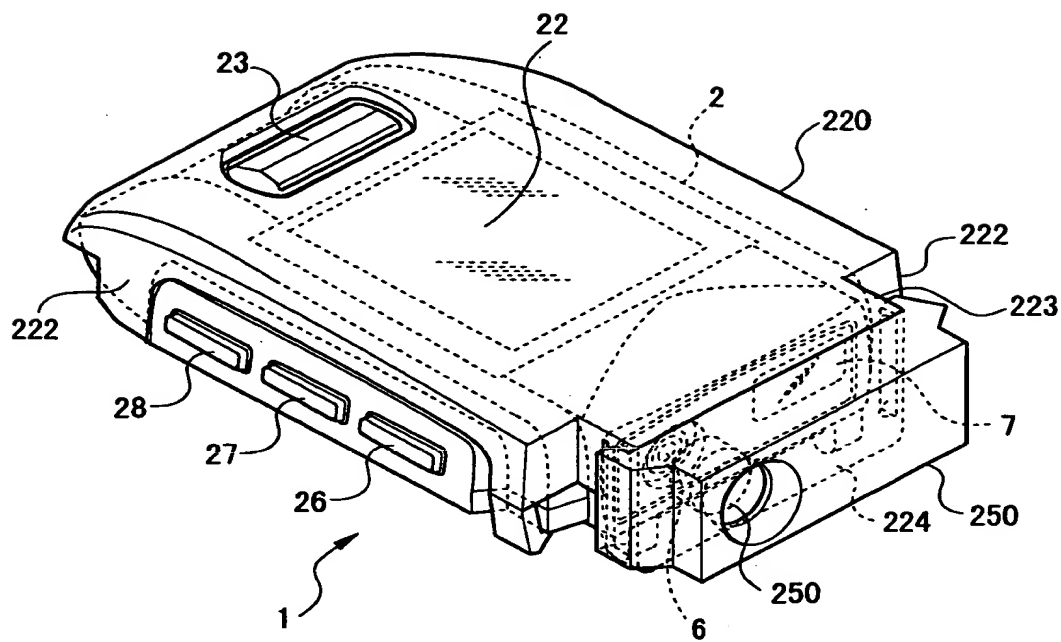
【図 6 8】



【図 6 9】



【図 70】



【書類名】            要約書

【要約】

【課題】    カメラ部を備えた携帯型電子機器において、特殊撮影効果の付与を可能とする。

【解決手段】    機器本体 2 にカメラ部 6 を備える携帯型電子機器 1 において、機器本体 2 に着脱可能で、少なくともカメラ部のレンズ 6 を覆う部分を有し、カメラ部 6 で撮影される画像に特殊撮影効果を施すための特殊撮影機能部 3 5 を具備するアタッチメント 3 0 を備える。そのアタッチメント 3 0 は機器本体 2 に備えられる表示部 2 2 を含む表面を覆う。そして、アタッチメント 3 0 は機器本体 2 の外周部に係合して固定するフック部 3 6、3 7、3 8 を有する。また、フック部 3 6、3 7、3 8 はアタッチメントと一体である。

【選択図】            図 1 0

認定・付加情報

特許出願の番号	特願2000-212986
受付番号	50000886605
書類名	特許願
担当官	伊藤 雅美 2132
作成日	平成12年 7月24日

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】

【識別番号】	000001443
【住所又は居所】	東京都渋谷区本町1丁目6番2号
【氏名又は名称】	カシオ計算機株式会社

【代理人】

申請人

【識別番号】	100090033
【住所又は居所】	東京都新宿区岩戸町18番地 日交神楽坂ビル5階 光陽国際特許事務所
【氏名又は名称】	荒船 博司

【代理人】

【識別番号】	100093045
【住所又は居所】	東京都新宿区岩戸町18番地 日交神楽坂ビル5階 光陽国際特許事務所
【氏名又は名称】	荒船 良男



出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[000001443]

1. 変更年月日

1998年 1月 9日

[変更理由]

住所変更

住 所

東京都渋谷区本町1丁目6番2号

氏 名

カシオ計算機株式会社